

令和4年度 第3回市民意識調査 報告書

調査期間:令和4年10月7日(金)～10月21日(金)

テーマ

- 1 郷土意識について
- 2 札幌市の施策・事業について
- 3 映像の力を使ったまちづくりについて
- 4 災害への備えや災害情報の入手方法について
- 5 救急医療・かかりつけ医・在宅医療について

札幌市

目 次

1	調査実施の概要	
(1)	目的	2
(2)	項目	2
(3)	設計	2
(4)	回収結果	2
(5)	回答者の特性	2
(6)	集計・分析上の注意事項	3
2	調査結果の詳細	
(1)	郷土意識について	
	札幌の街愛着度	6
	札幌の街が好きな理由	7
	現在住んでいる地域の定住意向度	8
	定住を望む理由	9
	現在住んでいる地域に住み続けたいと思わない理由	10
(2)	札幌市の施策・事業について	
ア	住宅・まちづくりに関すること	11
イ	公共交通の便利さを進める事業	11
ウ	産業や経済の振興、雇用の推進に関すること	12
エ	ごみや資源回収のこと	12
オ	環境保全（公害）に関すること	13
カ	河川・湖沼などの整備に関すること	13
キ	地震・火災・水害などの防災対策	14
ク	犯罪のない安全で安心な街づくりに関すること	14
ケ	交通安全対策に関すること	15
コ	道路の整備・維持管理に関すること	15
サ	除雪に関すること	16
シ	公園や緑地など「みどり」の事業	16
ス	子どもの教育に関する事業	17
セ	生涯学習などに関する事業	17
ソ	文化芸術の振興に関する事業	18
タ	スポーツ・レクリエーションの事業	18
チ	健康づくり、医療、衛生の事業	19
ツ	母子及び父子・児童福祉に関すること	19
テ	高齢者福祉に関すること	20
ト	障がい者福祉に関すること	20
ナ	国際化推進に関すること	21
ニ	市民への情報提供や相談に関する事業	21
ヌ	市の取り組みに対する総合的な満足度	22
	市政に対する評価 [よくやっていると思うもの] 順位表	23

市政に対する評価 [力をいれてほしいもの] 順位表-----	24
市政に対する評価[プロット図]-----	25
(3) 映像の力を使ったまちづくりについて	
フィルムコミッションの認知度-----	26
フィルムコミッションの取り組みを支援していることの認知度-----	27
札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度の認知度-----	28
札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度を知った場所や方法-----	29
撮影を見かけたときの興味の有無-----	30
撮影を見かけたときに迷惑と感ずるか否か-----	31
撮影を見かけたときに積極的に協力したいと思うか否か-----	32
映像を見たことを理由に商品やサービスを選ぶことがあるか否か-----	33
選んだ商品やサービスを見かけた媒体-----	34
(4) 災害への備えや災害情報の入手方法について	
災害に備えて求められている備蓄量の認知度-----	35
災害に備えて用意している備蓄品の量-----	36
地震や風水害などの災害に備えて行っている対策-----	37
自身の世帯で保有している機器-----	38
災害情報の入手方法-----	39
札幌市が提供する災害時の情報伝達手段として知っているもの-----	40
避難所開設情報の入手方法-----	41
災害情報や避難所開設情報の伝達手段として導入又は強化した方がいいと思うもの	42
『一斉帰宅の抑制』の認知度-----	43
災害時の安否確認方法を決めているか否か-----	44
災害時の安否確認の手段-----	45
(5) 救急医療・かかりつけ医・在宅医療について	
「救急あんしんセンターさっぽろ (#7119)」の認知度-----	46
「救急あんしんセンターさっぽろ (#7119)」の認知方法-----	47
夜間・休日などに体調が悪くなった場合にする行動-----	48
救急車を利用する理由-----	49
災害発生時に受診可能な医療機関をホームページで発信していることの認知度-----	50
災害発生時にけがをした場合にする行動-----	51
「かかりつけ医」の有無-----	52
「かかりつけ医」に期待すること-----	53
「健康診断等」の受診状況-----	54
人生最期のときの過ごし方-----	55
同居している身近な人に人生最期のときをどのように過ごしてほしいか-----	56
在宅医療を利用する際に知りたい情報-----	57
「ACP」や「人生会議」の認知度-----	58
「ACP」や「人生会議」の認知方法-----	59
人生の最期に希望する医療やケアの話し合いの有無-----	60
人生最期の医療やケアについて話し合う場面-----	61

3 調査実施の概要

(1) 郷土意識に係る時系列調査結果

札幌の街に対する愛着度の年度別推移----- 65

札幌の街に対する定住意向の年度別推移----- 65

(2) 市の施策・事業に係る調査結果

市政に対する評価の年度別順位一覧表----- 66

市政に関する要望の年度別順位一覧表----- 67

市政に対する評価の区別順位一覧表----- 68

市政に関する要望の区別順位一覧表----- 69

資料：令和4年度第3回市民意識調査票 ----- 71

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和49年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和4年度第3回調査では、「郷土意識」「札幌市の施策・事業」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

- ① 郷土意識について
- ② 札幌市の施策・事業について
- ③ 映像の力を使ったまちづくりについて
- ④ 災害への備えや災害情報の入手方法について
- ⑤ 救急医療・かかりつけ医・在宅医療について

(3) 設計

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満18歳以上の男女個人
- ③ 標本数 5,000人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 令和4年(2022年)10月7日(金)～10月21日(金)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
回収数(率) 2,391 (47.8%)

(5) 回答者の特性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,391	100.0	1,001	41.9	1,387	57.2	4	0.2	18	0.8	2,391	100.0
【性別】												
男性	1,001	41.9	1,001	100.0	-	-	-	-	-	-	1,001	100.0
女性	1,368	57.2	-	-	1,387	100.0	-	-	-	-	1,387	100.0
その他	4	0.2	-	-	-	-	4	100.0	-	-	4	100.0
無回答	18	0.8	-	-	-	-	-	-	18	100.0	18	100.0
【年代】												
29歳以下	159	6.6	70	44.0	89	56.0	0	0.0	0	0.0	159	100.0
30～39歳	242	10.1	108	44.6	132	54.5	2	0.8	0	0.0	242	100.0
40～49歳	380	15.9	123	32.4	255	67.1	2	0.5	0	0.0	380	100.0
50～59歳	417	17.4	157	37.6	260	62.4	0	0.0	0	0.0	417	100.0
60～69歳	477	19.9	223	46.8	254	53.2	0	0.0	0	0.5	477	100.0
70歳以上	703	29.4	320	45.5	377	53.6	0	0.0	6	0.9	703	100.0
無回答	13	0.5	0	0.0	1	7.7	0	0.0	12	92.3	13	100.0
【居住区】												
中央区	294	12.3	121	41.2	171	58.2	1	0.3	1	0.3	294	100.0
北区	342	14.3	136	39.8	206	60.2	0	0.0	0	0.0	342	100.0
東区	298	12.5	130	43.6	167	56.0	1	0.3	0	0.0	298	100.0
白石区	265	11.1	110	41.5	151	57.0	2	0.8	2	0.8	265	100.0
厚別区	167	7.0	74	44.3	93	55.7	0	0.0	0	0.0	167	100.0
豊平区	270	11.3	111	41.1	158	58.5	0	0.0	1	0.4	270	100.0
清田区	139	5.8	63	45.3	76	54.7	0	0.0	0	0.0	139	100.0
南区	168	7.0	70	41.7	96	57.1	0	0.0	2	1.2	168	100.0
西区	268	11.2	114	42.5	153	57.1	0	0.0	1	0.4	268	100.0
手稲区	165	6.9	71	43.0	94	57.0	0	0.0	0	0.0	165	100.0
無回答	15	0.6	1	6.7	3	20.0	0	0.0	11	73.3	15	100.0
【職業】												
会社員	636	26.6	372	58.5	260	40.9	3	0.5	1	0.2	636	100.0
公務員	107	4.5	65	60.7	42	39.3	0	0.0	0	0.0	107	100.0
自営業	140	5.9	97	69.3	43	30.7	0	0.0	0	0.0	140	100.0
パート・アルバイト	376	15.7	60	16.0	316	84.0	0	0.0	0	0.0	376	100.0
主婦・主夫	429	17.9	5	1.2	422	98.4	0	0.0	2	0.5	429	100.0
学生	46	1.9	24	52.2	22	47.8	0	0.0	0	0.0	46	100.0
無職	543	22.7	336	61.9	204	37.6	0	0.0	3	0.6	543	100.0
その他	89	3.7	37	41.6	50	56.2	1	1.1	1	1.1	89	100.0
無回答	25	1.0	5	20.0	9	36.0	0	0.0	11	44.0	25	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,391	100.0	1,001	41.9	1,387	57.2	4	0.2	18	0.8	2,391	100.0
【同居家族】												
配偶者	1,442	60.3	655	45.4	785	54.4	0	0.0	2	0.1	1,442	100.0
乳幼児(0~2歳程度)	80	3.3	35	43.8	45	56.3	0	0.0	0	0.0	80	100.0
就学前児童(3~5歳程度)	113	4.7	45	39.8	68	60.2	0	0.0	0	0.0	113	100.0
小学生(6~12歳程度)	191	8.0	69	36.1	122	63.9	0	0.0	0	0.0	191	100.0
中学生(13~15歳程度)	121	5.1	42	34.7	78	64.5	0	0.0	1	0.8	121	100.0
高校生(16~18歳程度)	128	5.4	39	30.5	88	68.8	0	0.0	1	0.8	128	100.0
大学(院)・専門学校生	101	4.2	28	27.7	72	71.3	0	0.0	1	1.0	101	100.0
65歳以上の高齢者	354	14.8	132	37.3	220	62.1	0	0.0	2	0.6	354	100.0
上記「1」~「8」以外の方	471	19.7	187	39.7	281	59.7	3	0.6	0	0.0	471	100.0
いない	442	18.5	192	43.4	249	56.3	1	0.2	0	0.0	442	100.0
無回答	23	1.0	2	8.7	8	34.8	0	0.0	13	56.5	23	100.0
【出生地】												
札幌生まれ	718	30.0	310	43.2	406	56.5	2	0.3	0	0.0	718	100.0
札幌以外	1,653	69.1	691	41.8	955	57.8	2	0.1	5	0.3	1,653	100.0
無回答	20	0.8	0	0.0	7	35.0	0	0.0	13	65.0	20	100.0
【札幌居住年数】												
1年未満	44	1.8	21	47.7	23	52.3	0	0.0	0	0.0	44	100.0
1年以上~3年未満	70	2.9	30	42.9	40	57.1	0	0.0	0	0.0	70	100.0
3年以上~5年未満	58	2.4	21	36.2	36	62.1	1	1.7	0	0.0	58	100.0
5年以上10年未満	98	4.1	41	41.8	56	57.1	1	1.0	0	0.0	98	100.0
10年以上~20年未満	268	11.2	94	35.1	172	64.2	0	0.0	2	0.7	268	100.0
20年以上~30年未満	381	15.9	171	44.9	208	54.6	0	0.0	2	0.5	381	100.0
30年以上	1,428	59.7	608	42.6	816	57.1	2	0.1	2	0.1	1,428	100.0
無回答	44	1.8	15	34.1	17	38.6	0	0.0	12	27.3	44	100.0
【現在地居住年数】												
1年未満	119	5.0	43	36.1	75	63.0	1	0.8	0	0.0	119	100.0
1年以上~3年未満	241	10.1	103	42.7	137	56.8	1	0.4	0	0.0	241	100.0
3年以上~5年未満	170	7.1	72	42.4	98	57.6	0	0.0	0	0.0	170	100.0
5年以上10年未満	273	11.4	109	39.9	164	60.1	0	0.0	0	0.0	273	100.0
10年以上~20年未満	494	20.7	195	39.5	297	60.1	0	0.0	2	0.4	494	100.0
20年以上~30年未満	428	17.9	195	45.6	231	54.0	0	0.0	2	0.5	428	100.0
30年以上	650	27.2	284	43.7	361	55.5	2	0.3	3	0.5	650	100.0
無回答	16	0.7	0	0.0	5	31.3	0	0.0	11	68.8	16	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

2 調査結果の詳細

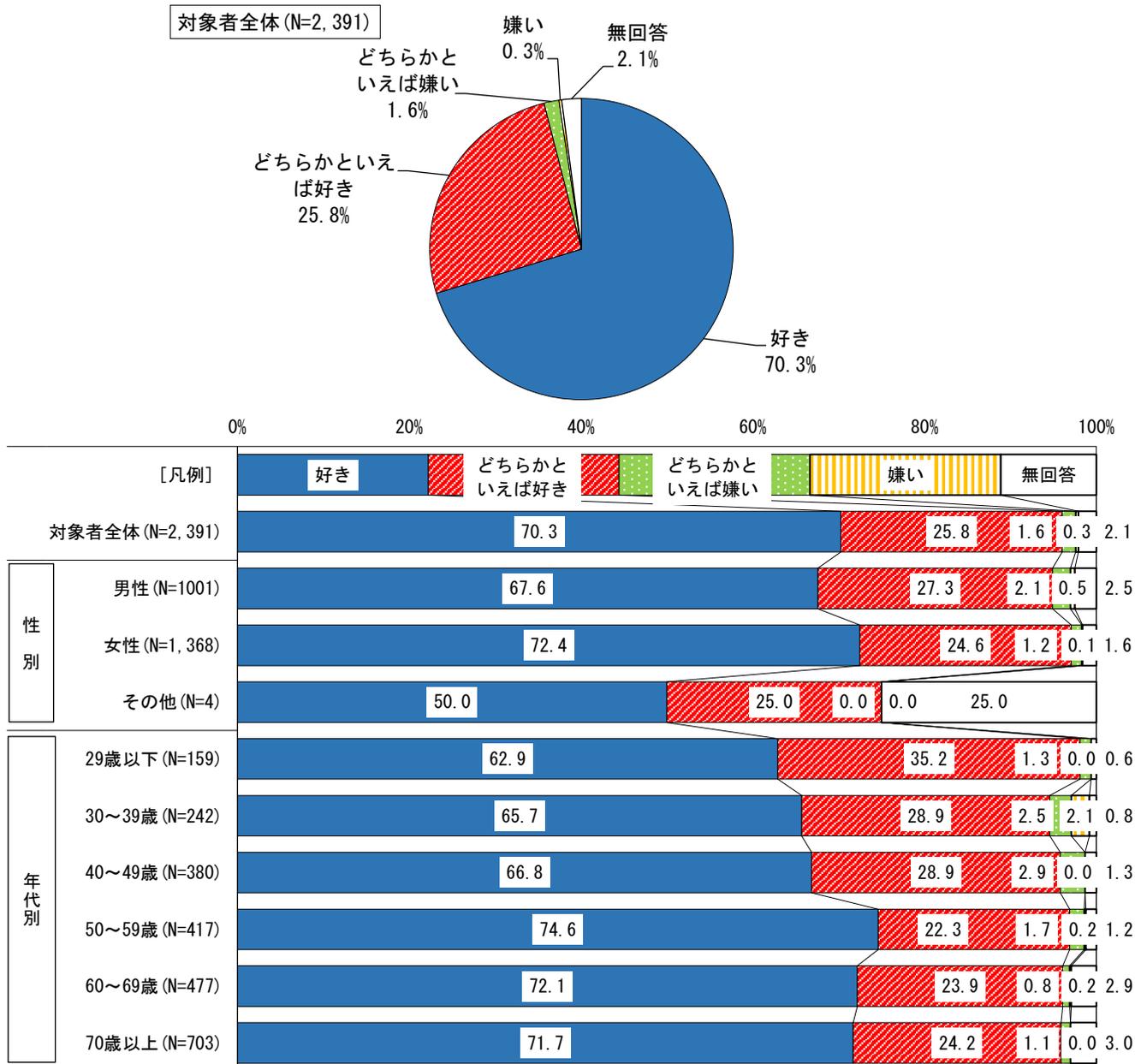
(1) 郷土意識について

◇札幌の街愛着度

問1 あなたは、札幌の街が好きですか。あてはまるものに○をつけてください。

札幌を“好き”と回答した人が96.0%

※“好き”（「好き」＋「どちらかといえば好き」）



【全体】札幌の街愛着度は、「好き」が70.3%、「どちらかといえば好き」が25.8%、合わせると96.0%となっている。一方、「どちらかといえば嫌い」が1.6%、「嫌い」が0.3%、合わせると1.9%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

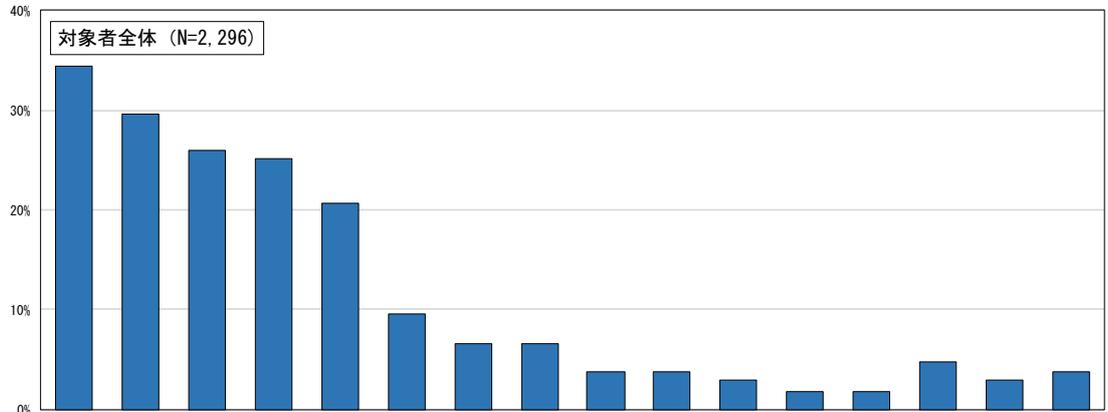
【年代別】“好き”が29歳以下（98.1%）で最も高く、次いで50歳代（96.9%）、60歳代（96.0%）となっている。

◇札幌の街が好きな理由

《問1で「1 好き」または「2 どちらかといえば好き」と答えた方にお聞きします。》

問1-1 あなたが、札幌を「好き」または「どちらかといえば好き」だと思う理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

札幌の街が好きな理由は「地下鉄やJRなど公共交通機関が整備されているから」が34.5%



対象者数	対象者数	地下鉄やJRなど公共交通機関が整備されているから	緑が多く自然が豊かだから	四季の変化がはっきりしていて、季節感があるから	官庁や学校、企業や商業施設、病院が集中していて便利だから	街並みが整然としていて美しく、わかりやすいから	おおらかな気風や市民の人柄、人情が好ましいから	趣味が楽しめるから	文化芸術的な催しやイベント、街に活気があり、これからも発展していく感じがするから	の施設が整っているから	区民センター、図書館、体育館などの施設が整っているから	公園やレクリエーション施設、レジャー施設が整っているから	競技を観戦することができ、さまざまなスポーツをはじめ、さまざまなスポーツを楽しむことができるから	季節に応じたさまざまなスポーツを楽しむことができるから	国際的な都市だから	その他	特に理由はない	無回答	
(%)																			
対象者全体	2,296	34.5	29.6	26.0	25.1	20.6	9.5	6.6	6.5	3.7	3.7	3.0	1.8	1.7	4.7	3.0	3.8		
性別	男性	950	34.0	27.6	26.3	26.7	20.9	8.6	5.4	7.8	3.1	2.8	3.2	2.1	2.0	5.2	3.6	3.4	
	女性	1,328	34.9	31.3	26.1	23.9	20.5	10.3	7.5	5.4	4.1	4.4	2.8	1.6	1.4	4.3	2.4	4.1	
	その他	3	66.7	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	
年代別	29歳以下	156	40.4	21.8	14.7	21.2	19.2	11.5	10.9	8.3	1.9	9.0	6.4	2.6	0.6	7.1	4.5	1.9	
	30～39歳	229	38.4	22.7	21.4	30.1	17.0	6.1	8.7	9.6	0.4	7.9	2.6	3.5	1.3	5.7	3.1	4.8	
	40～49歳	364	36.8	28.0	26.9	24.5	18.4	10.2	9.6	3.6	3.3	4.7	3.3	1.1	1.9	4.7	3.3	2.5	
	50～59歳	404	32.4	33.2	27.5	26.2	21.8	8.9	6.9	6.2	2.2	3.5	3.2	1.2	1.5	6.9	2.7	2.2	
	60～69歳	458	34.5	32.8	30.1	27.9	20.3	8.1	5.5	5.5	3.1	2.0	2.8	1.1	2.4	4.4	2.6	3.3	
	70歳以上	674	32.2	30.6	26.4	22.0	23.0	11.4	3.9	7.3	6.7	2.1	1.9	2.4	1.5	2.8	2.7	5.8	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌の街が好きな理由は、「地下鉄やJRなど公共交通機関が整備されているから」が34.5%、「緑が多く自然が豊かだから」が29.6%、「四季の変化がはっきりしていて、季節感があるから」が26.0%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】50歳代では「緑が多く自然が豊かだから」が、49歳以下、60歳～70歳以上では「地下鉄やJRなど公共交通機関が整備されているから」が最も高くなっている。

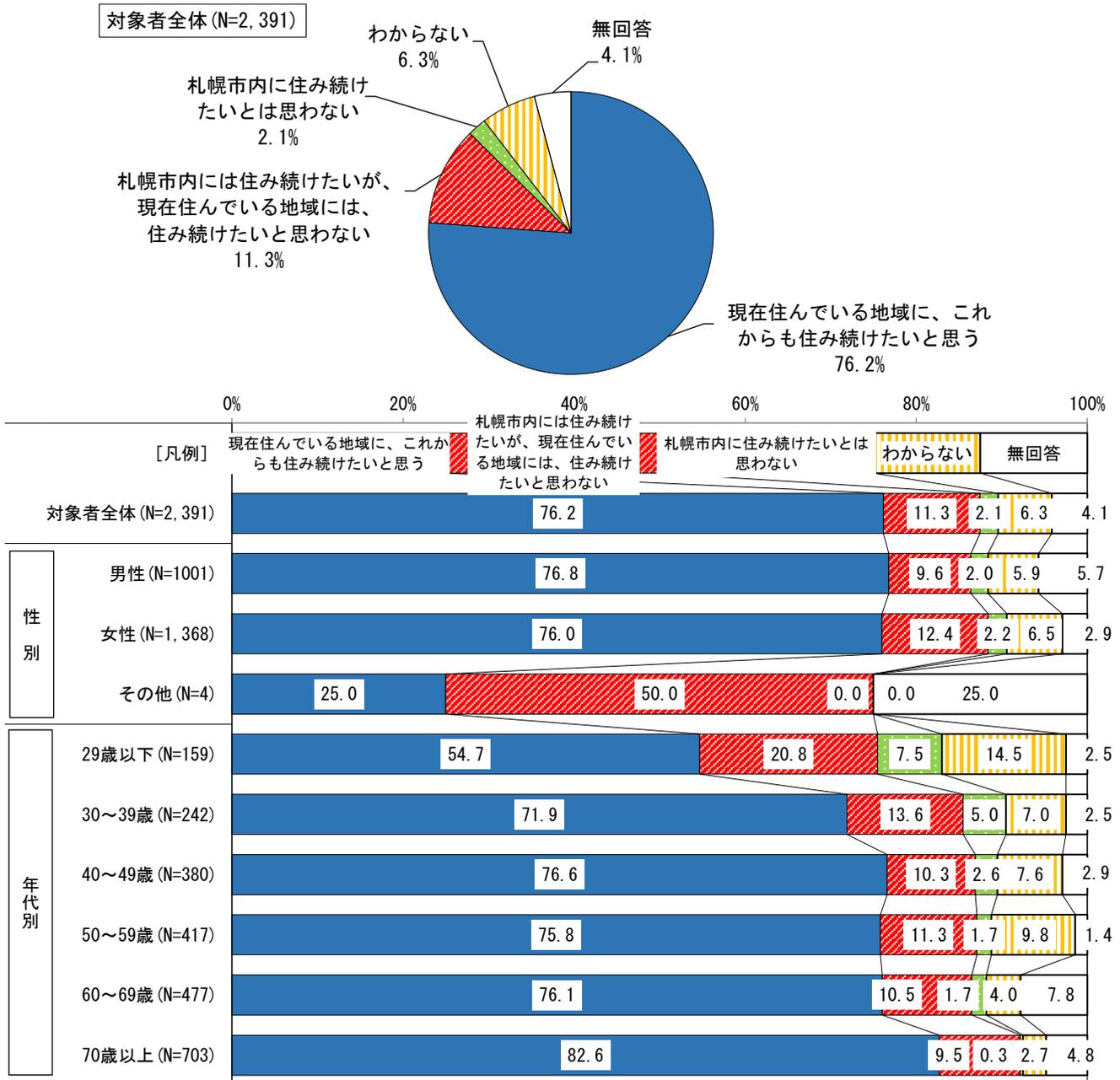
◇現在住んでいる地域の定住意向度

《皆さまにお聞きます。》

問2 あなたは、現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

札幌市内への“定住意向度”は87.5%

※“定住意向度”（「現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う」＋「札幌市内には住み続けたいが、現在住んでいる地域には、住み続けたいと思わない」）



【全体】現在住んでいる地域の定住意向度は、「現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う」が76.2%、「札幌市内には住み続けたいが、現在住んでいる地域には、住み続けたいと思わない」が11.3%、合わせると87.5%となっている。一方、「札幌市内に住み続けたいとは思わない」が2.1%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

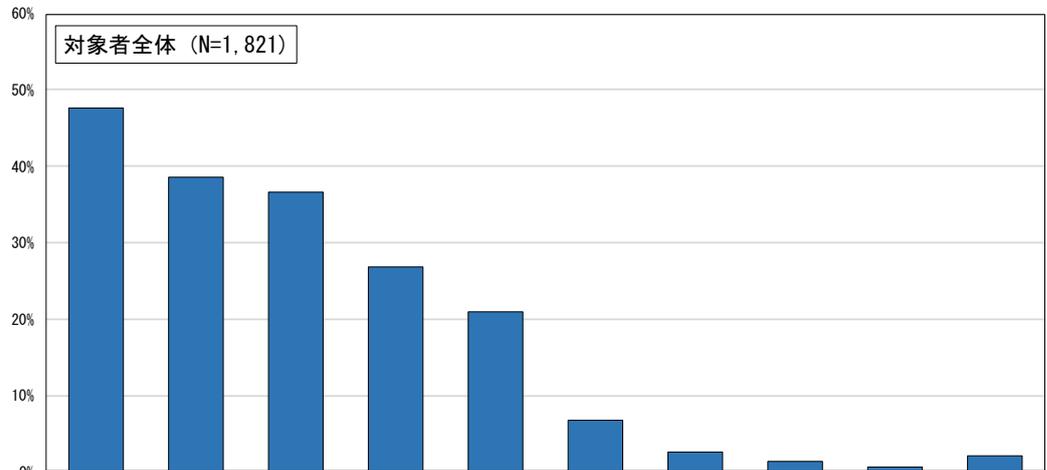
【年代別】札幌市内への“定住意向度”が70歳以上(92.2%)で最も高く、最も低い29歳以下(75.5%)と比べると16.7ポイントの差となっている。

◇定住を望む理由

《問2で「1 現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う」と答えた方にお聞きします。》

問2-1 あなたが、今後も住み続けたいと思う理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

定住を望む理由は「買物や通院に便利だから」と回答した人が47.6%



対象者数		買物や通院に便利だから	自分の家があるから	住み慣れているから	通勤や通学に便利だから	緑や自然の環境が良いから	近所づきあいなど周囲の雰囲気が良いから	文化や教育面の環境が良いから	その他	特に理由はない	無回答	
(%)												
対象者全体		1,821	47.6	38.5	36.6	26.9	20.8	6.8	2.6	1.4	0.5	2.1
性別	男性	769	42.9	40.3	35.5	26.8	22.0	5.7	3.1	1.6	0.5	2.0
	女性	1,039	51.1	37.2	37.2	27.1	20.1	7.5	2.3	1.3	0.5	2.2
	その他	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	87	34.5	13.8	42.5	59.8	18.4	3.4	-	-	4.6	2.3
	30～39歳	174	39.1	31.6	34.5	47.1	15.5	5.2	2.9	2.3	0.6	2.3
	40～49歳	291	39.2	30.9	33.3	48.5	16.2	4.5	5.5	2.1	-	2.1
	50～59歳	316	44.3	40.2	38.9	31.6	20.3	5.1	1.9	1.3	0.6	1.3
	60～69歳	363	51.8	44.1	36.6	19.8	22.0	8.0	1.7	0.3	0.3	1.7
70歳以上	581	55.9	43.7	36.5	7.2	24.8	9.1	2.6	1.9	0.2	2.6	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】定住を望む理由は、「買物や通院に便利だから」が47.6%、「自分の家があるから」が38.5%、「住み慣れているから」が36.6%となっている。

【性別】「買物や通院に便利だから」は女性が51.1%と、男性の42.9%より8.2ポイント高くなっている。

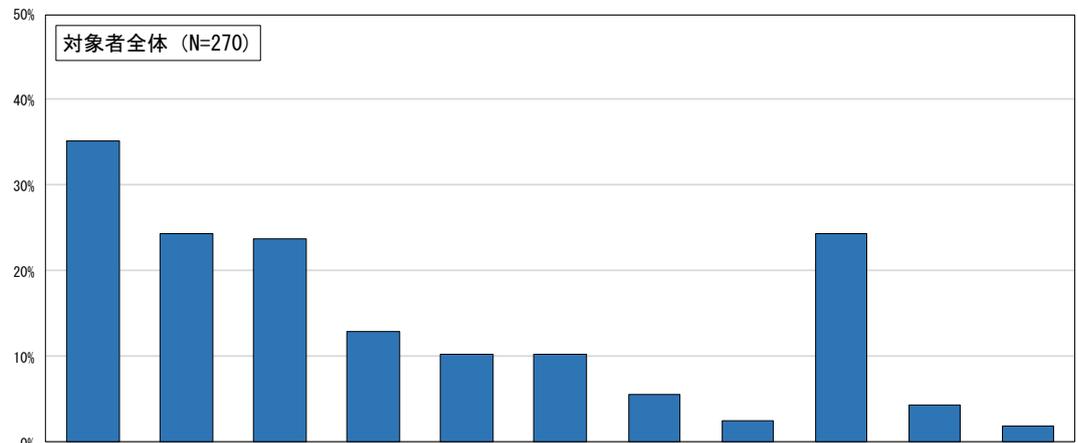
【年代別】「買物や通院に便利だから」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇現在住んでいる地域に住み続けたいと思わない理由

《問2で「2 札幌市内には住み続けたいが、現在住んでいる地域には、住み続けたいと思わない」と答えた方にお聞きします。》

問2—2 あなたが、住み続けたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

現在住んでいる地域に住み続けたいと思わない理由は「買物や通院に不便だから」と回答した人が35.2%



		対象者数	買物や通院に不便だから	現在の住居が不満だから	通勤や通学に不便だから	騒音や排気ガスなどで環境が良くないから	近所づきあいなど周囲の雰囲気が良くないから	住民のモラルが低く、迷惑を受けることがあるから	緑や自然の環境が良くないから	文化や教育面の環境が良くないから	その他	特に理由はない	無回答
		(%)											
対象者全体		270	35.2	24.4	23.7	13.0	10.4	10.4	5.6	2.6	24.4	4.4	1.9
性別	男性	96	35.4	26.0	22.9	12.5	12.5	10.4	5.2	3.1	21.9	5.2	3.1
	女性	170	35.9	23.5	24.1	12.9	9.4	10.6	5.9	2.4	25.9	3.5	0.6
	その他	2	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0	-
年代別	29歳以下	33	30.3	12.1	39.4	15.2	6.1	12.1	3.0	-	27.3	6.1	-
	30～39歳	33	18.2	39.4	15.2	21.2	9.1	12.1	-	3.0	18.2	12.1	3.0
	40～49歳	39	20.5	30.8	28.2	15.4	2.6	23.1	10.3	2.6	23.1	2.6	2.6
	50～59歳	47	40.4	19.1	31.9	10.6	4.3	4.3	8.5	6.4	27.7	4.3	-
	60～69歳	50	52.0	24.0	26.0	12.0	12.0	4.0	4.0	2.0	22.0	4.0	2.0
	70歳以上	67	38.8	23.9	9.0	9.0	20.9	10.4	6.0	1.5	25.4	1.5	3.0

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】現在住んでいる地域に住み続けたいと思わない理由は、「買物や通院に不便だから」が35.2%、「現在の住居が不満だから」が24.4%、「通勤や通学に不便だから」が23.7%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「買物や通院に不便だから」が60歳代(52.0%)で最も高く、最も低い30歳代(18.2%)と比べると33.8ポイントの差となっている。

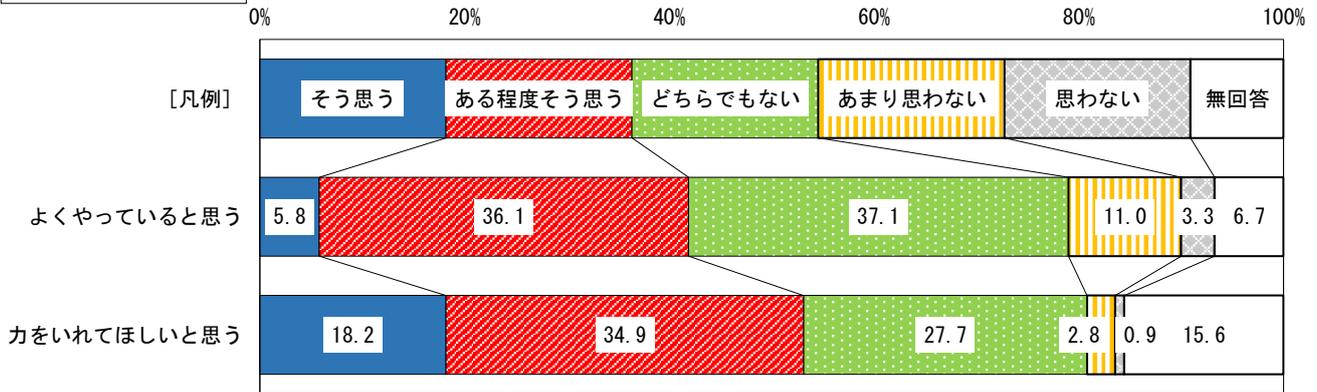
(2) 札幌市の施策・事業について

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ア 住宅・まちづくりに関すること

住宅・まちづくりに関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が53.1%

対象者全体 (N=2,391)

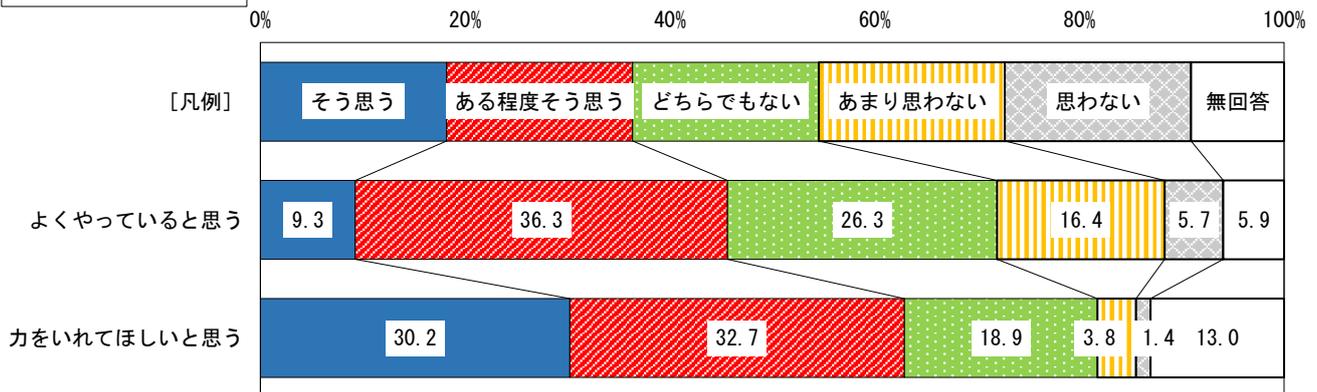


【全体】住宅・まちづくりに関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が5.8%、「ある程度そう思う」が36.1%、合わせると41.9%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が18.2%、「ある程度そう思う」が34.9%、合わせると53.1%となっている。

イ 公共交通の便利さを進める事業

公共交通の便利さを進める事業については“力をいれてほしい”と回答した人が62.9%

対象者全体 (N=2,391)



【全体】公共交通の便利さを進める事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が9.3%、「ある程度そう思う」が36.3%、合わせると45.6%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が30.2%、「ある程度そう思う」が32.7%、合わせると62.9%となっている。

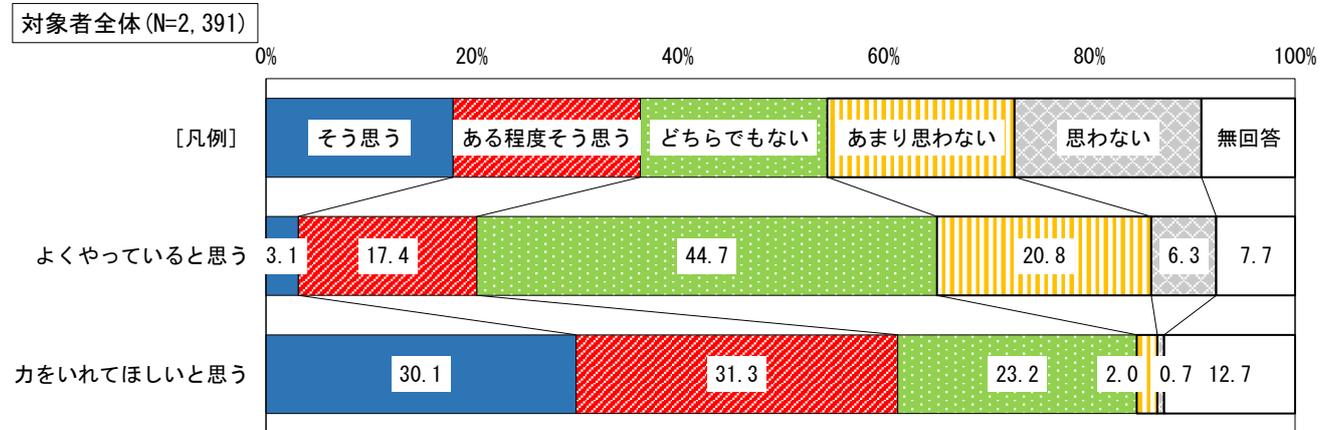
問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

“力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ウ 産業や経済の振興、雇用の推進に関すること

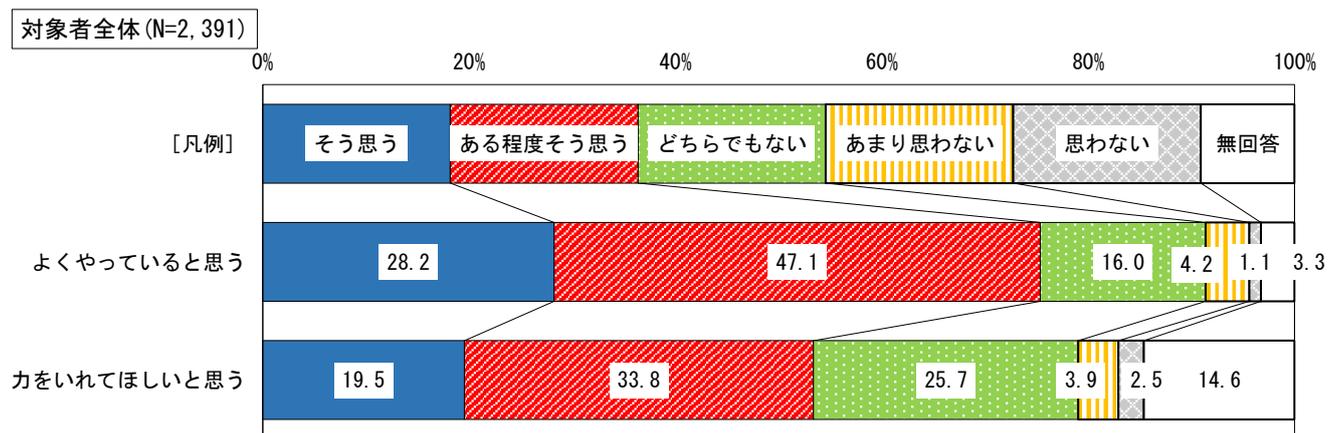
産業や経済の振興、雇用の推進に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が61.4%



【全体】 産業や経済の振興、雇用の推進に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が3.1%、「ある程度そう思う」が17.4%、合わせると20.5%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が30.1%、「ある程度そう思う」が31.3%、合わせると61.4%となっている。

エ ごみや資源回収のこと

ごみや資源回収のことについては“よくやっている”と回答した人が75.4%



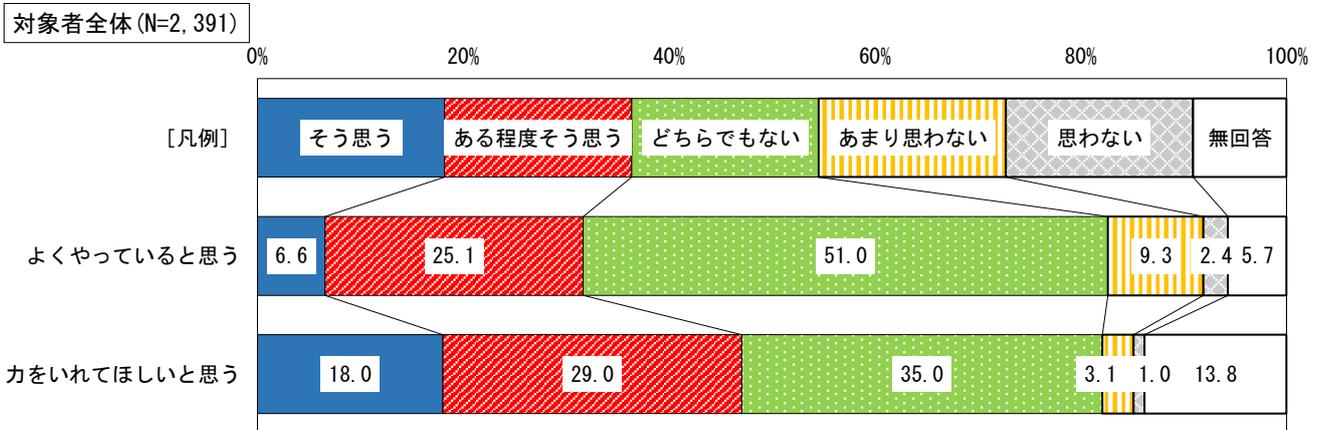
【全体】 ごみや資源回収のことをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が28.2%、「ある程度そう思う」が47.1%、合わせると75.4%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が19.5%、「ある程度そう思う」が33.8%、合わせると53.4%となっている。

問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

オ 環境保全(公害)に関すること

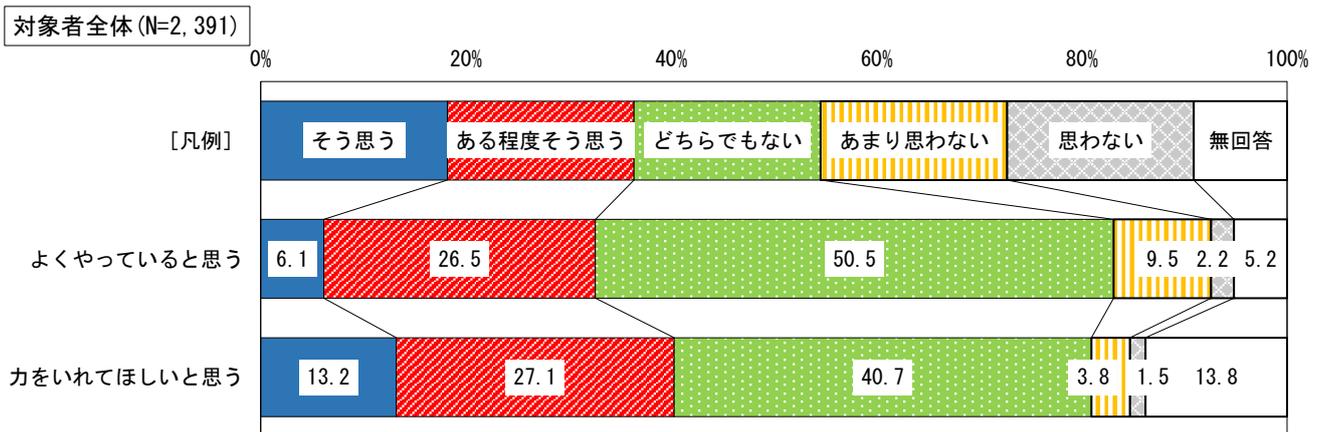
環境保全(公害)に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が47.1%



【全体】環境保全(公害)に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が6.6%、「ある程度そう思う」が25.1%、合わせると31.7%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が18.0%、「ある程度そう思う」が29.0%、合わせると47.1%となっている。

カ 河川・湖沼などの整備に関すること

河川・湖沼などの整備に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が40.3%



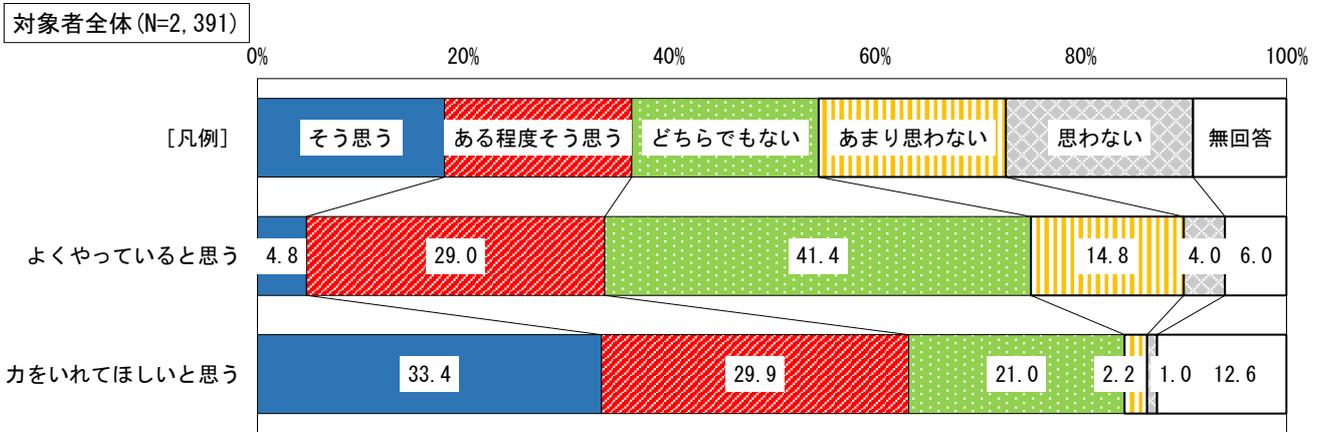
【全体】河川・湖沼などの整備に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が6.1%、「ある程度そう思う」が26.5%、合わせると32.6%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が13.2%、「ある程度そう思う」が27.1%、合わせると40.3%となっている。

問3 “よくやっている”…「そう思う」+「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい”…「そう思う」+「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

キ 地震・火災・水害などの防災対策

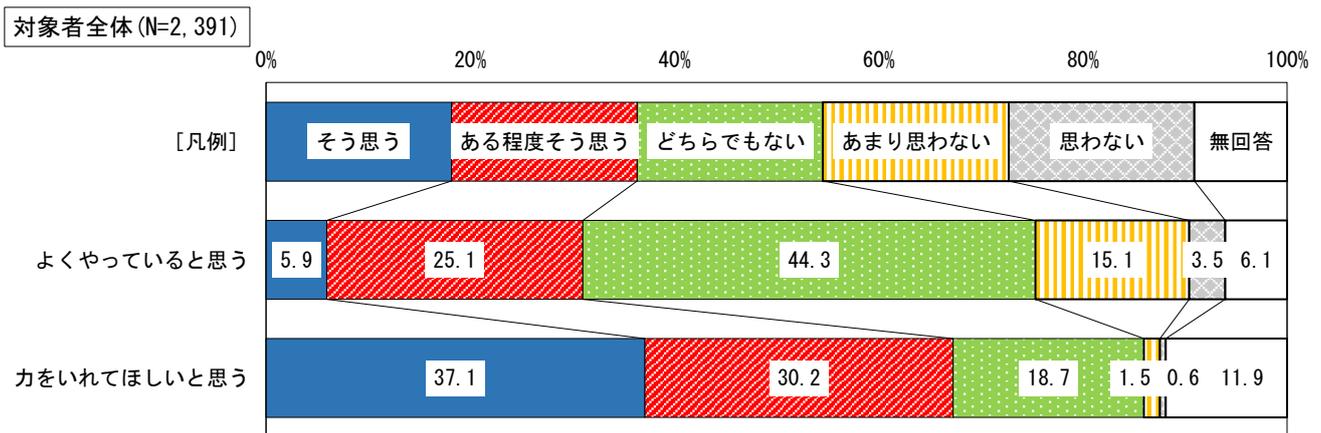
地震・火災・水害などの防災対策については“力をいれてほしい”と回答した人が63.3%



【全体】地震・火災・水害などの防災対策をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が4.8%、「ある程度そう思う」が29.0%、合わせると33.8%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が33.4%、「ある程度そう思う」が29.9%、合わせると63.3%となっている。

ク 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること

犯罪のない安全で安心なまちづくりに関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が67.3%



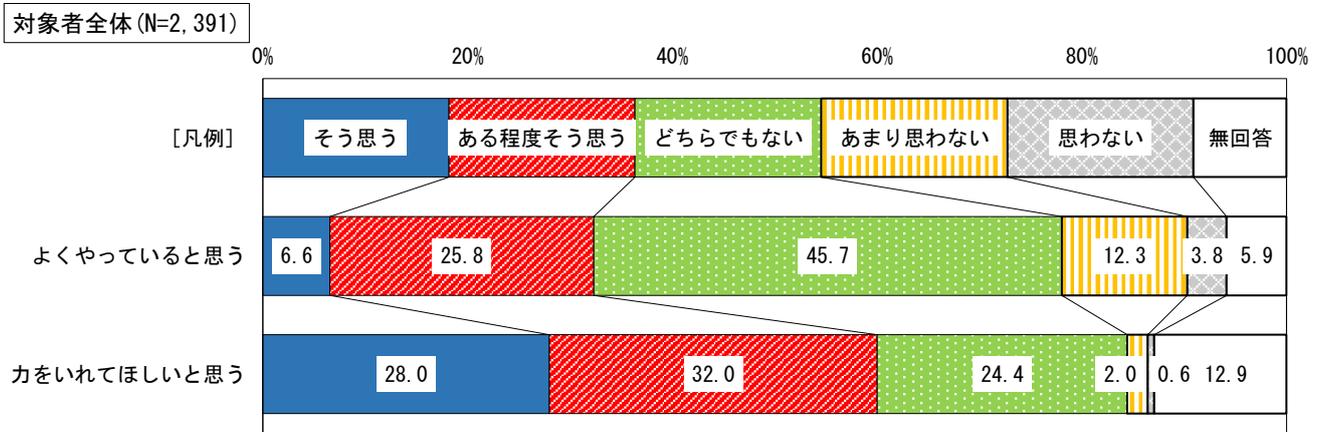
【全体】犯罪のない安全で安心なまちづくりに関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が5.9%、「ある程度そう思う」が25.1%、合わせると31.0%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が37.1%、「ある程度そう思う」が30.2%、合わせると67.3%となっている。

問3 “よくやっている”…「そう思う」+「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい”…「そう思う」+「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ケ 交通安全対策に関すること

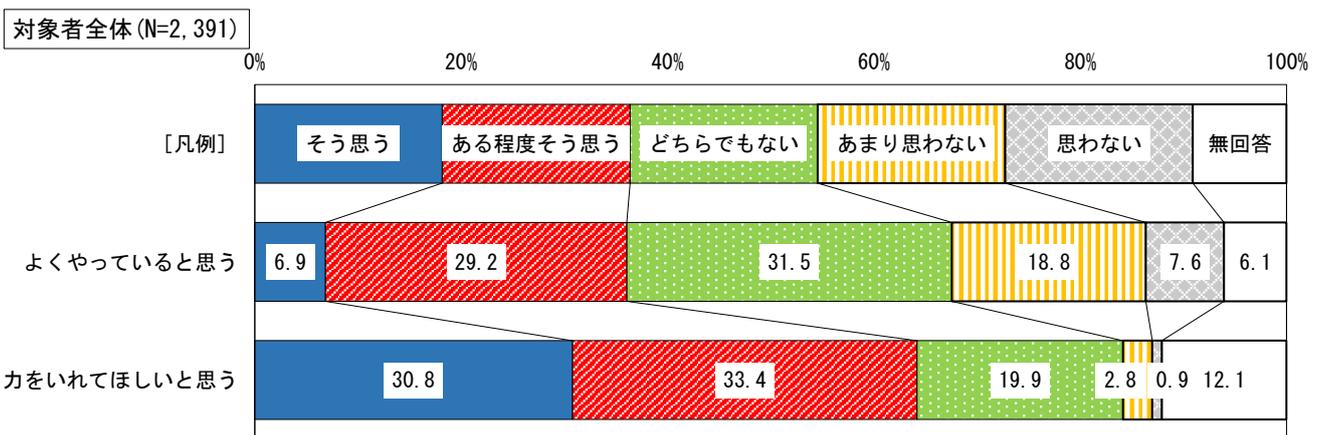
交通安全対策に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が60.0%



【全体】交通安全対策に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が6.6%、「ある程度そう思う」が25.8%、合わせると32.3%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が28.0%、「ある程度そう思う」が32.0%、合わせると60.0%となっている。

コ 道路の整備・維持管理に関すること

道路の整備・維持管理に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が64.2%



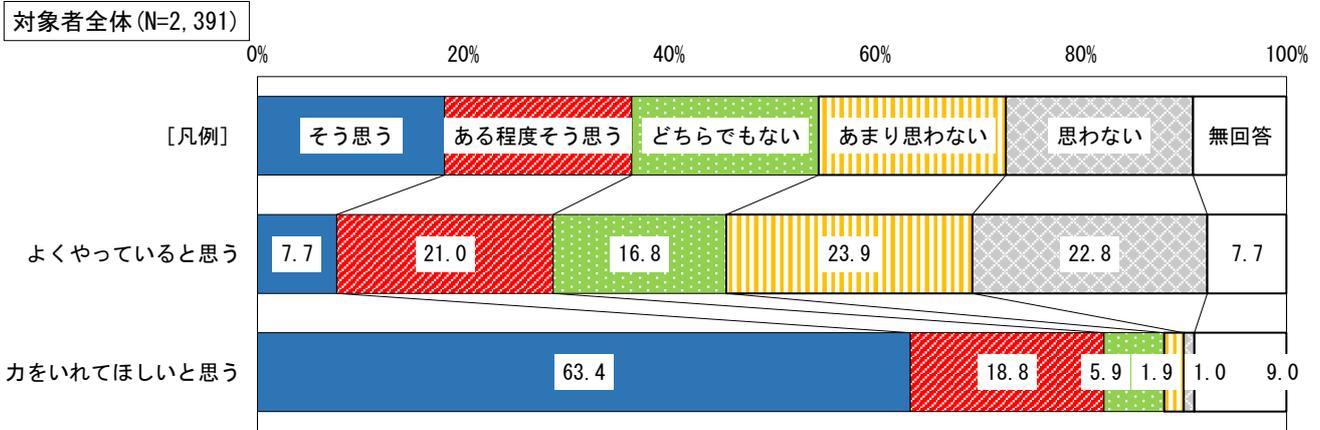
【全体】道路の整備・維持管理に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が6.9%、「ある程度そう思う」が29.2%、合わせると36.1%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が30.8%、「ある程度そう思う」が33.4%、合わせると64.2%となっている。

問3 “よくやっている” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい” … 「そう思う」 + 「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

サ 除雪に関すること

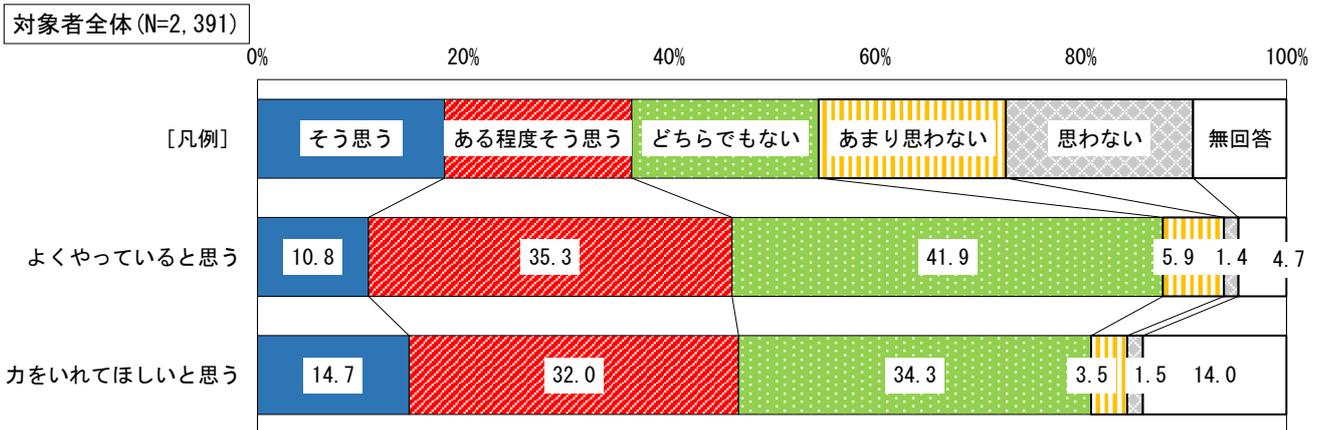
除雪に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が82.3%



【全体】除雪に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が7.7%、「ある程度そう思う」が21.0%、合わせると28.7%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が63.4%、「ある程度そう思う」が18.8%、合わせると82.3%となっている。

シ 公園や緑地など「みどり」の事業

公園や緑地など「みどり」の事業については“力をいれてほしい”と回答した人が46.8%



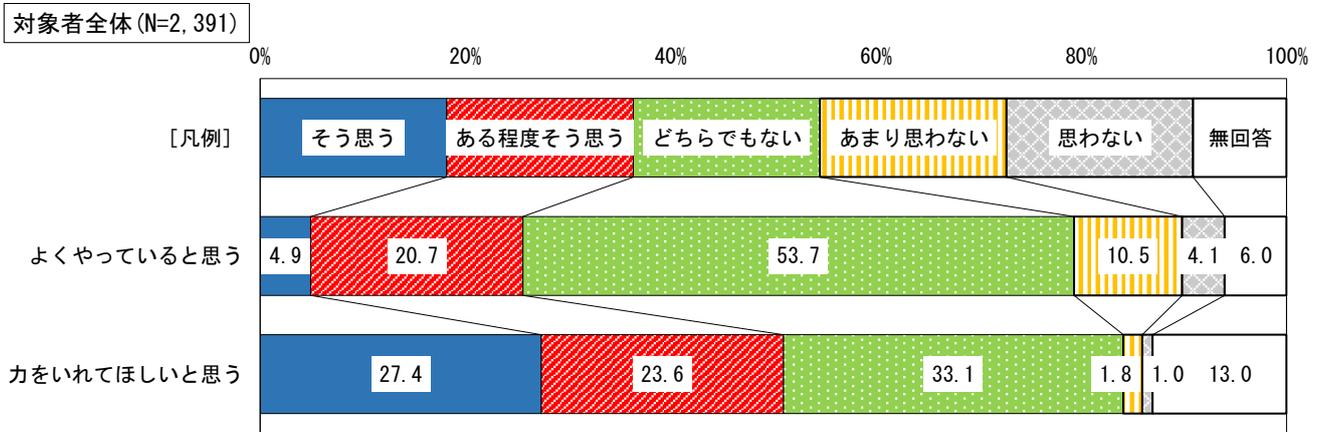
【全体】公園や緑地など「みどり」の事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が10.8%、「ある程度そう思う」が35.3%、合わせると46.1%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が14.7%、「ある程度そう思う」が32.0%、合わせると46.8%となっている。

問3 “よくやっている”…「そう思う」+「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい”…「そう思う」+「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ス 子どもの教育に関する事業

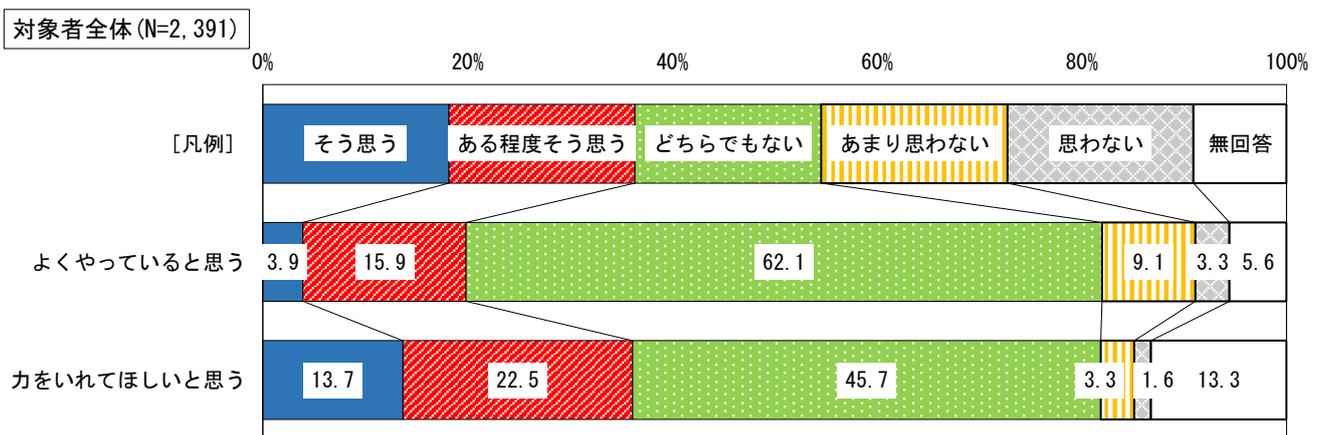
子どもの教育に関する事業については“力をいれてほしい”と回答した人が51.0%



【全体】子どもの教育に関する事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が4.9%、「ある程度そう思う」が20.7%、合わせると25.6%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が27.4%、「ある程度そう思う」が23.6%、合わせると51.0%となっている。

セ 生涯学習などに関する事業

生涯学習などに関する事業については“力をいれてほしい”と回答した人が36.1%



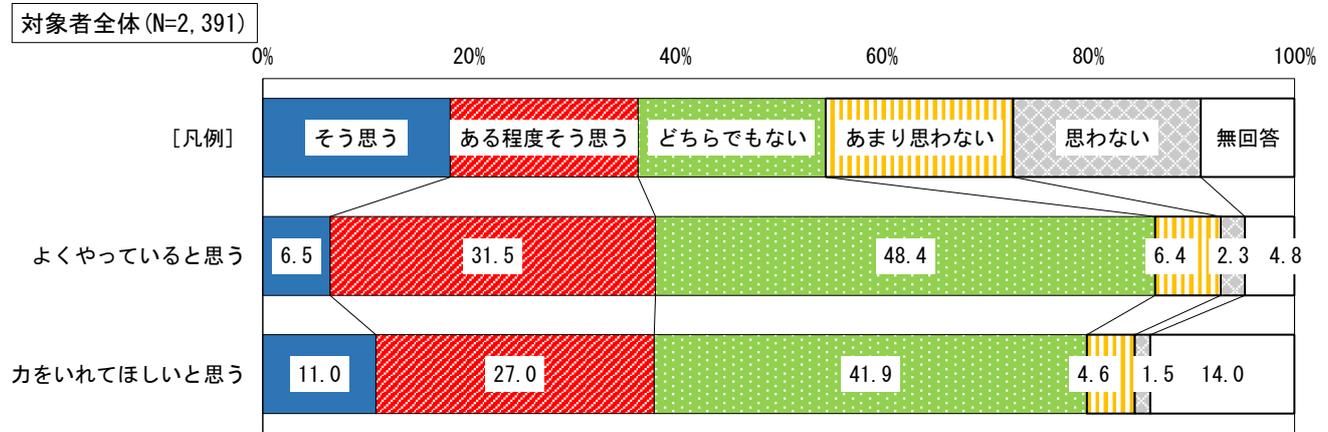
【全体】生涯学習などに関する事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が3.9%、「ある程度そう思う」が15.9%、合わせると19.9%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が13.7%、「ある程度そう思う」が22.5%、合わせると36.1%となっている。

問3 “よくやっている”…「そう思う」+「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい”…「そう思う」+「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ソ 文化芸術の振興に関する事業

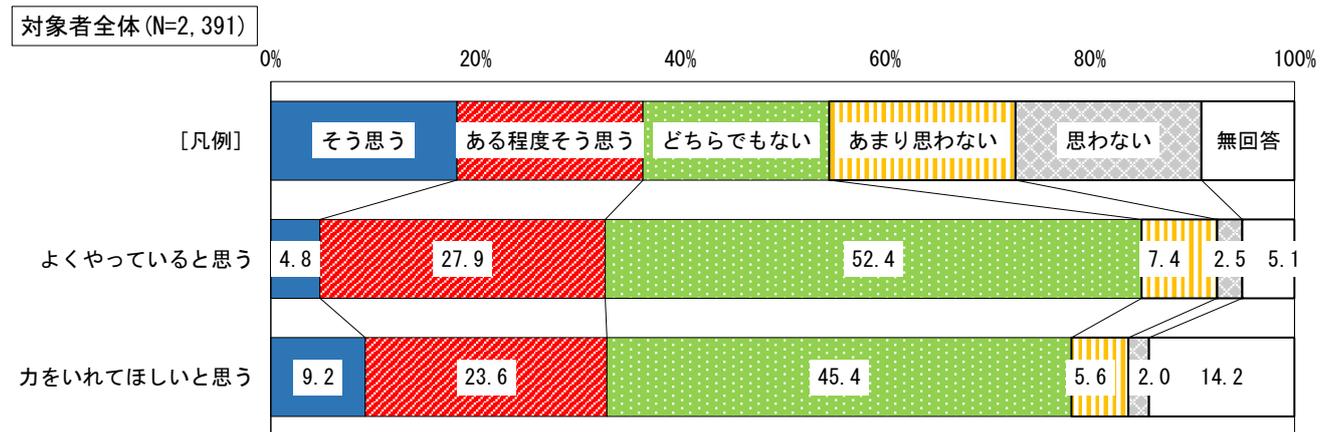
文化芸術の振興に関する事業については“よくやっている”と回答した人が38.1%



【全体】文化芸術の振興に関する事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が6.5%、「ある程度そう思う」が31.5%、合わせると38.1%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が11.0%、「ある程度そう思う」が27.0%、合わせると37.9%となっている。

タ スポーツ・レクリエーションの事業

スポーツ・レクリエーションの事業については“力をいれてほしい”と回答した人が32.8%



【全体】スポーツ・レクリエーションの事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が4.8%、「ある程度そう思う」が27.9%、合わせると32.7%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が9.2%、「ある程度そう思う」が23.6%、合わせると32.8%となっている。

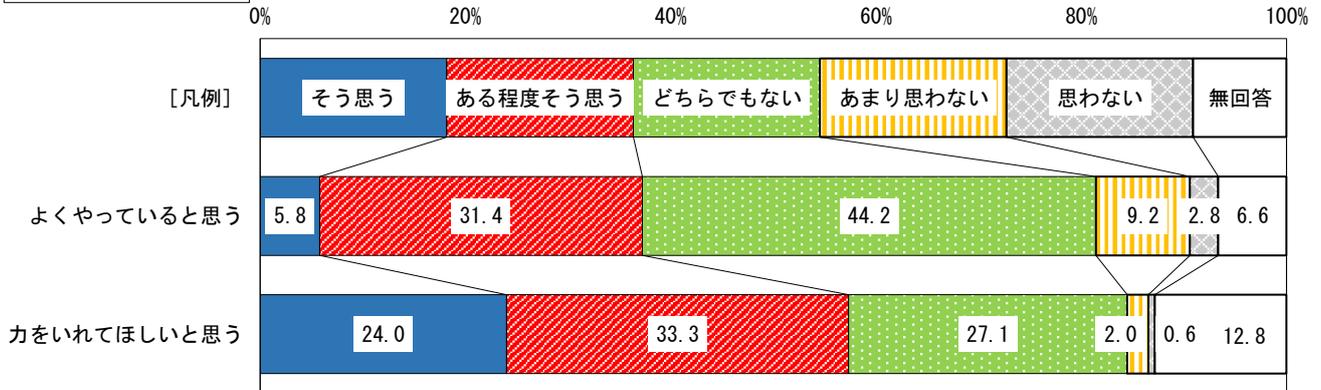
問3 “よくやっている”…「そう思う」+「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい”…「そう思う」+「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

チ 健康づくり、医療、衛生の事業

健康づくり、医療、衛生の事業については“力をいれてほしい”と回答した人が57.3%

対象者全体 (N=2,391)

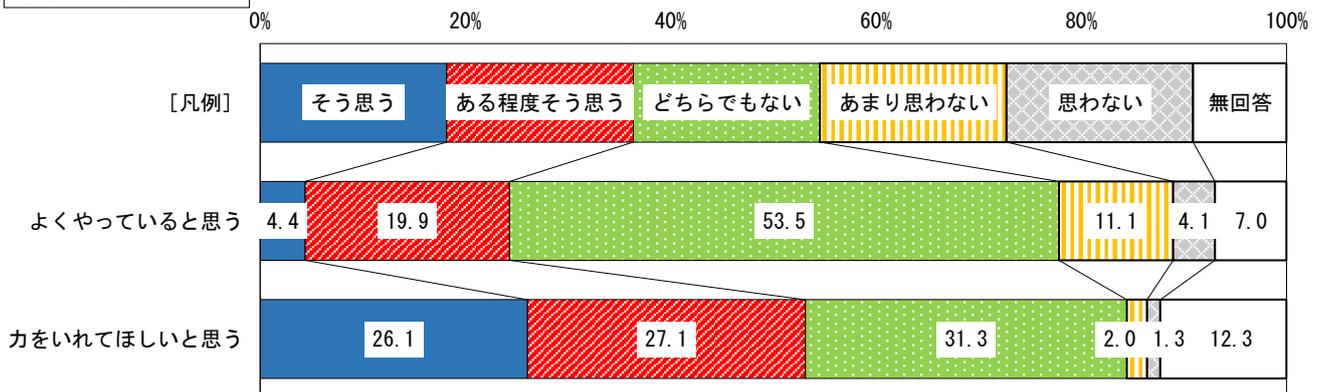


【全体】健康づくり、医療、衛生の事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が5.8%、「ある程度そう思う」が31.4%、合わせると37.2%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が24.0%、「ある程度そう思う」が33.3%、合わせると57.3%となっている。

ツ 母子及び父子・児童福祉に関すること

母子及び父子・児童福祉に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が53.1%

対象者全体 (N=2,391)



【全体】母子及び父子・児童福祉に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が4.4%、「ある程度そう思う」が19.9%、合わせると24.3%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が26.1%、「ある程度そう思う」が27.1%、合わせると53.1%となっている。

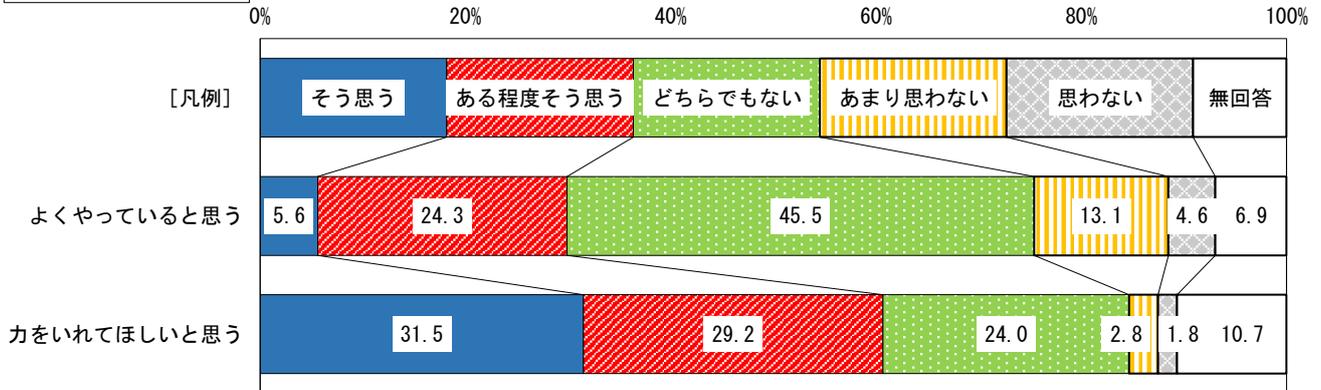
問3 “よくやっている”…「そう思う」+「ある程度そう思う」
“力をいれてほしい”…「そう思う」+「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

テ 高齢者福祉に関すること

高齢者福祉に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が60.7%

対象者全体 (N=2,391)

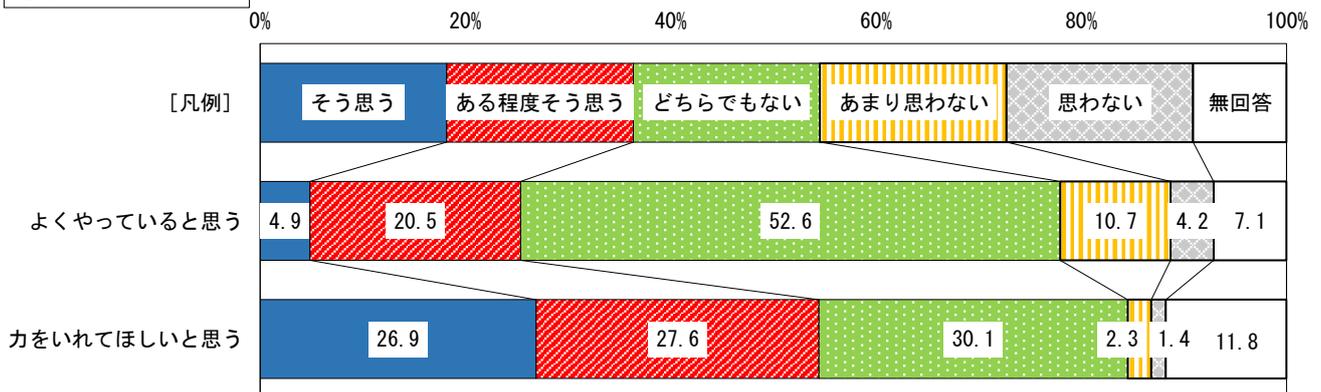


【全体】 高齢者福祉に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が5.6%、「ある程度そう思う」が24.3%、合わせると29.9%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が31.5%、「ある程度そう思う」が29.2%、合わせると60.7%となっている。

ト 障がい者福祉に関すること

障がい者福祉に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が54.5%

対象者全体 (N=2,391)



【全体】 障がい者福祉に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が4.9%、「ある程度そう思う」が20.5%、合わせると25.4%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が26.9%、「ある程度そう思う」が27.6%、合わせると54.5%となっている。

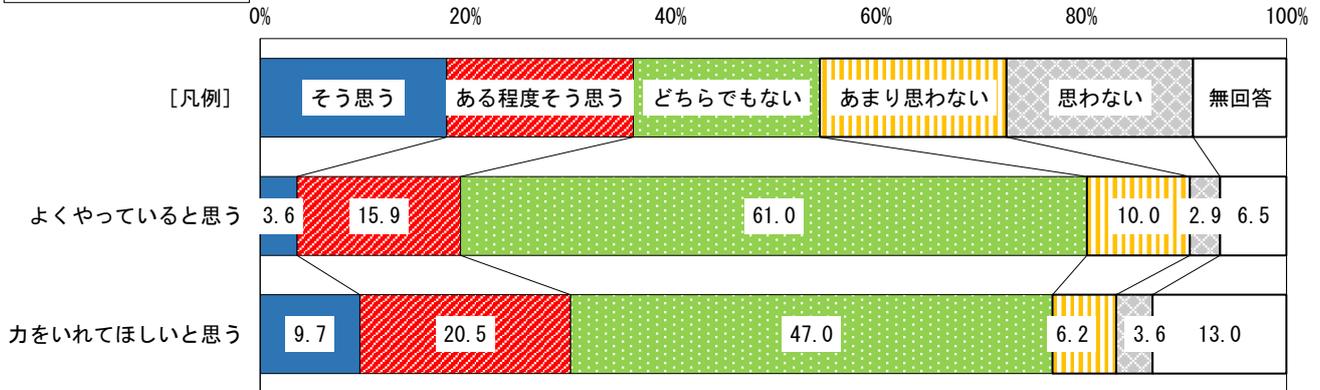
問3 “よくやっている”…「そう思う」+「ある程度そう思う」
“力をいれてほしい”…「そう思う」+「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ○をつけてください。

ナ 国際化推進に関すること

国際化推進に関することについては“力をいれてほしい”と回答した人が30.2%

対象者全体 (N=2,391)

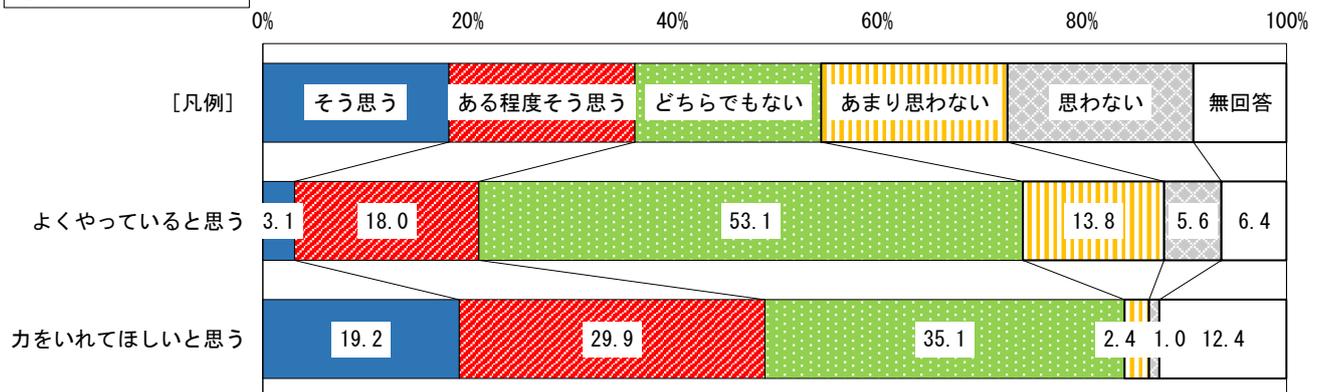


【全体】国際化推進に関することをよくやっていると思うかについて、「そう思う」が3.6%、「ある程度そう思う」が15.9%、合わせると19.5%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が9.7%、「ある程度そう思う」が20.5%、合わせると30.2%となっている。

二 市民への情報提供や相談に関する事業

市民への情報提供や相談に関する事業については“力をいれてほしい”と回答した人が49.1%

対象者全体 (N=2,391)



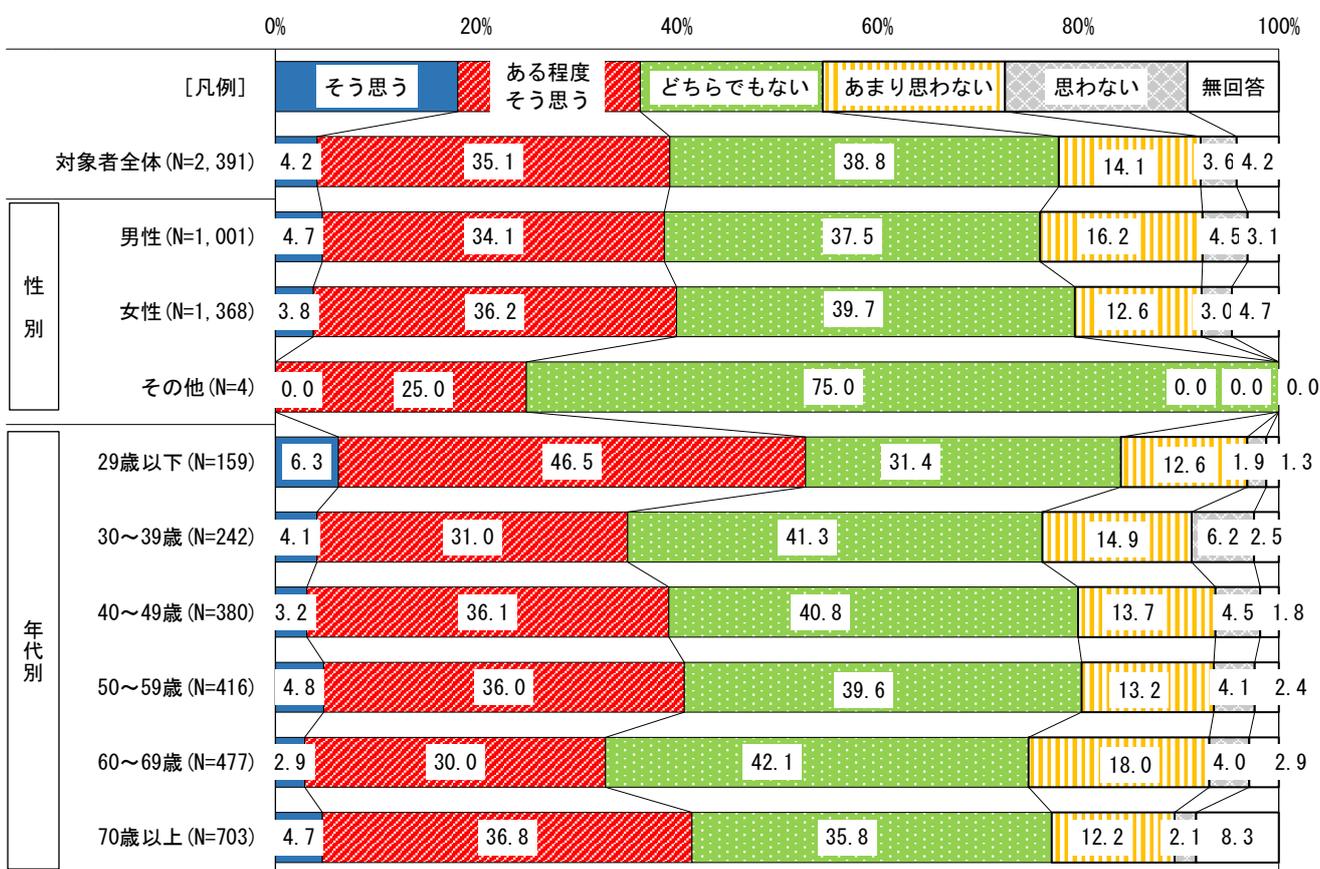
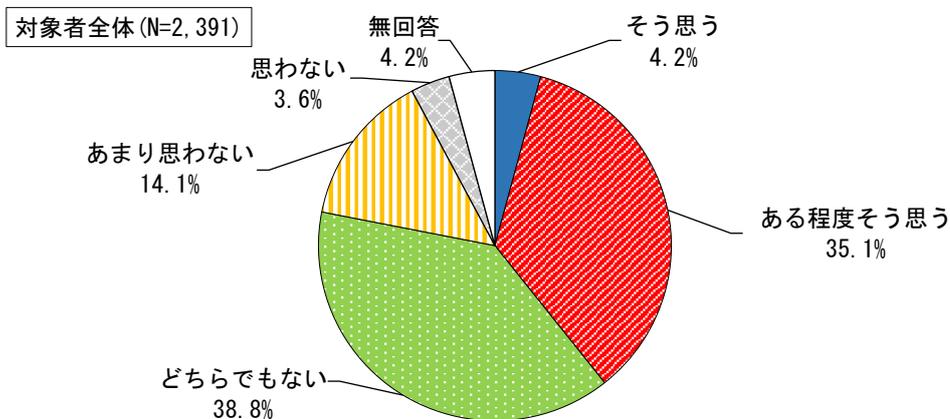
【全体】市民への情報提供や相談に関する事業をよくやっていると思うかについて、「そう思う」が3.1%、「ある程度そう思う」が18.0%、合わせると21.1%となっている。一方、力をいれてほしいと思うかについて、「そう思う」が19.2%、「ある程度そう思う」が29.9%、合わせると49.1%となっている。

問3 “よくやっている”…「そう思う」+「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい”…「そう思う」+「ある程度そう思う」

問3 あなたは、以下の札幌市の取り組みについて、よくやっていると思いますか。また、力をいれてほしいと思いますか。それぞれの項目について1つずつ〇をつけてください。

又 市の取り組みに対する総合的な満足度

市の取り組みに対する総合的な満足度については“よくやっている”と回答した人は39.3%



【全体】市の取り組みに対する総合的な満足度について、よくやっていると思うかは、「そう思う」が4.2%、「ある程度そう思う」が35.1%、合わせると39.3%となっている。一方、「あまり思わない」が14.1%、「思わない」が3.6%、合わせると17.7%となっている。

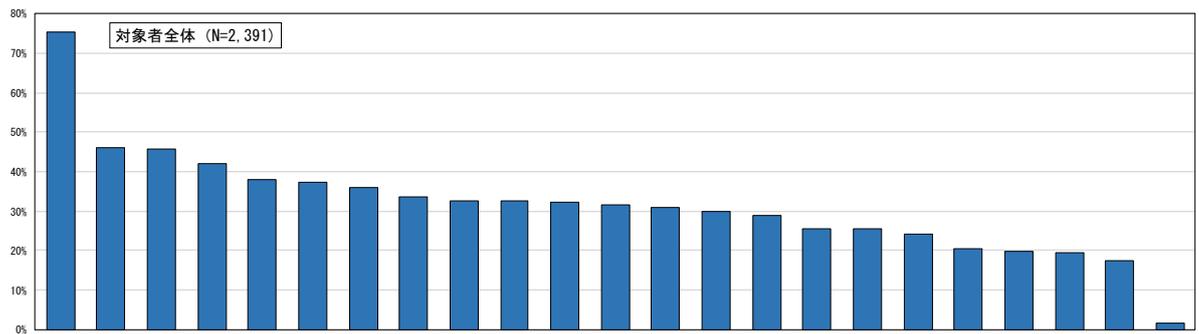
【性別】“よくやっていると思わない”（「思わない」＋「あまり思わない」）は男性が20.7%と、女性の15.6%より5.1ポイント高くなっている。

【年代別】“よくやっている”が29歳以下（52.8%）で最も高く、最も低い60歳代（32.9%）と比べると19.9ポイントの差となっている。

問3 “よくやっている”…「そう思う」＋「ある程度そう思う」
 “力をいれてほしい”…「そう思う」＋「ある程度そう思う」

◇市政に対する評価「よくやっていると思うもの」順位表

札幌市の施策・事業についての設問（問3）で、「よくやっていると思うもの」において、“よくやっていると思う”（「そう思う」「ある程度そう思う」の合計）と回答した割合が高いものから順に記載する。



	対象者数	ごみや資源回収のこと	公園や緑地など「みどり」の事業	公共交通の便利さを進める事業	住宅・まちづくりに関すること	文化芸術の振興に関する事業	健康づくり、医療、衛生の事業	道路の整備・維持管理に関すること	地震・火災・水害などの防災対策	スポーツ・レクリエーションの事業	河川・湖沼などの整備に関すること	交通安全対策に関すること	環境保全（公害）に関すること	犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること	高齢者福祉に関すること	除雪に関すること	子どもの教育に関する事業	障がい者福祉に関すること	母子及び父子・児童福祉に関すること	産業や経済の振興、雇用の推進に関すること	生涯学習などに関する事業	国際化推進に関すること	市民への情報提供や相談に関する事業	無回答	
(%)	2,391	75.4	46.1	45.6	41.9	38.1	37.2	36.1	33.8	32.7	32.6	32.3	31.7	31.0	29.9	28.7	25.6	25.4	24.3	20.5	19.9	19.5	17.4	1.5	
対象者全体	2,391	75.4	46.1	45.6	41.9	38.1	37.2	36.1	33.8	32.7	32.6	32.3	31.7	31.0	29.9	28.7	25.6	25.4	24.3	20.5	19.9	19.5	17.4	1.5	
性別																									
男性	1,001	73.3	44.5	44.5	41.3	38.0	37.2	33.8	32.1	32.9	33.7	30.8	32.3	30.0	28.9	27.1	25.1	25.2	22.6	20.1	17.8	20.9	20.5	1.3	
女性	1,368	77.3	47.7	46.7	42.5	38.3	37.5	37.9	35.0	32.5	32.0	33.8	31.4	31.9	30.8	29.9	26.0	25.7	25.7	20.7	21.4	18.6	21.7	1.5	
その他	4	75.0	25.0	50.0	-	-	-	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	
年代別																									
29歳以下	159	66.0	48.4	49.7	47.2	48.4	40.9	43.4	39.6	38.4	32.7	41.5	33.3	28.3	30.2	28.9	28.3	27.7	25.8	28.3	17.6	22.6	27.0	0.6	
30～39歳	242	65.7	41.3	51.7	44.2	40.5	37.6	38.0	29.8	34.3	31.4	25.6	28.1	24.4	26.0	29.3	24.8	20.2	27.7	21.9	14.5	22.3	18.6	0.4	
40～49歳	380	70.5	47.4	44.7	40.3	39.7	32.1	36.8	34.2	32.9	29.5	27.1	27.4	24.5	25.0	27.6	25.0	21.6	22.9	20.0	18.2	18.7	17.4	1.6	
50～59歳	417	77.2	46.0	43.2	45.1	40.5	34.5	34.1	34.1	33.8	36.0	29.5	33.8	30.7	30.2	27.6	26.1	24.9	24.0	21.1	20.9	21.6	20.6	1.0	
60～69歳	477	79.7	44.4	40.3	39.2	32.7	30.8	30.0	29.8	27.0	31.4	25.2	32.3	25.6	24.1	22.9	20.1	19.3	18.9	17.6	16.1	15.7	15.7	1.0	
70歳以上	703	79.9	48.1	48.6	40.8	36.0	45.0	38.7	35.8	33.4	33.6	42.2	33.1	41.5	38.0	33.7	28.9	33.1	27.5	20.1	19.6	19.6	26.6	2.6	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

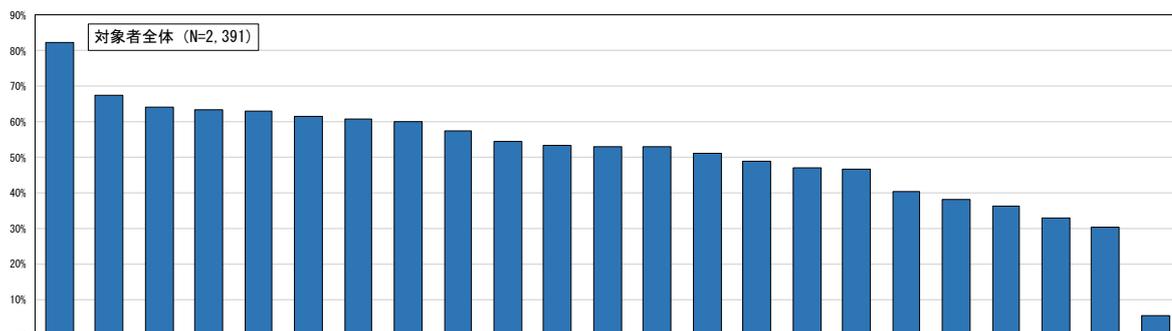
【全体】 市政に対する評価「よくやっていると思うもの」において、“よくやっていると思う”の割合は、「ごみや資源回収のこと」が75.4%、「公園や緑地など「みどり」の事業」が46.1%、「公共交通の便利さを進める事業」が45.6%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 29歳以下では、「文化芸術の振興に関する事業」が対象者全体より10.3ポイント高くなっている。また、70歳以上では、「犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること」が対象者全体より10.5ポイント高くなっている。

◇市政に対する評価 [力をいれてほしいもの] 順位表

札幌市の施策・事業についての設問（問3）で、「力をいれてほしいと思うもの」において、“力をいれてほしいと思う”（「そう思う」「ある程度そう思う」の合計）と回答した割合が高いものから順に記載する。



	対象者数	除雪に関すること	犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること	道路の整備・維持管理に関すること	地震・火災・水害などの防災対策	公共交通の便利さを進める事業	産業や経済の振興、雇用の推進に関すること	高齢者福祉に関すること	交通安全対策に関すること	健康づくり、医療、衛生の事業	障がい者福祉に関すること	ごみや資源回収のこと	住宅・まちづくりに関すること	母子及び父子・児童福祉に関すること	子どもの教育に関する事業	市民への情報提供や相談に関する事業	環境保全（公害）に関すること	公園や緑地など「みどり」の事業	河川・湖沼などの整備に関すること	文化芸術の振興に関する事業	生涯学習などに関する事業	スポーツ・レクリエーションの事業	国際化推進に関すること	無回答
対象者全体	2,391	82.3	67.3	64.2	63.3	62.9	61.4	60.7	60.0	57.3	54.5	53.4	53.1	53.1	51.0	49.1	47.1	46.8	40.3	37.9	36.1	32.8	30.2	5.6
性別																								
男性	1,001	82.1	65.4	67.1	60.9	64.1	62.8	57.9	58.3	57.8	53.6	55.3	55.3	54.0	50.3	46.6	48.0	46.5	41.7	36.9	34.8	34.0	29.0	6.1
女性	1,368	82.7	68.9	62.4	65.4	62.4	60.6	63.0	61.7	57.2	55.5	52.2	51.7	52.8	51.8	51.0	46.6	47.1	39.5	38.7	37.1	32.0	31.4	5.0
その他	4	100.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	25.0	50.0	75.0	25.0	75.0	50.0	-	-	100.0	50.0	25.0	25.0	50.0	-	25.0	-	-
年代別																								
29歳以下	159	87.4	77.4	66.0	69.2	74.8	60.4	56.6	69.2	64.2	57.2	49.1	57.2	64.8	61.6	52.8	53.5	50.9	39.6	42.8	45.3	39.0	37.7	1.9
30～39歳	242	89.3	77.3	62.4	66.5	67.8	73.6	57.9	66.1	66.9	52.1	54.5	55.8	62.0	66.5	52.5	48.3	52.5	39.3	39.7	39.7	37.6	37.2	4.1
40～49歳	380	86.6	70.3	64.5	66.6	67.4	68.2	53.7	61.8	58.9	51.8	50.8	58.2	50.5	56.3	50.5	43.9	45.3	37.6	39.7	37.1	32.6	29.5	3.4
50～59歳	417	87.3	72.9	70.7	70.5	68.6	71.2	61.6	62.1	60.9	57.6	54.2	55.4	52.0	52.3	53.2	47.2	49.4	44.6	39.3	36.9	36.0	33.3	3.4
60～69歳	477	83.6	64.8	67.9	65.6	62.7	60.6	65.0	61.0	52.4	56.6	58.3	55.1	55.6	47.4	49.9	49.5	46.1	42.8	37.7	32.7	30.0	27.7	3.4
70歳以上	703	73.0	58.7	58.0	53.6	53.5	48.9	63.2	53.5	53.2	53.2	51.9	46.1	48.1	42.1	43.5	45.4	43.7	38.3	34.7	34.0	30.0	26.7	10.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

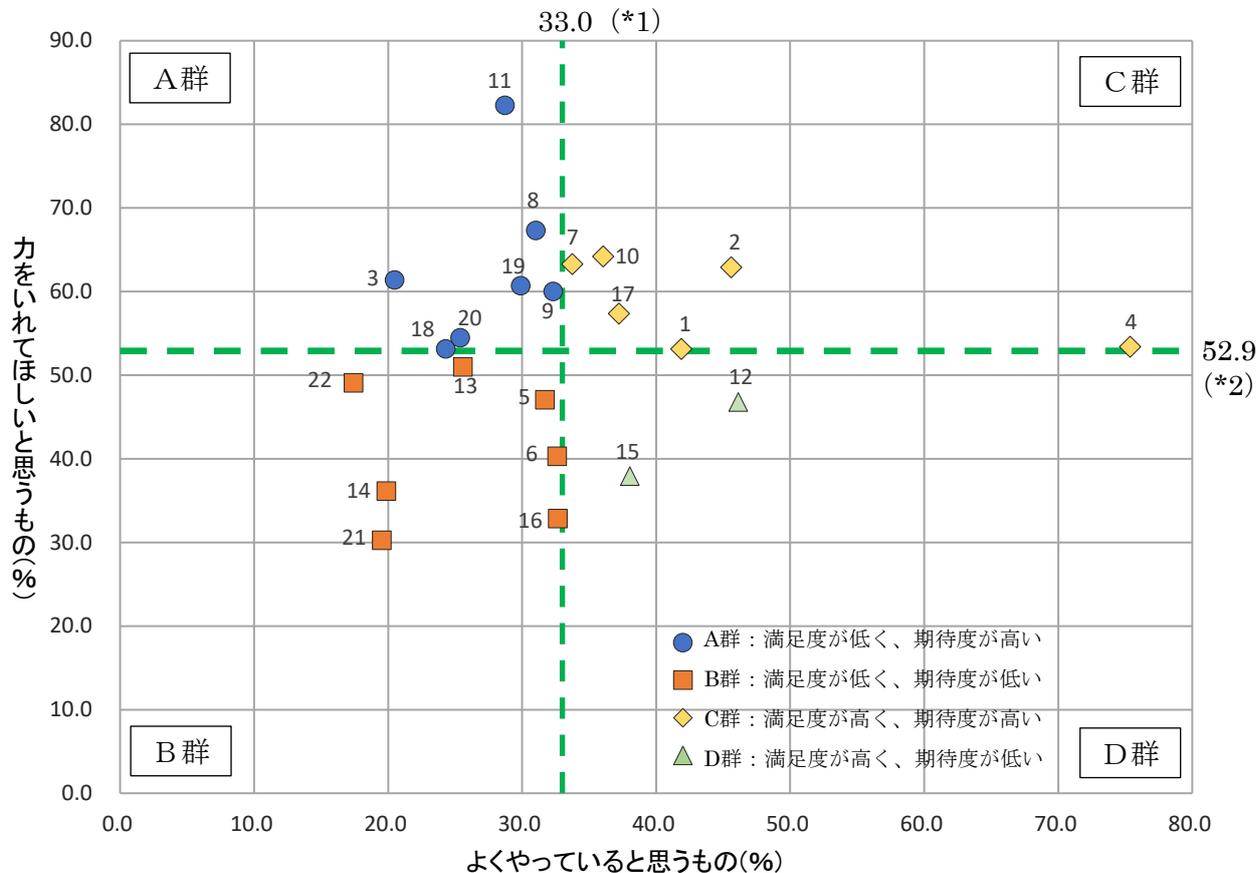
【全体】市政に対する評価[力をいれてほしいもの]において、“力をいれてほしいと思う”の割合は、「除雪に関すること」が82.3%、「犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること」が67.3%、「道路の整備・維持管理に関すること」が64.2%となっている。

【性別】「高齢者福祉に関すること」は女性が63.0%と、男性の57.9%より5.1ポイント高くなっている。

【年代別】29歳以下では、「犯罪のない安全で安心なまちづくりに関すること」、「公共交通の便利さを進める事業」、「母子及び父子、児童福祉に関すること」、「子どもの教育に関する事業」が対象者全体より10.1ポイント以上高くなっている。

◇市政に対する評価〔力をいれてほしいもの〕順位表

札幌市の施策・事業についての設問（問3）で、「よくやっていると思うもの」「力をいれてほしいと思うもの」において“そう思う”（「そう思う」「ある程度そう思う」の合計）と回答した割合（%）を下記の表の通りプロットし、今後の方向性を定める目安とする（横軸：よくやっていると思うもの、縦軸：力をいれてほしいと思うもの）。



*1) 各施策・事業について「よくやっていると思うもの」にて「そう思う」と「ある程度そう思う」と回答した割合の平均値

*2) 各施策・事業について「力をいれてほしいと思うもの」にて「そう思う」と「ある程度そう思う」と回答した割合の平均値

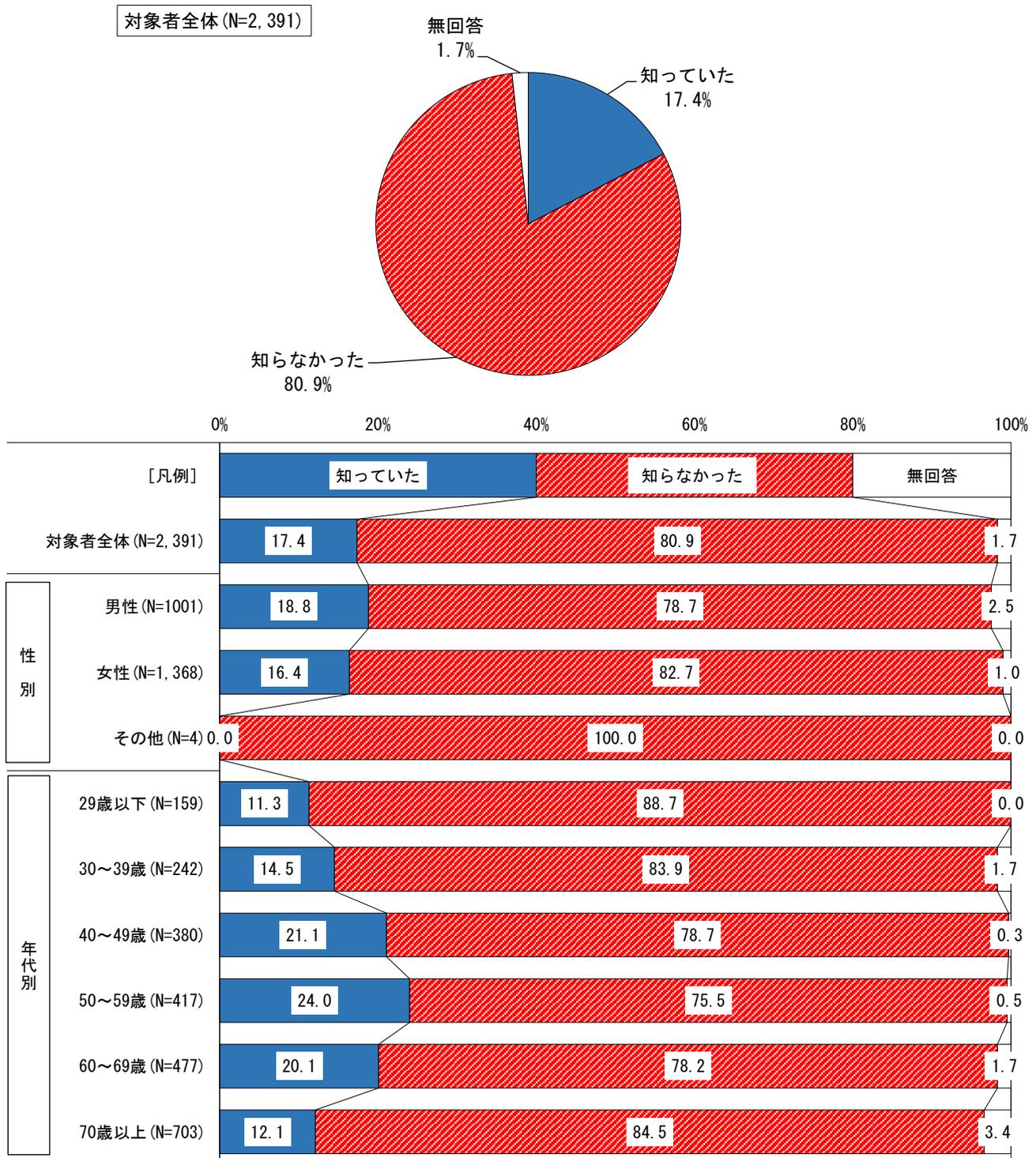
	市の施策・事業	よくやっていると思うもの(%)	力をいれてほしいと思うもの(%)	今後の方向性
A群	3 産業や経済の振興、雇用の推進に関する事	20.5	61.4	A群
	8 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関する事	31.0	67.3	
	9 交通安全対策に関する事	32.3	60.0	
	11 除雪に関する事	28.7	82.3	
	18 母子及び父子・児童福祉に関する事	24.3	53.1	
	19 高齢者福祉に関する事	29.9	60.7	
B群	20 障がい者福祉に関する事	25.4	54.5	B群
	5 環境保全(公害)に関する事	31.7	47.1	
	6 河川・湖沼などの整備に関する事	32.6	40.3	
	13 子どもの教育に関する事業	25.6	51.0	
	14 生涯学習などに関する事業	19.9	36.1	
	16 スポーツ・レクリエーションの事業	32.7	32.8	
C群	21 国際化推進に関する事	19.5	30.2	C群
	22 市民への情報提供や相談に関する事業	17.4	49.1	
	1 住宅・まちづくりに関する事	41.9	53.1	
	2 公共交通の便利さを進める事業	45.6	62.9	
	4 ごみや資源回収の事	75.4	53.4	
	7 地震・火災・水害などの防災対策	33.8	63.3	
D群	10 道路の整備・維持管理に関する事	36.1	64.2	D群
	17 健康づくり、医療、衛生の事業	37.2	57.3	
	12 公園や緑地など「みどり」の事業	46.1	46.8	
	15 文化芸術の振興に関する事業	38.1	37.9	

(3) 映像の力を使ったまちづくりについて

◇フィルムコミッションの認知度

問4 あなたは、フィルムコミッションの言葉の意味を知っていましたか。

フィルムコミッションの言葉の意味を「知っていた」人が17.4%



【全 体】フィルムコミッションの認知度は、「知っていた」が17.4%、「知らなかった」が80.9%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

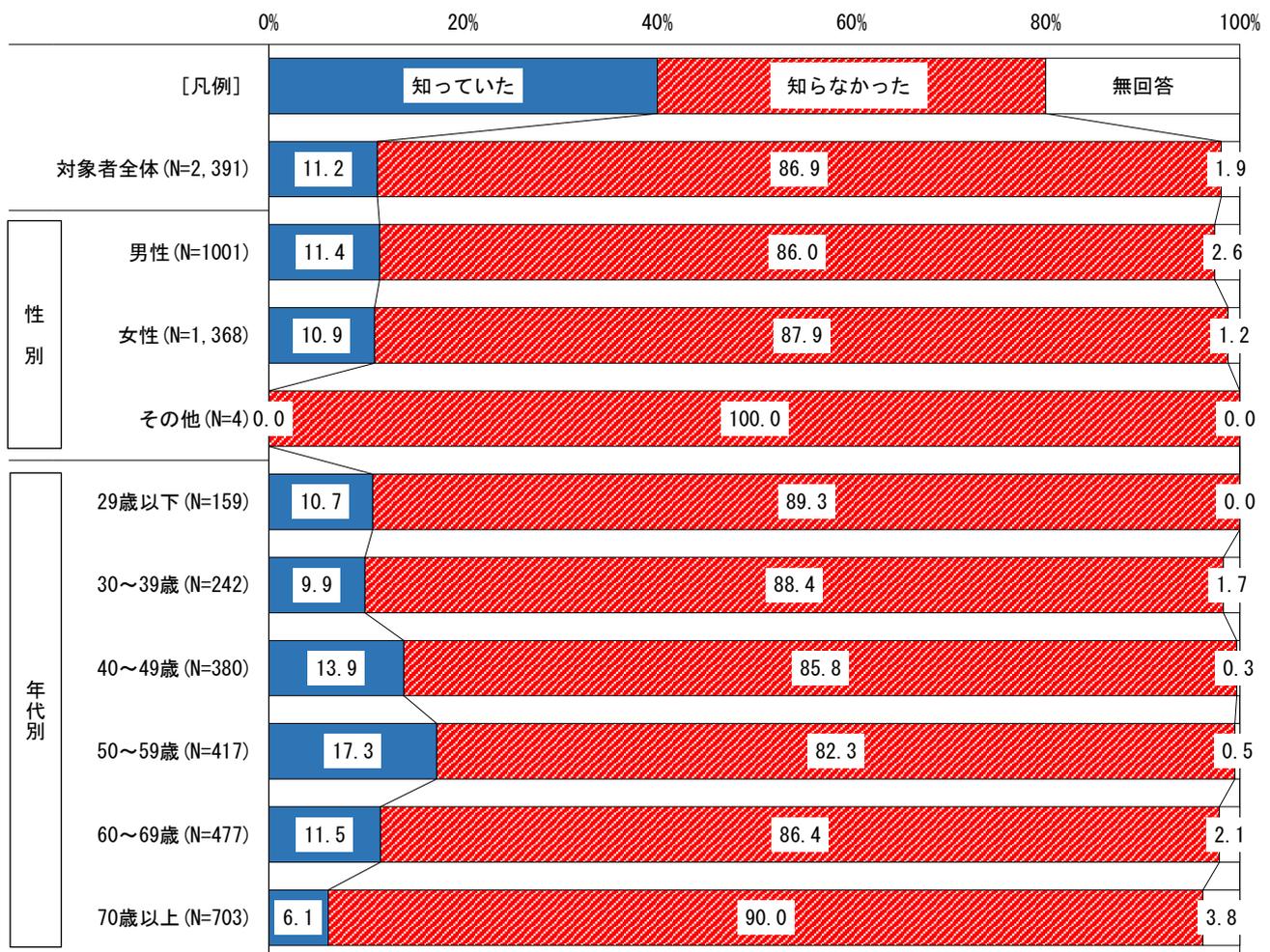
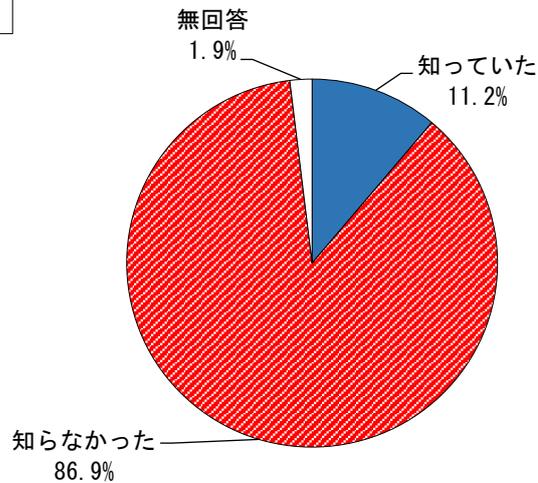
【年代別】「知っていた」が50歳代(24.0%)で最も高く、最も低い29歳以下(11.3%)と比べると12.7ポイントの差となっている。

◇フィルムコミッションの取り組みを支援していることの認知度

問5 あなたは、札幌市がフィルムコミッションの取り組みを支援していることを知っていましたか。

札幌市がフィルムコミッションの取り組みを支援していることを「知っていた」人は11.2%

対象者全体 (N=2,391)



【全 体】 フィルムコミッションの取り組み支援の認知度は、「知っていた」が11.2%、「知らなかった」が86.9%となっている。

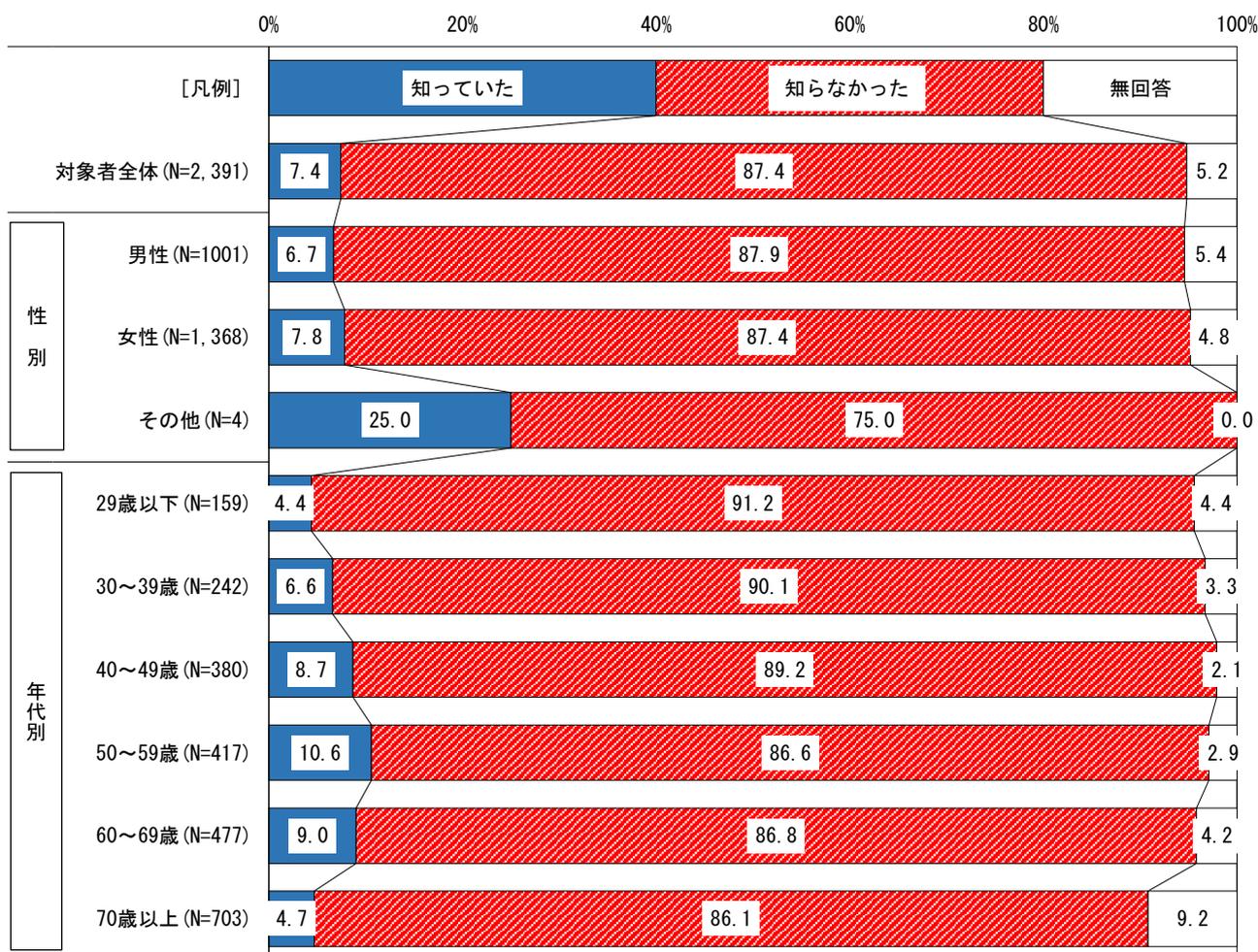
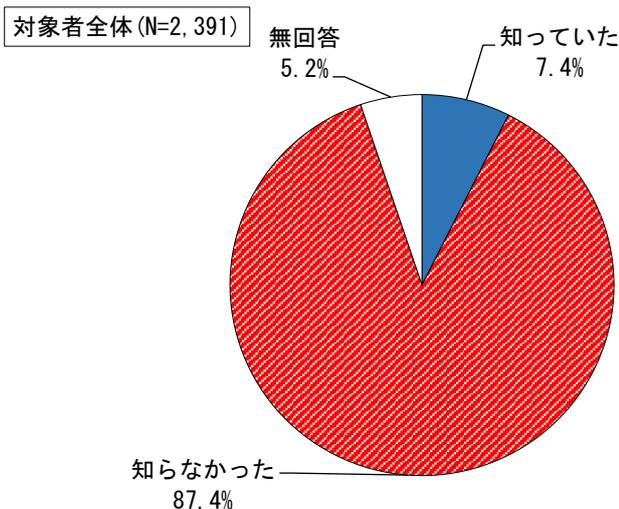
【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「知っていた」が50歳代(17.3%)で最も高く、次いで40歳代(13.9%)、60歳代(11.5%)となっている。

◇札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度の認知度

問6 あなたは、札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度を知っていましたか。

札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度を「知っていた」人は7.4%



【全体】札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度の認知度は、「知っていた」が7.4%、「知らなかった」が87.4%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

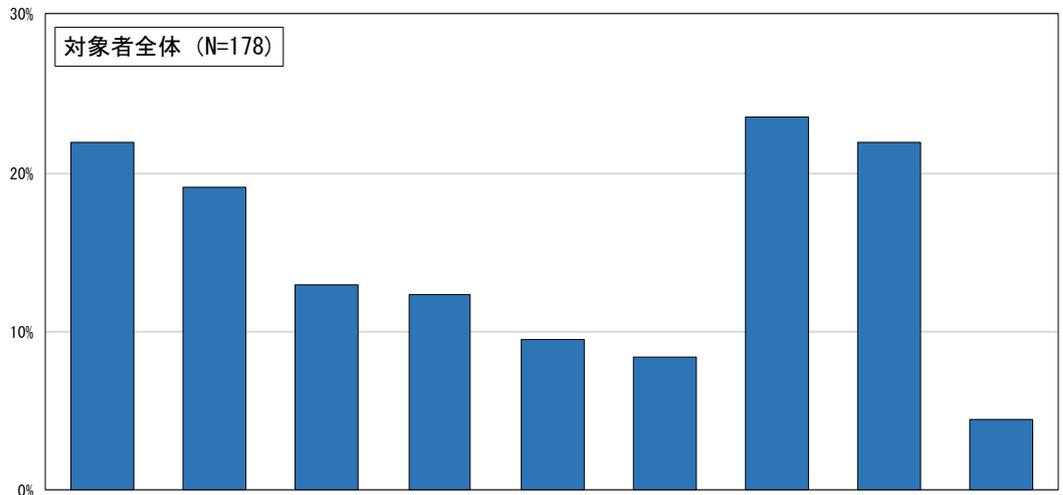
【年代別】「知っていた」が50歳代(10.6%)で最も高く、次いで60歳代(9.0%)、40歳代(8.7%)となっている。

◇札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度を知った場所や方法

《問6で「1 知っていた」と答えた方にお聞きします。》

問6-1 あなたが札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度を知った場所や方法について、次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度を「街頭に掲示されているポスター」で知った人が21.9%



対象者数		ポスター	札幌市公式ホームページ	映画やドラマなどのエンドクレジット	上映会などのイベント会場	札幌フィルムコミッションホームページ	札幌フィルムコミッション公式SNS	その他	覚えていない	無回答	
(%)											
対象者全体		178	21.9	19.1	12.9	12.4	9.6	8.4	23.6	21.9	4.5
性別	男性	67	23.9	19.4	11.9	11.9	10.4	9.0	23.9	22.4	4.5
	女性	107	20.6	18.7	13.1	12.1	8.4	6.5	23.4	22.4	3.7
	その他	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
年代別	29歳以下	7	28.6	14.3	14.3	-	-	14.3	42.9	28.6	-
	30～39歳	16	31.3	18.8	12.5	12.5	12.5	18.8	12.5	18.8	-
	40～49歳	33	12.1	18.2	18.2	-	6.1	9.1	24.2	27.3	3.0
	50～59歳	44	20.5	11.4	13.6	9.1	11.4	2.3	31.8	27.3	2.3
	60～69歳	43	16.3	23.3	9.3	11.6	11.6	11.6	20.9	25.6	4.7
	70歳以上	33	33.3	24.2	9.1	30.3	6.1	-	18.2	6.1	12.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌フィルムコミッションのボランティアエキストラ制度を知った場所や方法は、「街頭に掲示されているポスター」が21.9%、「札幌市公式ホームページ」が19.1%、「映画やドラマなどのエンドクレジット」が12.9%となっている。

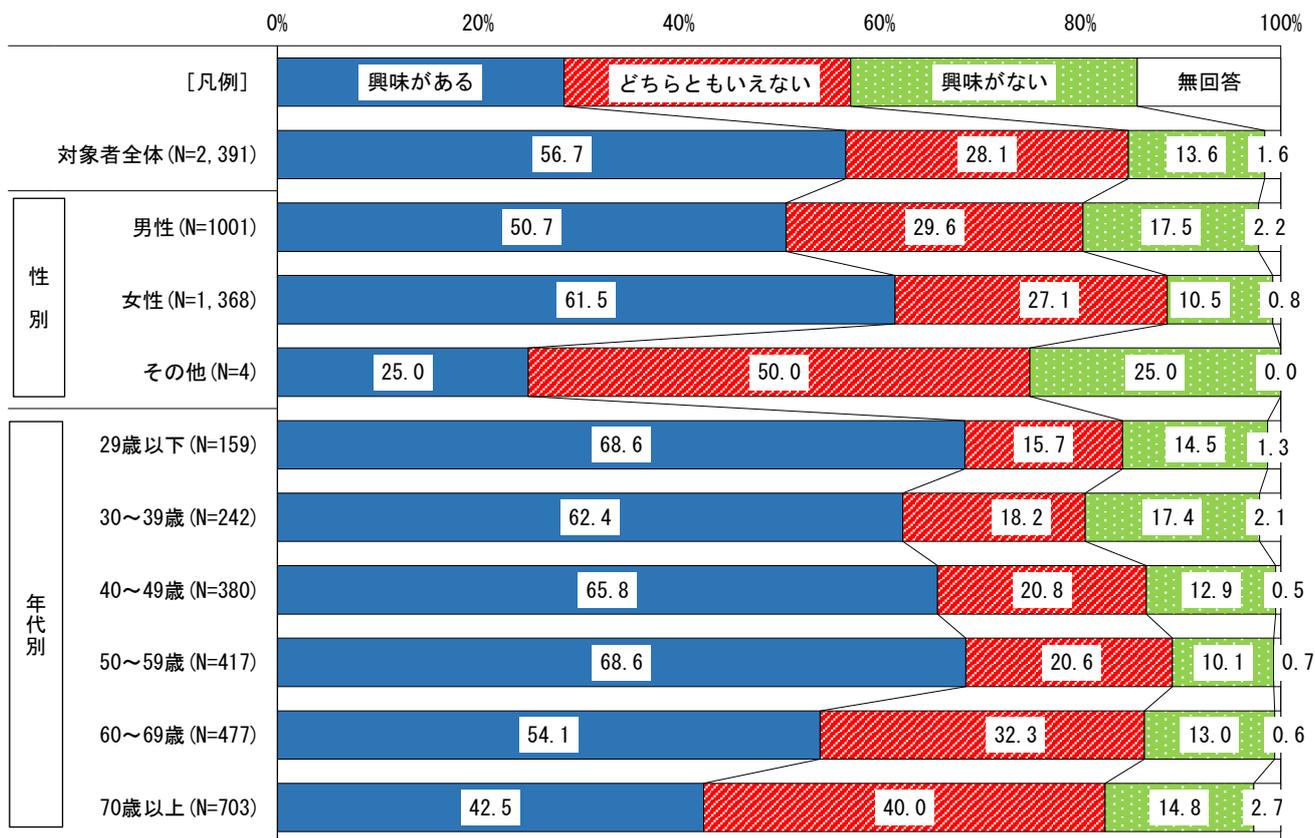
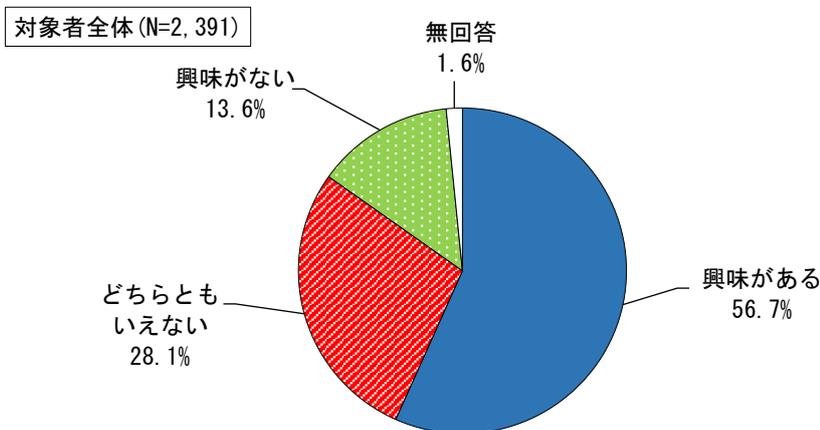
◇撮影を見かけたときの興味の有無

《皆さまにお聞きます。》

問7 あなたは、市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら、どのように思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。

(1) 撮影に興味がありますか。

映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら「興味がある」人は56.7%



【全体】撮影を見かけたときの興味の有無は、「興味がある」が56.7%、「興味がない」が13.6%となっている。

【性別】「興味がある」は女性が61.5%と、男性の50.7%より10.8ポイント高くなっている。また、「興味がない」は男性が17.5%と、女性の10.5%より7.0ポイント高くなっている。

【年代別】「興味がある」が29歳以下、50歳代(68.6%)で最も高く、最も低い70歳以上(42.5%)と比べると26.1ポイントの差となっている。

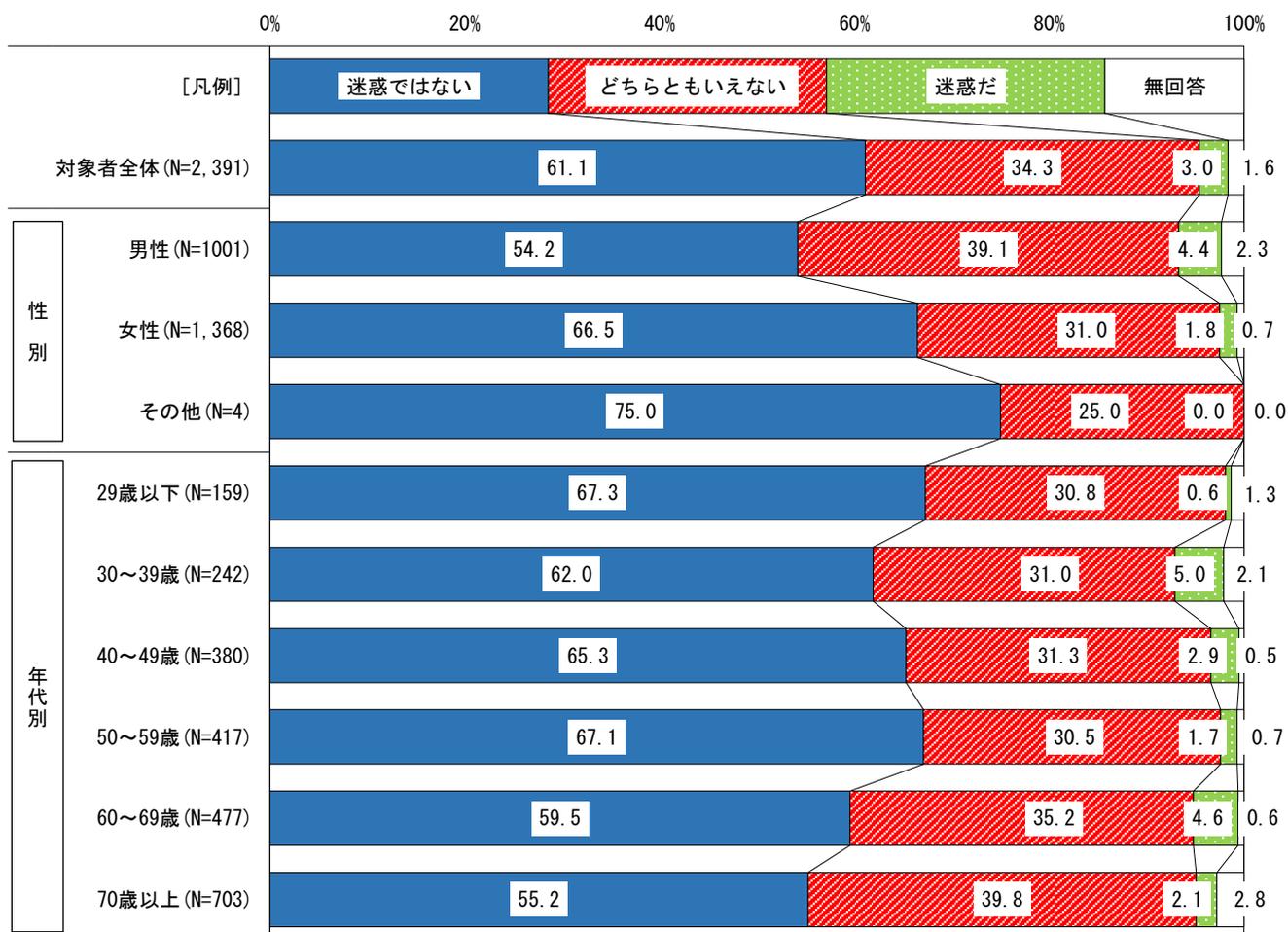
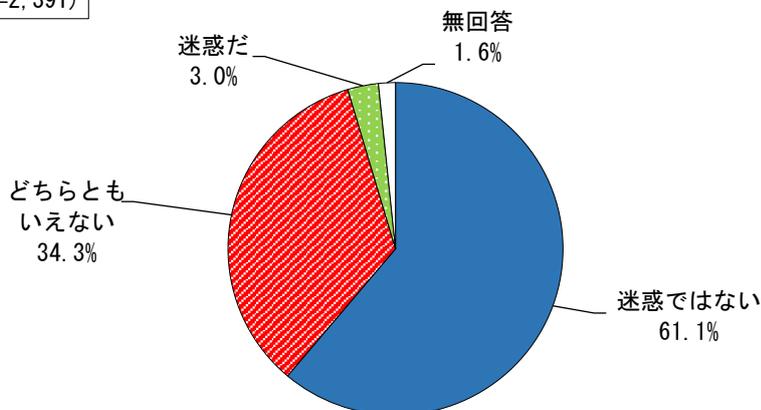
◇撮影を見かけたときに迷惑と感ずるか否か

問7 あなたは、市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら、どのように思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。

(2) 撮影を迷惑だと感ずますか。

映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら「迷惑ではない」と感ずる人は61.1%

対象者全体 (N=2,391)



【全体】撮影を見かけたときに迷惑と感ずるか否かは、「迷惑ではない」が61.1%、「迷惑だ」が3.0%となっている。

【性別】「迷惑ではない」は女性が66.5%と、男性の54.2%より12.3ポイント高くなっている。

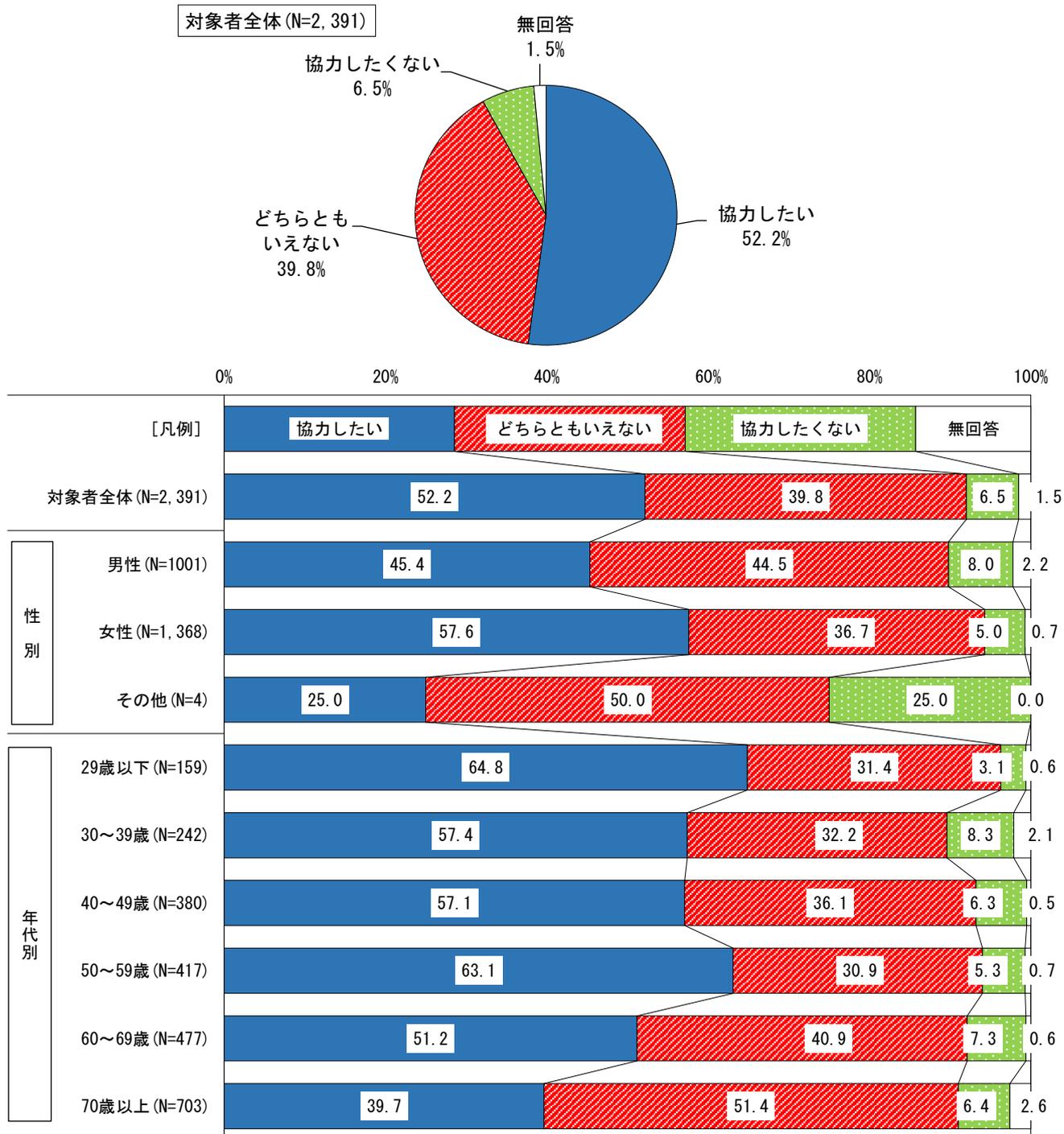
【年代別】「迷惑ではない」が29歳以下(67.3%)で最も高く、次いで50歳代(67.1%)、40歳代(65.3%)となっている。

◇撮影を見かけたときに積極的に協力したいと思うか否か

問7 あなたは、市内で行われる映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら、どのように思いますか。それぞれの項目について、あてはまるものに○をつけてください。

(3) 撮影がスムーズに進むよう積極的に協力したいと思いますか(通行規制への協力、撮影の妨げとなる音を出さない、ボランティアエキストラとして参加するなど)。

映画やテレビ番組などの撮影を見かけたら「協力したい」と思う人は52.2%



【全体】撮影を見かけた時に積極的に協力したいと思うか否かは、「協力したい」が52.2%、「協力したくない」が6.5%となっている。

【性別】「協力したい」は女性が57.6%と、男性の45.4%より12.2ポイント高くなっている。

【年代別】「協力したい」が29歳以下(64.8%)で最も高く、最も低い70歳以上(39.7%)と比べると25.1ポイントの差となっている。

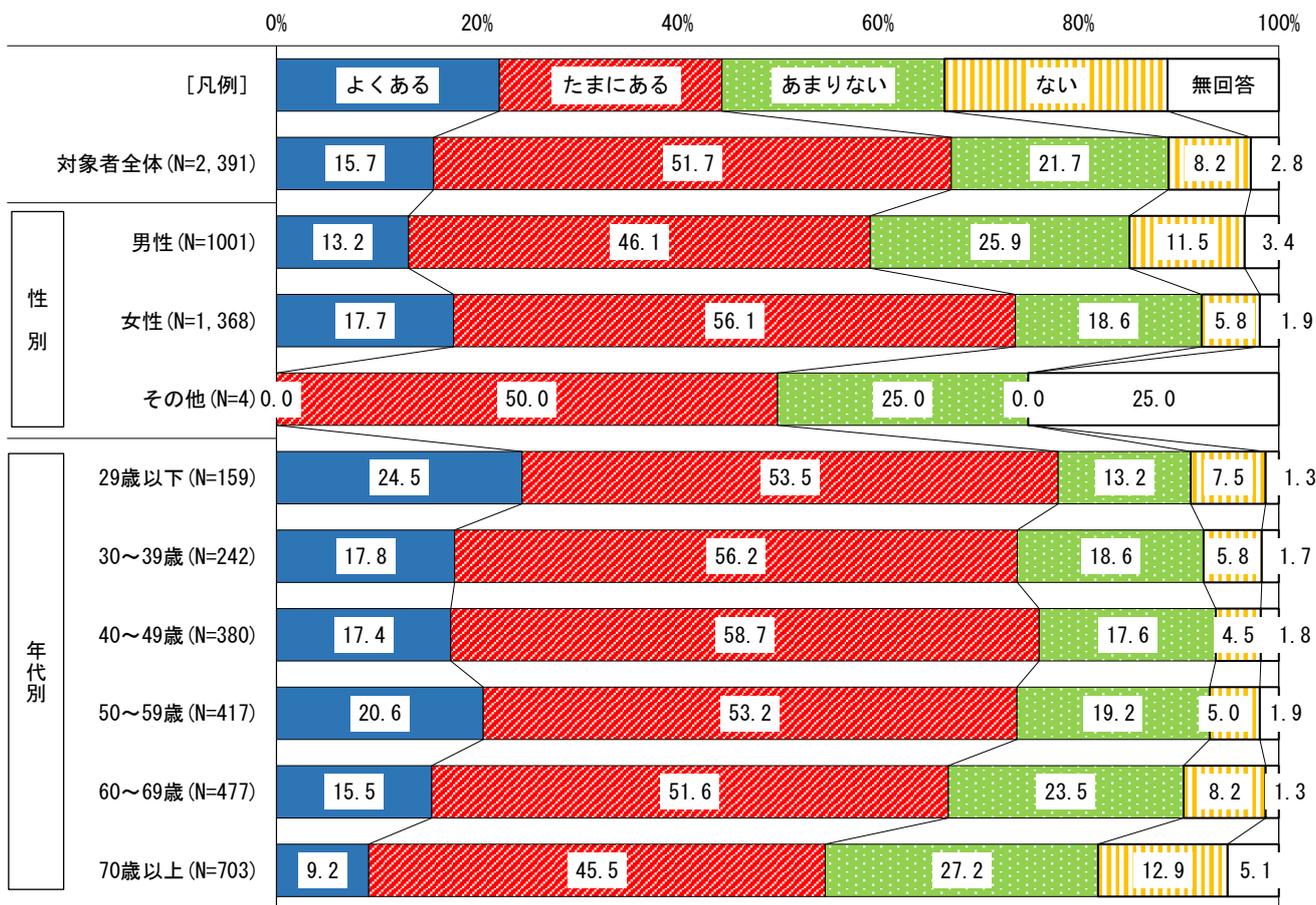
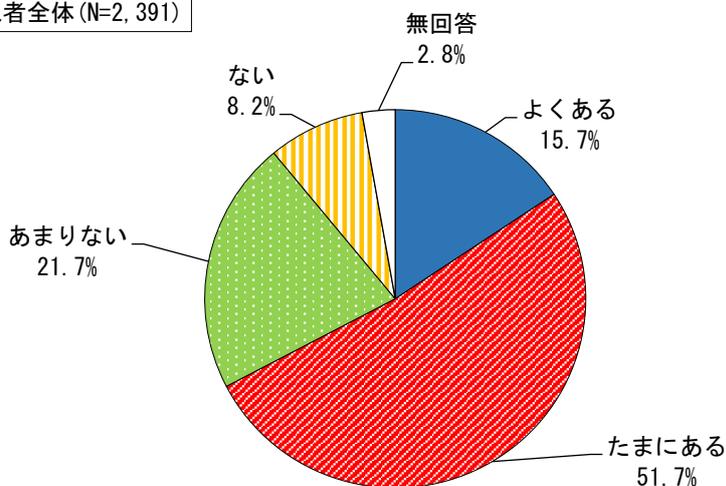
◇映像を見たことを理由に商品やサービスを選ぶことがあるか否か

問8 あなたは、商品やサービスを、映画やテレビ番組などで見たことを理由に選ぶことがありますか。

映像を見たことを理由に商品やサービスを選んだことが「ある」人は67.3%

※“ある”(「よくある」+「たまにある」)

対象者全体(N=2,391)



【全体】映像を見たことを理由に商品やサービスを選んだことがあるか否かは、「よくある」が15.7%、「たまにある」が51.7%、合わせると67.3%となっている。一方、「あまりない」が21.7%、「ない」が8.2%、合わせると29.9%となっている。

【性別】“ある”は女性で73.8%と、男性の59.2%より14.6ポイント高くなっている。

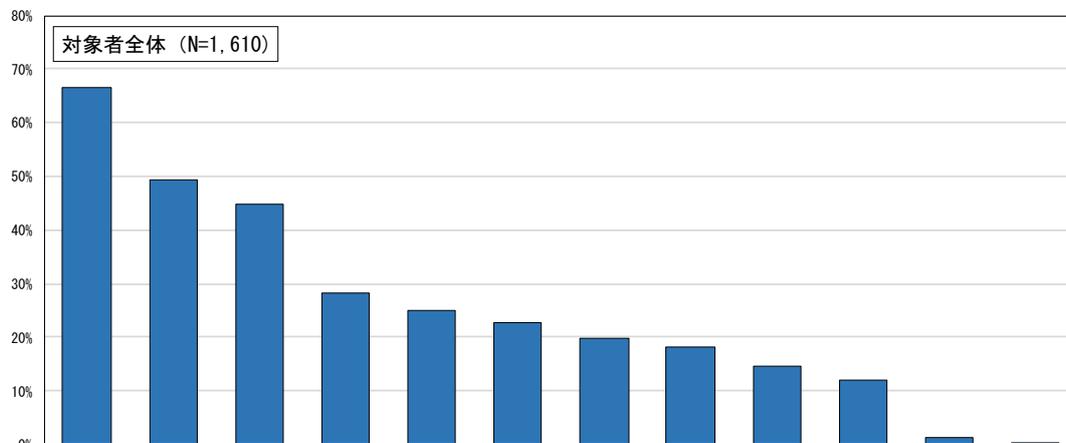
【年代別】“ある”が29歳以下(78.0%)で最も高く、最も低い70歳以上(54.8%)と比べると23.2ポイントの差となっている。

◇選んだ商品やサービスを見かけた媒体

《問8で「1 よくある」または「2 たまにある」と答えた方にお聞きします。》

問8-1 あなたが選んだ商品やサービスはどのような媒体で見かけましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

選んだ商品やサービスを見かけた媒体は、「テレビコマーシャル」と回答した人が66.5%



	対象者数	テレビコマーシャル	テレビ報道	テレビバラエティ	インターネット上の広告	SNS (広告を除く)	テレビショッピング	テレビドラマ	動画投稿サイト (広告を除く)	映画	テレビドキュメンタリー	その他	無回答	
(%)														
対象者全体	1,610	66.5	49.3	44.7	28.3	25.2	22.9	19.8	18.3	14.5	12.0	1.2	0.3	
性別	男性	593	66.4	49.7	39.1	30.0	21.9	23.1	18.0	18.5	13.0	12.1	1.9	0.2
	女性	1,009	66.6	48.9	48.0	27.3	27.1	22.7	20.7	18.3	15.4	11.8	0.7	0.4
	その他	2	50.0	50.0	50.0	100.0	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
年代別	29歳以下	124	48.4	39.5	53.2	29.8	68.5	4.8	21.0	45.2	25.8	4.0	2.4	-
	30~39歳	179	53.6	40.8	55.9	39.7	57.5	7.3	18.4	37.4	20.7	7.3	2.2	-
	40~49歳	289	61.6	42.6	57.1	30.1	40.5	12.8	24.2	25.3	18.7	8.0	2.1	-
	50~59歳	308	67.9	52.3	61.4	35.7	20.8	16.9	23.7	17.9	17.5	13.0	1.6	-
	60~69歳	320	77.2	53.1	40.0	28.1	8.8	30.9	17.5	10.3	10.6	14.7	-	-
	70歳以上	385	71.9	55.3	17.9	15.8	2.1	41.8	15.1	2.9	5.5	16.6	0.3	1.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】選んだ商品やサービスを見かけた媒体は、「テレビコマーシャル」が66.5%、「テレビ報道」が49.3%、「テレビバラエティ」が44.7%となっている。

【性別】「テレビバラエティ」、「SNS (広告を除く)」は、女性が男性より5.2ポイント以上高くなっている。

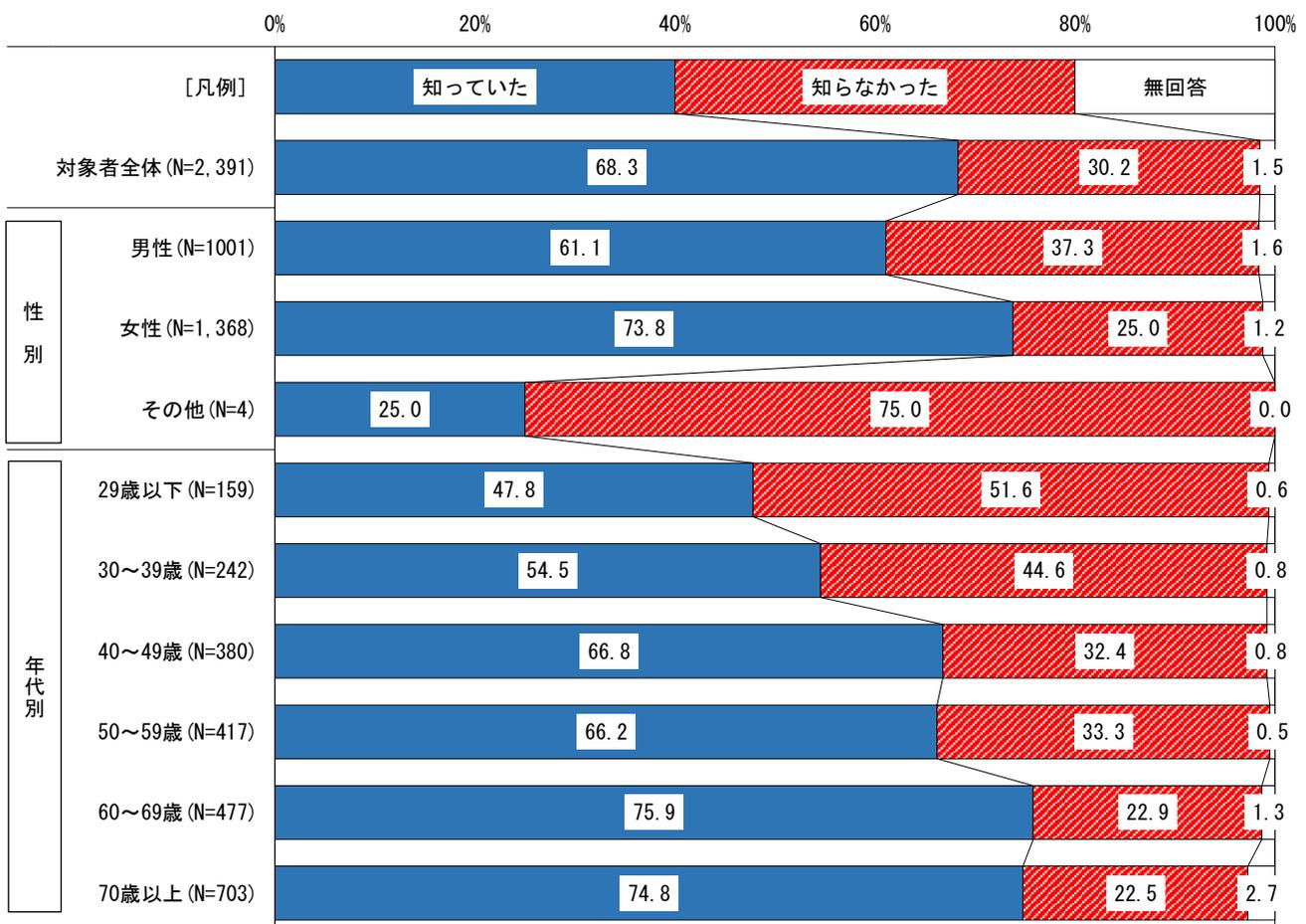
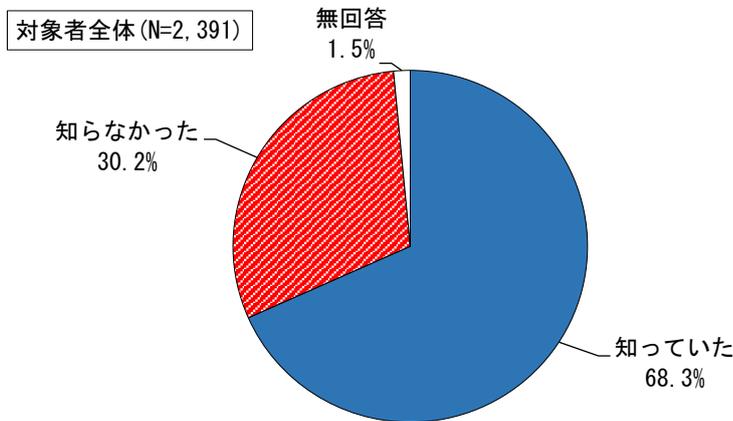
【年代別】39歳以下では「SNS (広告を除く)」が、40歳以上では「テレビコマーシャル」が最も高くなっている。

(4) 災害への備えや災害情報の入手方法について

◇災害に備えて求められている備蓄量の認知度

問9 あなたは、災害に備えて最低3日間自宅で生活できるだけの備蓄が求められていることを知っていましたか。

災害に備えて最低3日間自宅で生活できるだけの備蓄が求められていることを「知っていた」人は68.3%



【全体】災害に備えて最低3日間自宅で生活できるだけの備蓄が求められていることの認知度は、「知っていた」が68.3%、「知らなかった」が30.2%となっている。

【性別】「知っていた」は女性が73.8%と、男性の61.1%より12.7ポイント以上高くなっている。

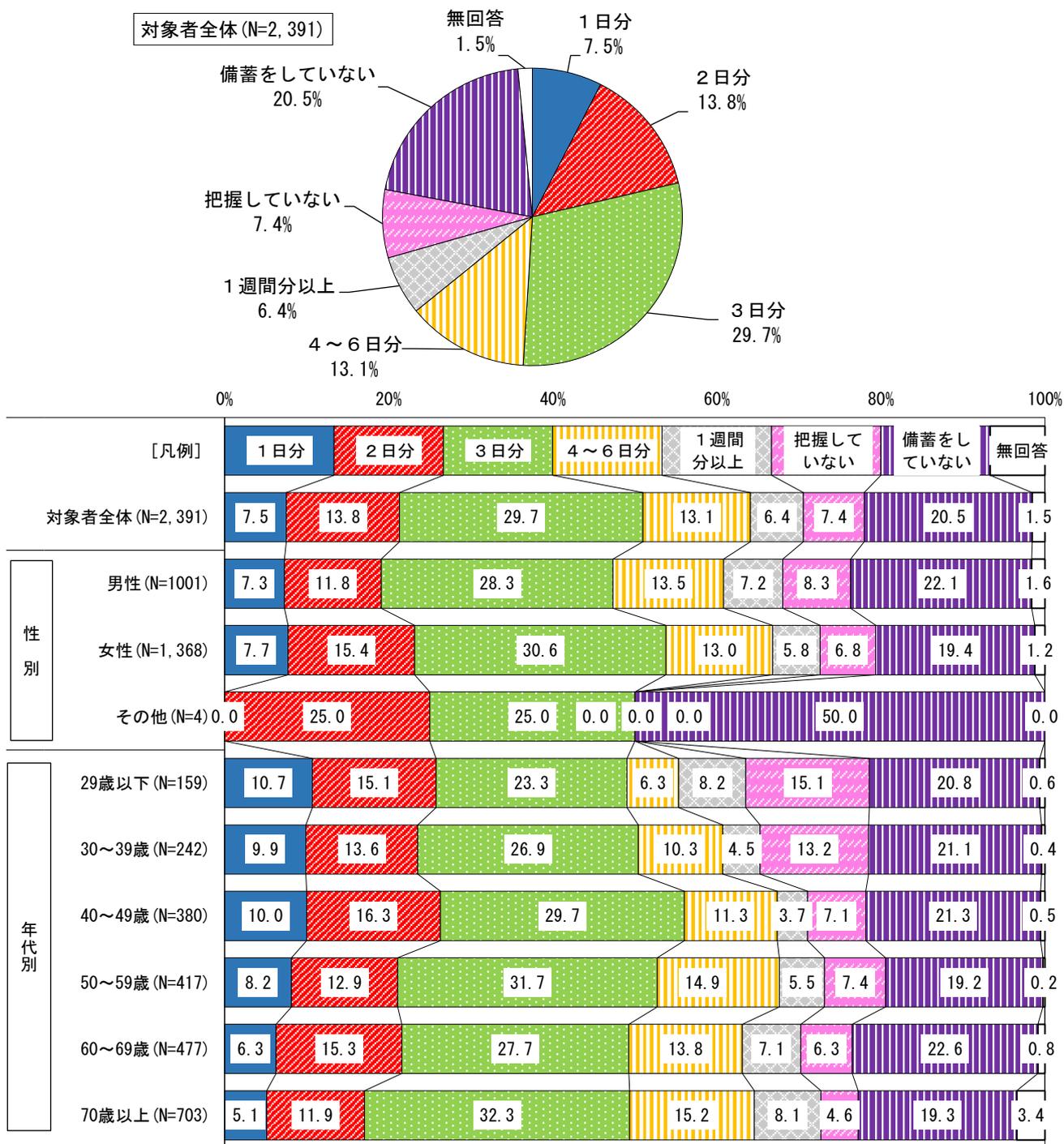
【年代別】「知っていた」が60歳代(75.9%)で最も高く、次いで70歳以上(74.8%)、40歳代(66.8%)となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品の量

問10 あなたは、災害に備えてどの程度の期間自宅で生活できるだけの食料や水、携帯トイレ等の備蓄品を用意していますか。

災害に備えて用意している備蓄品の量は「3日分以上」と答えた人が49.2%

※「3日分以上」(「3日分」+「4～6日分」+「1週間分以上」)



【全体】 災害に備えて用意している備蓄品の量は、「3日分」が29.7%、「4～6日分」が13.1%、「一週間分以上」が6.4%、合わせると49.2%となっている。また、「1日分」が7.5%、「2日分」が13.8%、「備蓄をしていない」が20.5%となっている。

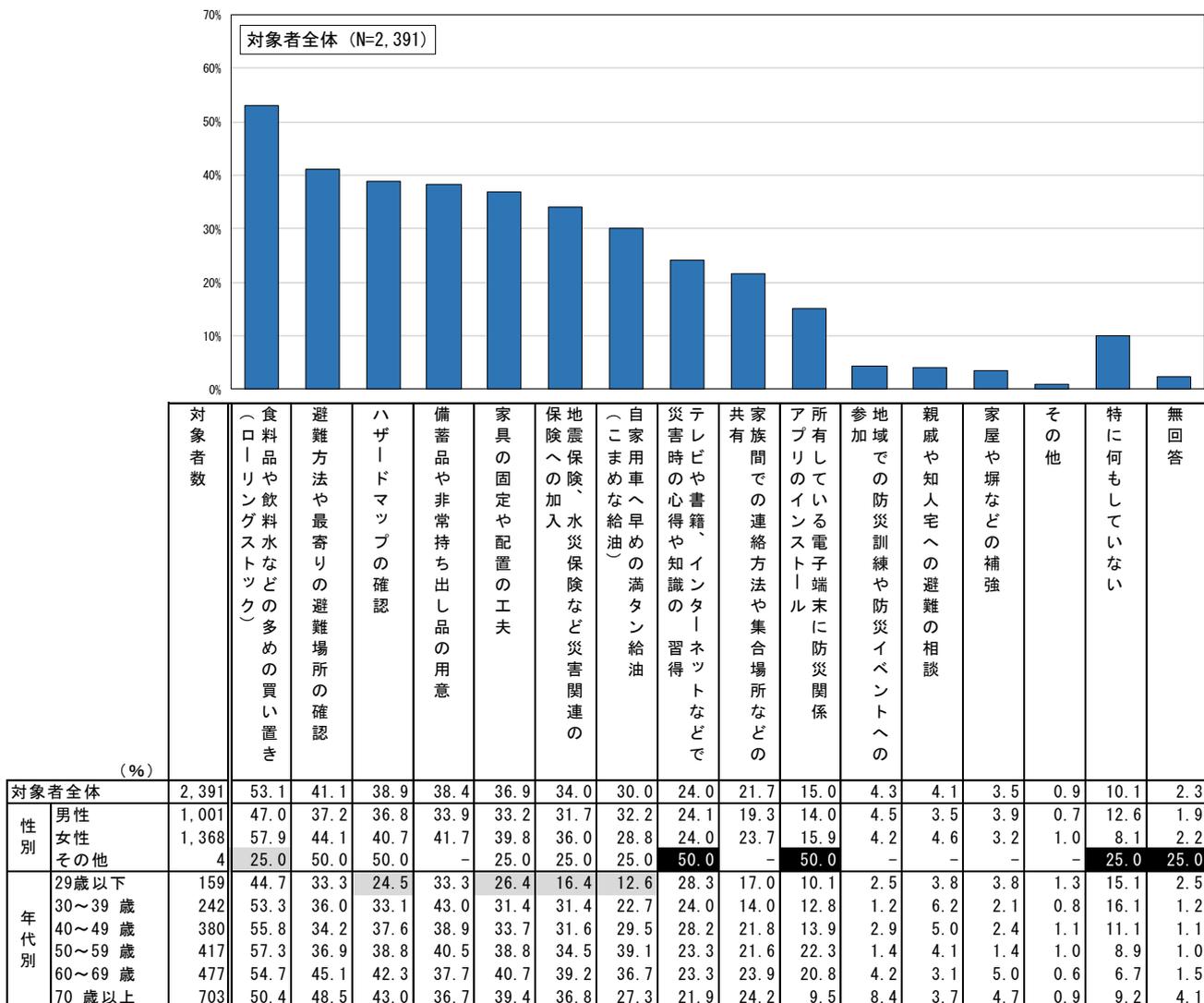
【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「3日分以上」が70歳以上(55.6%)で最も高く、次いで50歳代(52.1%)、60歳代(48.6%)となっている。

◇地震や風水害などの災害に備えて行っている対策

問 1 1 あなたの家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

地震や風水害などの災害に備えて行っている対策は「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」と回答した人が53.1%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】地震や風水害などの災害に備えて行っている対策は、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」が53.1%、「避難方法や最寄りの避難場所の確認」が41.1%、「ハザードマップの確認」が38.9%となっている。

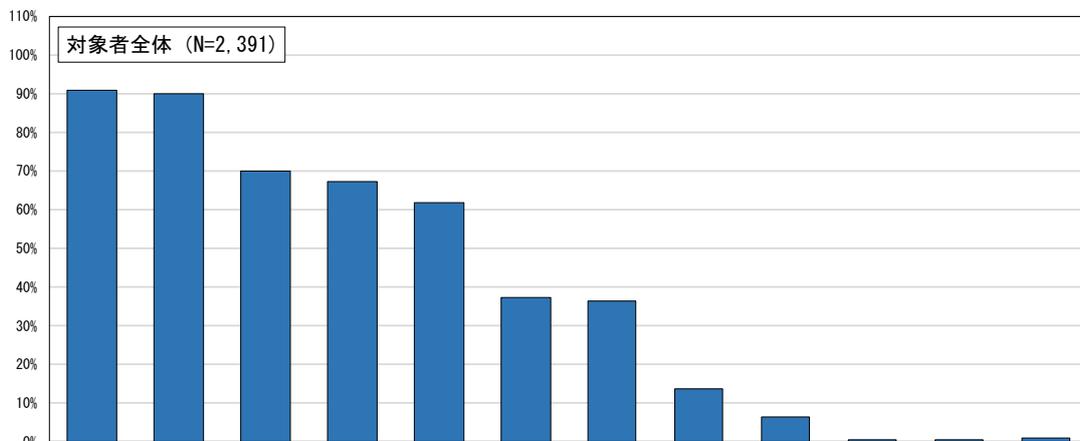
【性別】「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」、「避難方法や最寄りの避難場所の確認」、「備蓄品や非常持ち出し品の用意」、「家具の固定や配置の工夫」は、女性が男性より6.6ポイント以上高くなっている。

【年代別】「ハザードマップの確認」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇自身の世帯で保有している機器

問12 あなたの世帯で、保有している機器は何ですか。次のうちから、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

自身の世帯で保有している機器は「テレビ」と回答した人が90.8%



		対象者数	テレビ	携帯電話 (スマートフォン)	ラジオ	固定電話	パソコン	FAX (ファックス)	タブレット型端末 (iPad、Galaxy Tabなど)	携帯電話 (ガラケー)	ウェアラブル端末 (スマートウォッチ・メガネ型端末など)	その他	保有していない	無回答
		(%)												
対象者全体		2,391	90.8	89.7	69.8	67.3	61.9	37.1	36.4	13.7	6.3	0.2	0.1	0.9
性別	男性	1,001	89.1	88.3	70.3	66.5	65.1	37.1	37.5	15.1	6.4	0.1	-	0.9
	女性	1,368	92.6	91.1	69.8	68.1	59.9	37.3	36.0	12.8	6.3	0.2	-	0.6
	その他	4	50.0	100.0	50.0	50.0	75.0	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-
年代別	29歳以下	159	83.6	98.1	39.6	42.1	73.0	23.9	41.5	4.4	10.1	-	-	0.6
	30~39歳	242	84.7	98.8	46.7	24.8	74.8	10.3	48.8	3.3	9.9	-	-	0.4
	40~49歳	380	89.7	97.6	57.9	51.1	72.1	25.3	48.7	7.1	11.1	-	-	0.5
	50~59歳	417	92.8	94.7	75.1	73.4	71.2	41.0	43.4	12.2	9.6	0.5	-	0.2
	60~69歳	477	94.1	92.9	81.8	80.1	64.4	48.4	36.1	11.9	3.8	0.4	-	0.8
	70歳以上	703	92.2	75.8	80.2	84.6	42.7	46.1	20.9	25.2	1.6	-	-	1.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】自身の世帯で保有している機器は、「テレビ」が90.8%、「携帯電話 (スマートフォン)」が89.7%、「ラジオ」が69.8%となっている。

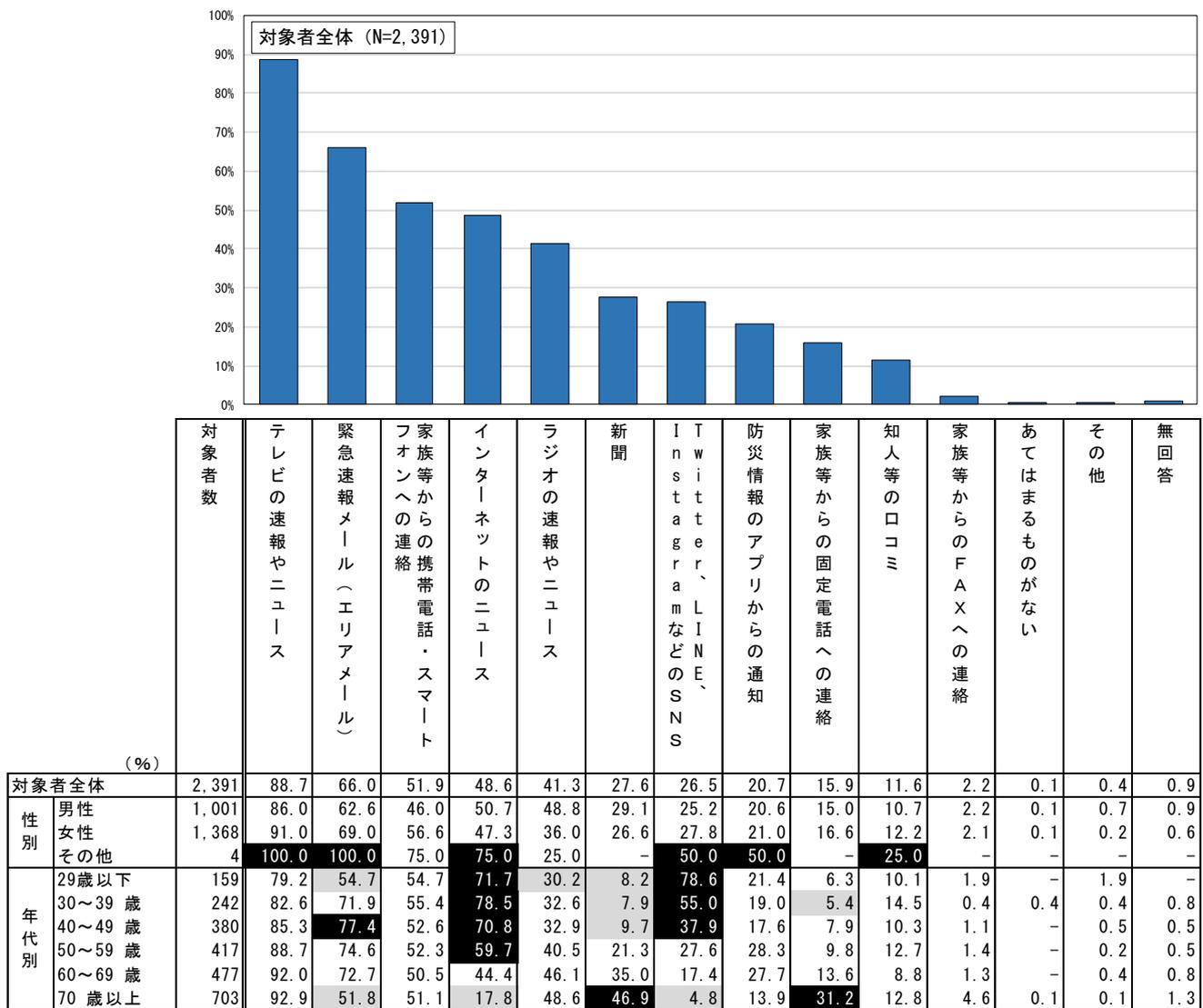
【性別】「パソコン」は男性が65.1%と、女性の59.9%より5.2ポイント高くなっている。

【年代別】59歳以下では「携帯電話 (スマートフォン)」が、60歳以上では「テレビ」が最も高くなっている。

◇災害情報の入手方法

問13 あなたは、地震や風水害などの災害が発生又は発生のおそれがある場合、どのような手段で災害情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

地震や風水害などの災害情報の入手方法は「テレビの速報やニュース」と回答した人が88.7%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】災害情報の入手方法は、「テレビの速報やニュース」が88.7%、「緊急速報メール（エリアメール）」が66.0%、「家族等からの携帯電話・スマートフォンへの連絡」が51.9%となっている。

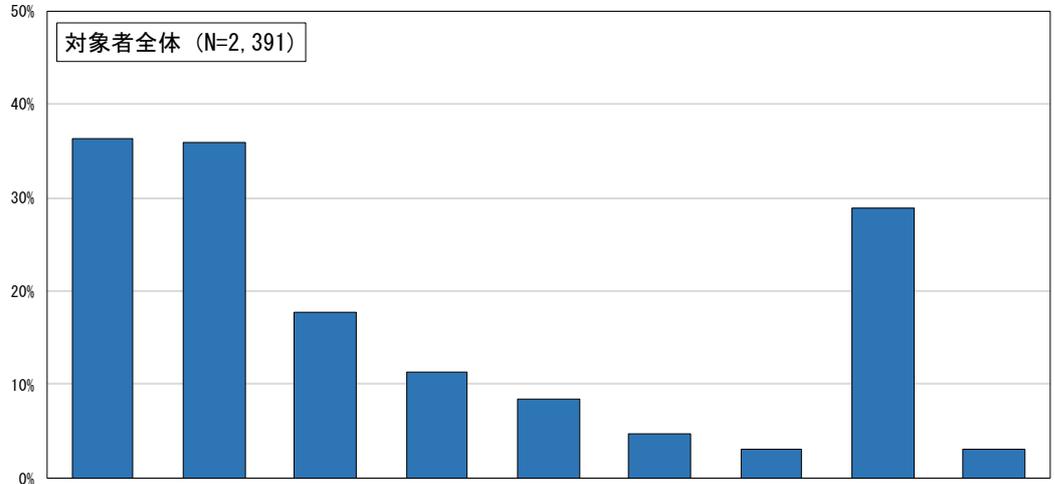
【性別】「ラジオの速報やニュース」は男性が48.8%と、女性の36.0%より12.8ポイント高くなっている。また、「テレビの速報やニュース」、「緊急速報メール（エリアメール）」、「家族等からの携帯電話・スマートフォンへの連絡」は、女性が男性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「テレビの速報やニュース」、「ラジオの速報やニュース」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌市が提供する災害時の情報伝達手段として知っているもの

問14 あなたが、札幌市が提供する災害時の情報伝達手段として知っているものをいくつでも○をつけてください。

札幌市が提供する災害時の情報伝達手段として知っているものは、「札幌テレビ放送（STV）にて発信するデータ放送（札幌市からのお知らせ）」と回答した人が36.3%



対象者数		(%)	札幌テレビ放送（STV）にて発信するデータ放送（札幌市からのお知らせ）	札幌市公式ホームページ	札幌市防災アプリ（そなえ）	札幌市公式LINE	札幌市公式Twitter	さっぽろ防災ポータル	札幌市避難情報等電話サービス	知っているものはない	無回答
対象者全体		2,391	36.3	35.9	17.7	11.4	8.5	4.8	3.0	28.8	3.1
性別	男性	1,001	35.3	37.7	17.5	8.5	8.3	6.5	2.0	31.3	3.2
	女性	1,368	37.1	34.9	18.1	13.7	8.7	3.6	3.6	27.1	2.8
	その他	4	25.0	50.0	-	-	25.0	-	-	25.0	-
年代別	29歳以下	159	34.6	31.4	9.4	9.4	22.0	3.1	1.3	34.6	1.9
	30～39歳	242	25.6	31.4	9.5	9.9	19.0	5.4	1.7	35.1	2.1
	40～49歳	380	26.8	46.3	12.9	15.3	12.1	6.3	1.6	31.6	1.6
	50～59歳	417	29.0	45.6	15.8	16.8	11.5	5.0	0.5	28.3	1.2
	60～69歳	477	37.9	40.7	22.2	12.8	3.6	5.2	2.1	27.9	1.9
	70歳以上	703	48.8	24.3	23.0	6.3	1.6	3.7	6.5	24.8	6.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌市が提供する災害時の情報伝達手段として知っているものは、「札幌テレビ放送（STV）にて発信するデータ放送（札幌市からのお知らせ）」が36.3%、「札幌市公式ホームページ」が35.9%、「札幌市防災アプリ（そなえ）」が17.7%となっている。

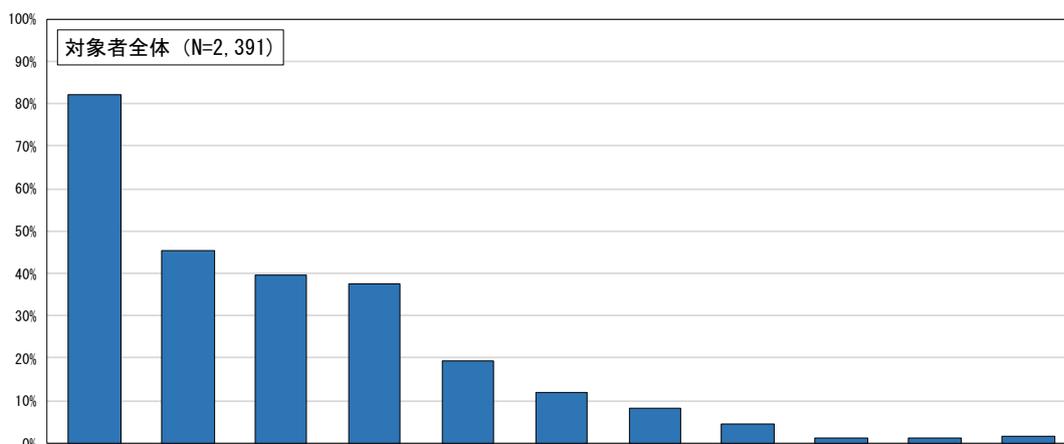
【性別】「札幌市公式LINE」は女性が13.7%と、男性の8.5%より5.2ポイント高くなっている。

【年代別】「札幌テレビ放送（STV）にて発信するデータ放送（札幌市からのお知らせ）」が70歳以上（48.8%）で最も高く、最も低い30歳代（25.6%）と比べると23.2ポイントの差となっている。

◇避難所開設情報の入手方法

問15 あなたは、災害により自宅等から避難しなければならなくなった場合、どのような手段で避難所開設情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

避難所開設情報の入手方法は「テレビの報道・ニュース」が82.1%



対象者数		テレビの報道・ニュース	ラジオの報道・ニュース	札幌市公式ホームページ	家族・知人等からの連絡や口コミ	札幌市公式Twitter、LINEなどのSNS	札幌市防災アプリ(そなえ)	札幌市(区役所やコールセンター)に電話	さっぽろ防災ポータル	その他	あてはまるものがない	無回答	
		(%)											
対象者全体		2,391	82.1	45.2	39.4	37.5	19.2	11.9	8.2	4.3	1.3	1.1	1.4
性別	男性	1,001	80.4	50.0	39.7	31.1	15.2	12.4	10.4	5.4	1.0	1.4	1.1
	女性	1,368	83.8	42.0	39.5	42.3	22.4	11.6	6.7	3.7	1.6	0.9	1.1
	その他	4	50.0	25.0	50.0	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	159	69.8	27.7	42.1	39.0	42.8	4.4	2.5	1.9	1.9	0.6	0.6
	30~39歳	242	74.8	34.7	50.0	38.0	36.8	9.5	3.7	4.5	0.8	2.1	-
	40~49歳	380	77.6	36.8	54.7	32.6	29.5	8.9	5.5	5.5	1.3	1.3	0.8
	50~59歳	417	82.3	46.8	54.2	36.7	20.4	12.0	7.7	3.8	2.2	1.7	0.7
	60~69歳	477	85.3	52.2	36.9	35.8	14.5	15.5	7.8	5.5	0.2	0.6	1.3
	70歳以上	703	87.8	51.6	20.2	41.4	5.1	13.4	13.2	3.8	1.7	0.7	2.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】避難所開設情報の入手方法は、「テレビの報道・ニュース」が82.1%、「ラジオの報道・ニュース」が45.2%、「札幌市公式ホームページ」が39.4%となっている。

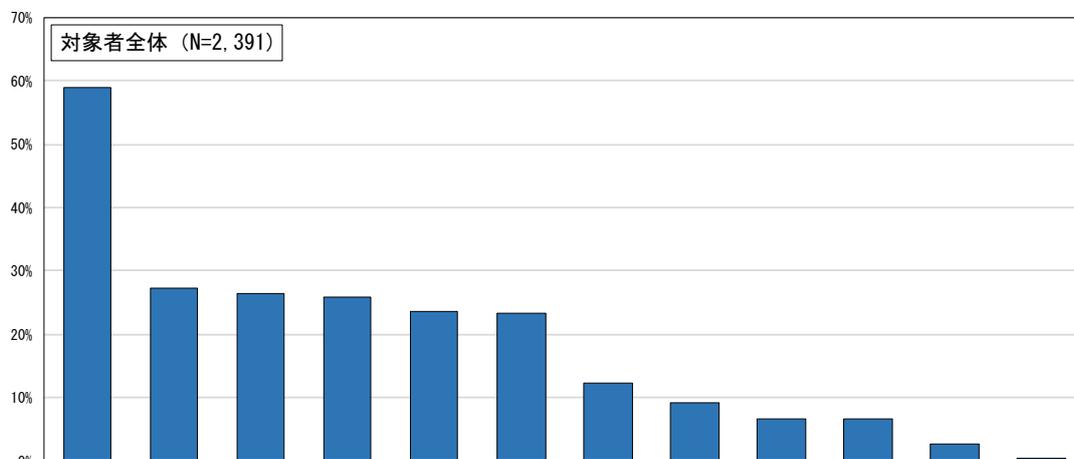
【性別】「ラジオの報道・ニュース」は男性が50.0%と、女性の42.0%より8.0ポイント高くなっている。また、「家族・知人等からの連絡や、口コミ」、「札幌市公式Twitter、LINEなどのSNS」は、女性が男性より7.2ポイント以上高くなっている。

【年代別】「テレビの報道・ニュース」、「札幌市(区役所やコールセンター)に電話」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「札幌市公式Twitter、LINEなどのSNS」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇災害情報や避難所開設情報の伝達手段として導入又は強化した方がいいと思うもの

問16 あなたが、札幌市からの災害情報や避難所開設情報の伝達手段として導入又は強化した方がいいと思うものについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

災害情報や避難所開設情報の伝達手段として導入又は強化した方がいいと思うものは、「テレビ・ラジオ」が58.8%



対象者数	テレビ・ラジオ	アプリ	SNS	電子メール	ホームページ	屋外拡声器	固定電話・FAX	防災行政無線等の戸別受信機	電子看板 (デジタルサイネージ)	特にない	無回答	その他
対象者全体 (N=2,391)	58.8	27.2	26.3	26.0	23.5	23.3	12.3	9.1	6.5	6.5	2.5	0.5
性別												
男性 (1,001)	56.3	25.8	25.8	26.9	23.4	22.4	12.1	9.7	8.1	7.3	2.1	0.7
女性 (1,368)	61.0	28.6	26.8	25.7	23.8	24.0	12.4	8.7	5.5	5.8	2.4	0.4
その他 (4)	25.0	-	75.0	-	50.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-
年代別												
29歳以下 (159)	39.0	31.4	56.6	17.0	22.6	22.6	2.5	6.9	10.1	10.1	0.6	0.6
30~39歳 (242)	45.0	44.2	48.3	16.5	33.1	21.9	1.7	7.4	12.8	8.3	-	0.4
40~49歳 (380)	40.3	33.9	38.2	20.5	33.2	21.6	1.8	6.3	8.7	10.0	2.4	1.3
50~59歳 (417)	54.4	34.8	31.2	28.8	31.9	23.0	3.8	8.9	7.0	6.0	1.2	0.5
60~69歳 (477)	65.8	27.0	18.4	37.3	24.5	23.9	10.3	8.6	5.9	5.5	1.9	0.2
70歳以上 (703)	76.1	12.7	8.1	25.3	9.8	24.8	30.2	12.4	2.7	4.0	4.7	0.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 災害情報や避難所開設情報の伝達手段として導入又は強化した方がいいと思うものは、「テレビ・ラジオ」が58.8%、「アプリ」が27.2%、「SNS」が26.3%となっている。

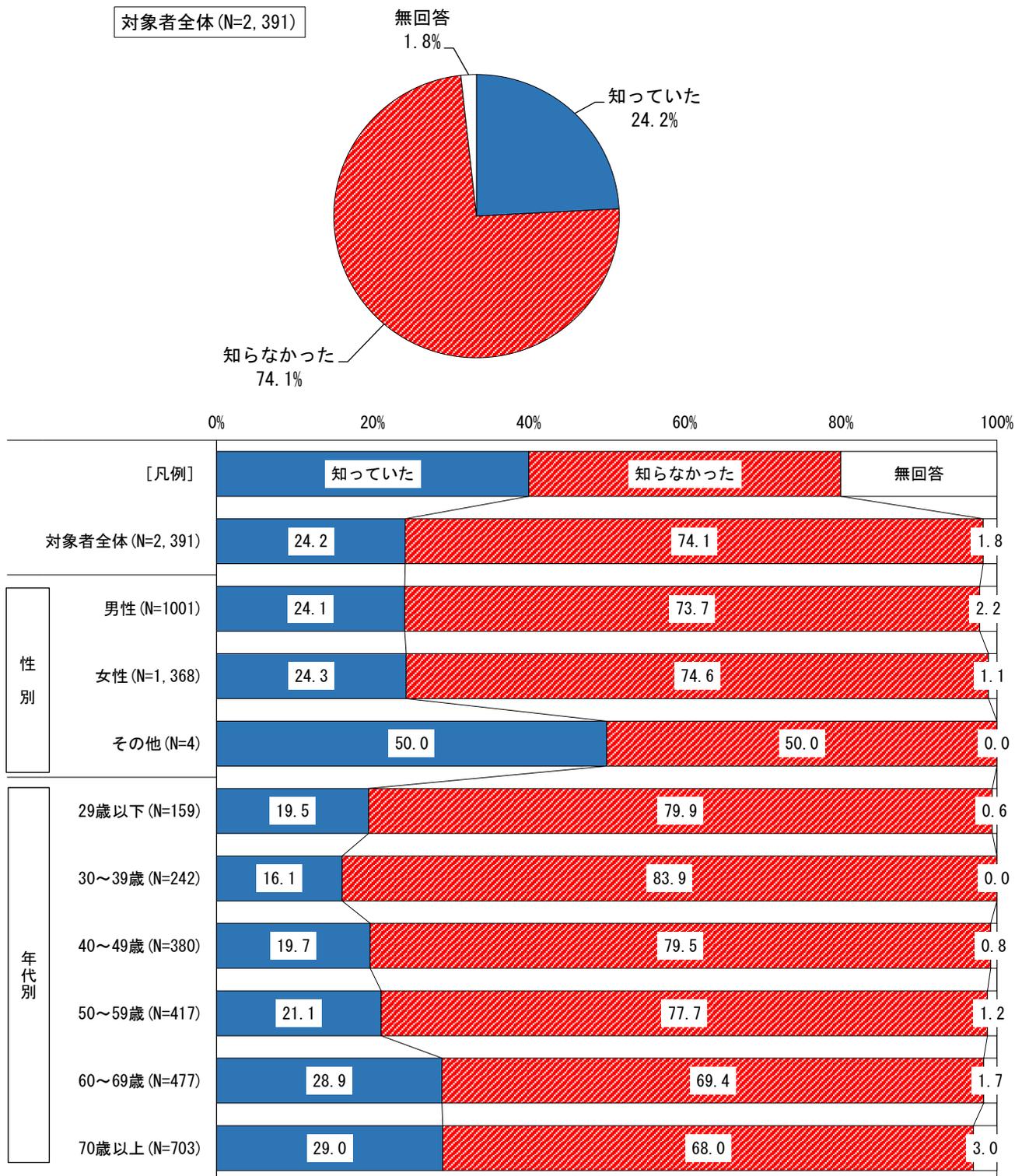
【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 39歳以下では「SNS」が、40歳以上では「テレビ・ラジオ」が最も高くなっている。

◇『一斉帰宅の抑制』の認知度

問17 あなたは、発災直後の原則である『一斉帰宅の抑制』について知っていましたか。

『一斉帰宅の抑制』について「知っていた」人が24.2%



【全体】『一斉帰宅の抑制』の認知度は、「知っていた」が24.2%、「知らなかった」が74.1%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

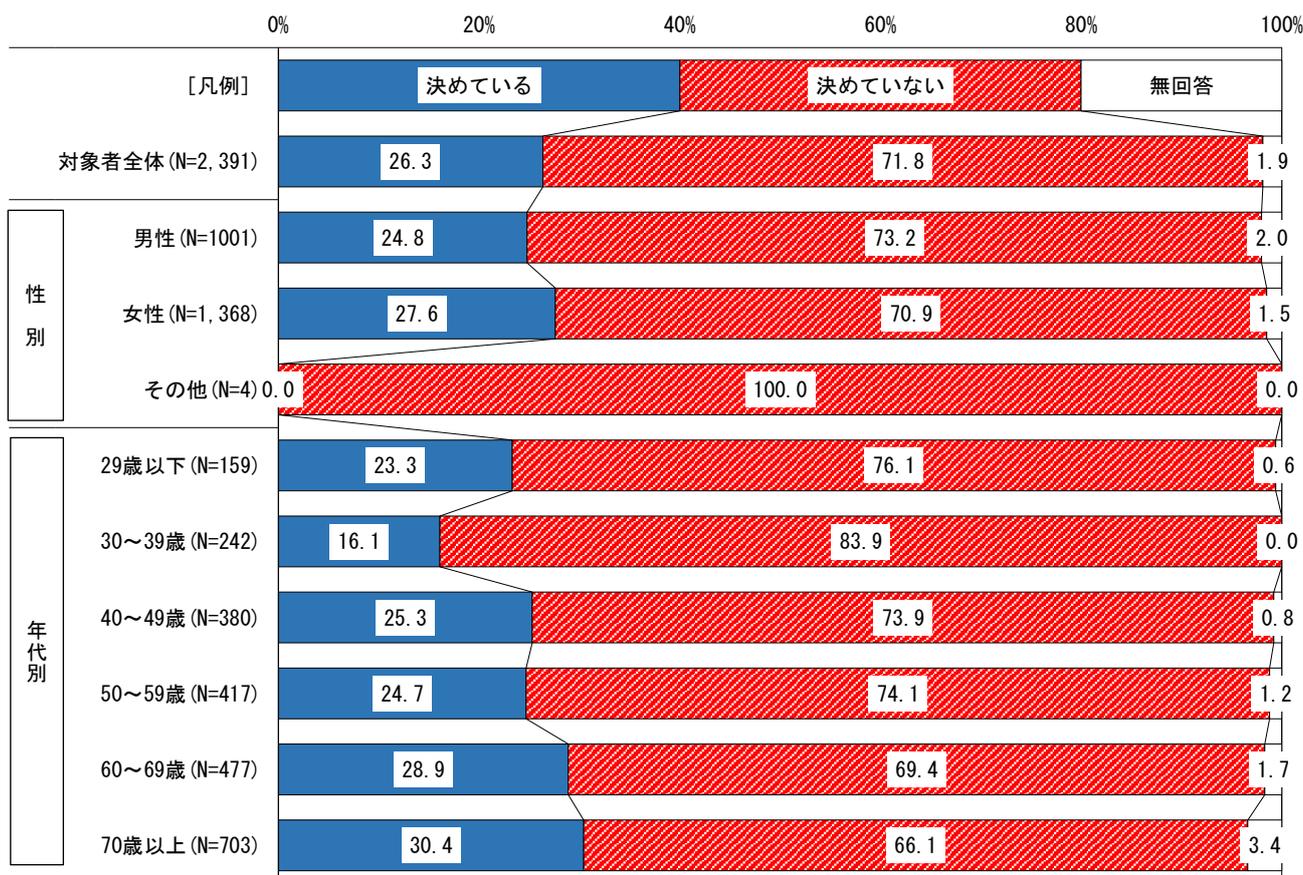
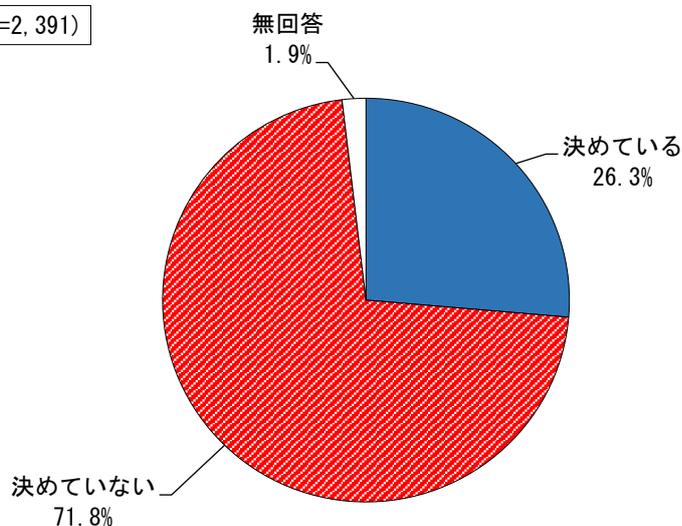
【年代別】「知っていた」が70歳以上(29.0%)で最も高く、次いで60歳代(28.9%)、50歳代(21.1%)となっている。

◇災害時の安否確認方法を決めているか否か

問18 あなたは、家族・友人等と離れているときに災害に遭遇した場合に備えて、お互いの安否確認方法を決めていますか。

家族・友人等と災害時の安否確認方法を「決めている」人が26.3%

対象者全体 (N=2,391)



【全体】災害時の安否確認方法を決めているか否かは、「決めている」が26.3%、「決めていない」が71.8%となっている。

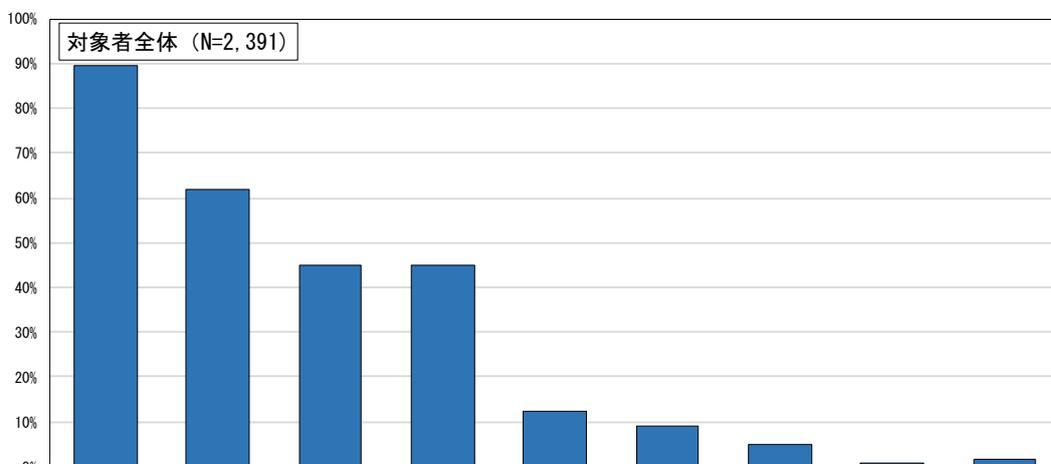
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「決めている」が70歳以上(30.4%)で最も高く、次いで60歳代(28.9%)、40歳代(25.3%)となっている。

◇災害時の安否確認の手段

問19 あなたは、災害時に家族・友人等の安否をどのような手段で確認しますか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

災害時の安否確認の手段は、「携帯電話・スマートフォンへ電話」が89.5%



対象者数		携帯電話・スマートフォンへ電話	LINEで連絡	メールで連絡	自宅へ電話	災害用伝言ダイヤル (171)	などのSNSで連絡	災害用伝言版 (web 171)	その他	無回答
対象者全体 (N=2,391)		89.5	61.9	44.9	44.8	12.5	9.1	5.1	0.7	1.5
性別	男性 (1,001)	90.1	55.2	45.4	48.5	9.5	9.3	4.8	0.9	1.5
	女性 (1,368)	89.5	67.3	44.9	42.3	14.8	8.9	5.3	0.4	1.0
	その他 (4)	100.0	100.0	-	50.0	50.0	50.0	25.0	-	-
年代別	29歳以下 (159)	91.2	87.4	20.1	31.4	6.9	33.3	2.5	0.6	0.6
	30～39歳 (242)	93.0	85.5	43.4	32.2	12.8	19.0	6.2	0.4	0.4
	40～49歳 (380)	90.8	75.8	41.1	29.2	15.0	15.3	6.6	1.6	0.5
	50～59歳 (417)	87.8	72.2	49.2	40.8	14.4	6.7	6.7	0.7	1.0
	60～69歳 (477)	91.6	63.5	57.4	45.7	16.8	4.2	7.1	0.6	1.5
	70歳以上 (703)	87.6	34.1	42.7	62.7	8.5	1.7	2.1	0.1	2.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】災害時の安否確認の手段は、「携帯電話・スマートフォンへ電話」が89.5%、「LINEで連絡」が61.9%、「メールで連絡」が44.9%となっている。

【性別】「自宅へ電話」は男性が48.5%と、女性の42.3%より6.2ポイント高くなっている。また、「LINEで連絡」、「災害用伝言ダイヤル(171)」は、女性が男性より5.3ポイント以上高くなっている。

【年代別】「LINEで連絡」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

(5) 救急医療・かかりつけ医・在宅医療について

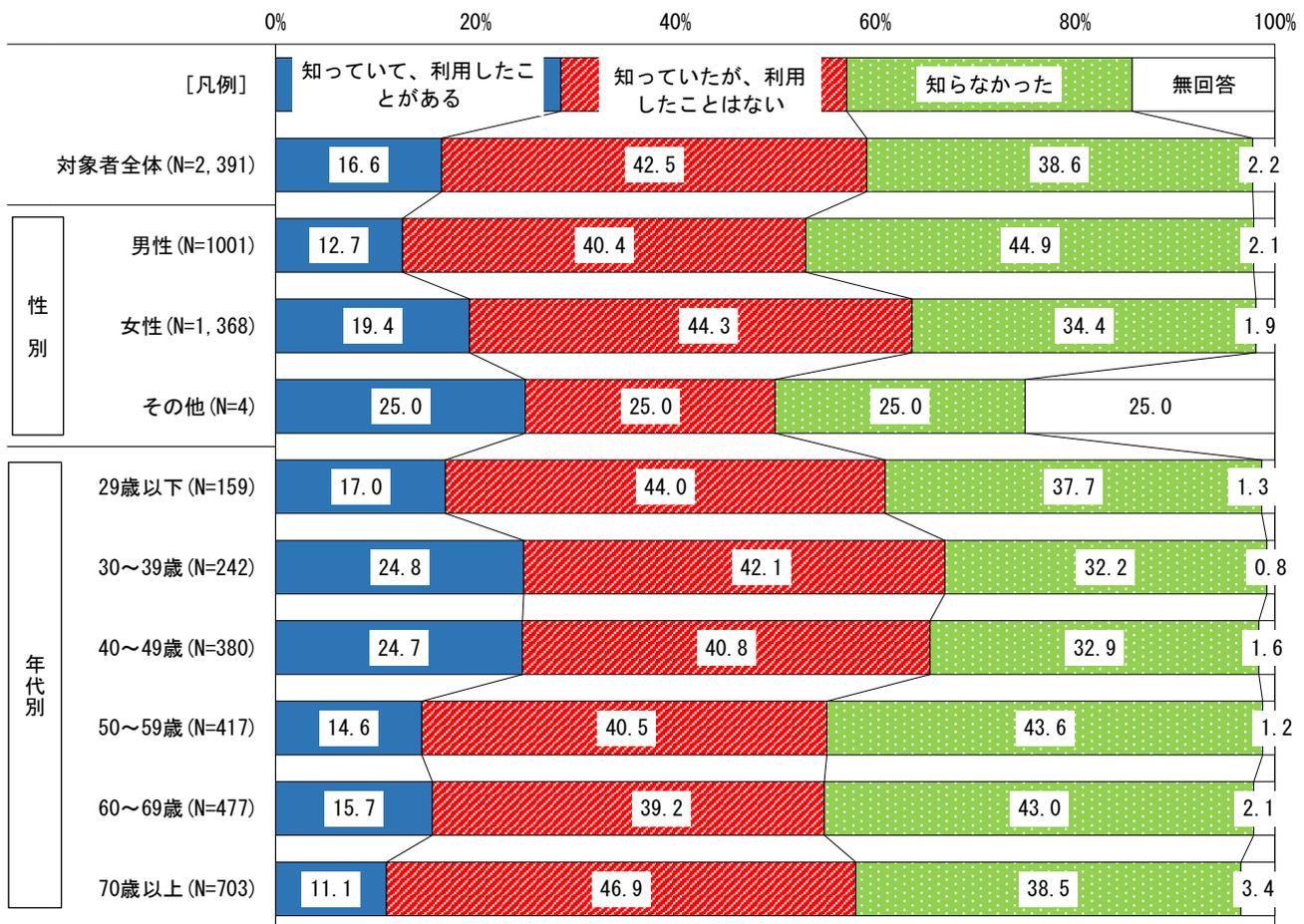
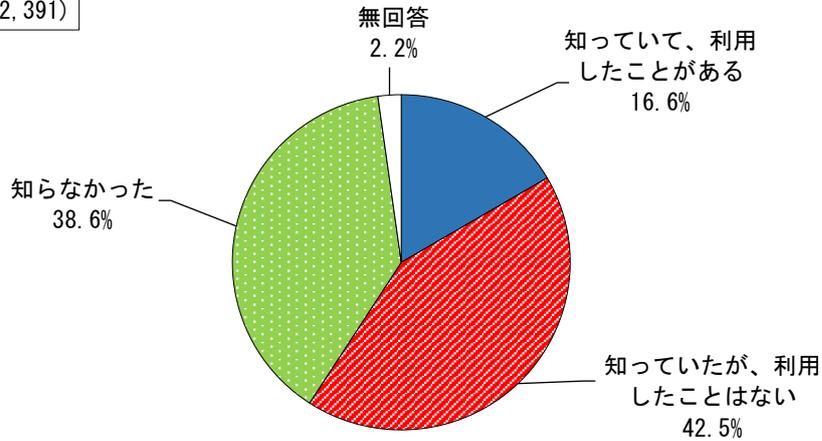
◇「救急あんしんセンターさっぽろ（#7119）」の認知度

問20 あなたは、「救急安心センターさっぽろ（#7119）」を知っていましたか。

「救急あんしんセンターさっぽろ（#7119）」を“知っていた”人が59.1%

※知っていた（「知っていて利用したことがある」＋「知っていたが、利用したことはない」）

対象者全体(N=2,391)



【全体】「救急安心センターさっぽろ（#7119）」の認知度は、「知っていて、利用したことがある」が16.6%、「知っていたが、利用したことはない」が42.5%、合わせると59.1%となっている。一方、「知らなかった」が38.6%となっている。

【性別】「知っていた」は女性が63.7%と、男性の53.0%より10.7ポイント高くなっている。

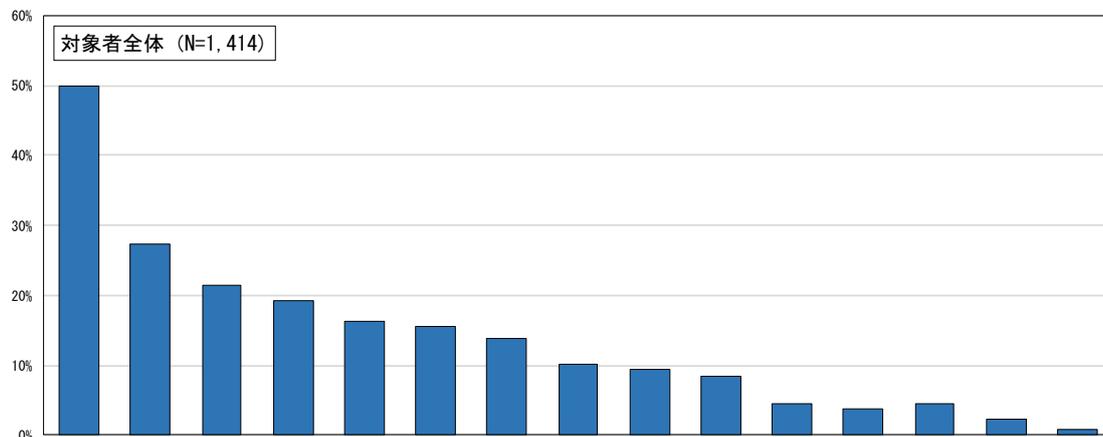
【年代別】「知っていた」が30歳代(66.9%)で最も高く、次いで40歳代(65.5%)、29歳以下(61.0%)となっている。

◇「救急あんしんセンターさっぽろ（#7119）」の認知方法

《問20で「1 知っていて、利用したことがある」または「2 知っていたが、利用したことはない」と答えた方にお聞きします。》

問20-1 あなたは、「救急安心センターさっぽろ（#7119）」をどのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「救急安心センターさっぽろ（#7119）」の認知方法は「広報さっぽろ」が50.0%



	対象者数	広報さっぽろ	テレビ・ラジオ	医療機関や公共施設に貼られているポスター	新聞	札幌市が発行している冊子やパンフレット	商業施設等のトイレ等に貼られているステッカー	SNS	札幌市の公式ホームページ	札幌市民利便帳・各区ガイド	家族や知人からの口コミ	町内会や自治会の回覧	札幌市公式以外のインターネットやSNS	他の窓口などで紹介された	その他	わからない	無回答
対象者全体	1,414	50.0	27.2	21.4	19.3	16.3	15.6	13.9	10.3	9.5	8.4	4.5	3.7	4.5	2.2	0.8	
性別																	
男性	531	53.9	28.2	22.6	20.9	14.3	20.2	13.4	12.1	6.6	9.2	6.0	3.0	2.4	0.8	0.9	
女性	872	47.9	26.4	20.6	18.2	17.7	12.7	14.3	9.2	11.1	8.0	3.4	4.1	5.6	3.0	0.8	
その他	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	
年代別																	
29歳以下	97	20.6	15.5	32.0	5.2	6.2	33.0	20.6	2.1	10.3	3.1	3.1	5.2	8.2	4.1	1.0	
30~39歳	162	19.1	14.8	24.7	0.6	11.1	27.2	21.6	3.1	11.7	1.2	9.9	7.4	9.3	3.7	1.2	
40~49歳	249	39.8	17.3	20.9	9.2	14.9	20.5	26.9	8.8	8.8	2.8	5.6	5.6	6.0	2.4	0.4	
50~59歳	230	49.1	27.8	22.6	15.2	14.8	17.4	12.2	5.7	11.7	4.3	5.7	3.0	6.5	3.0	1.3	
60~69歳	262	55.3	31.7	22.1	28.6	15.3	11.8	9.9	11.8	8.8	7.3	3.4	2.7	1.5	1.5	-	
70歳以上	408	72.5	37.3	16.7	32.4	23.3	4.9	5.1	17.4	7.6	19.1	2.0	1.7	1.5	1.0	1.2	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】「救急あんしんセンターさっぽろ（#7119）」の認知方法は、「広報さっぽろ」が50.0%、「テレビ・ラジオ」が27.2%、「医療機関や公共施設に貼られているポスター」が21.4%となっている。

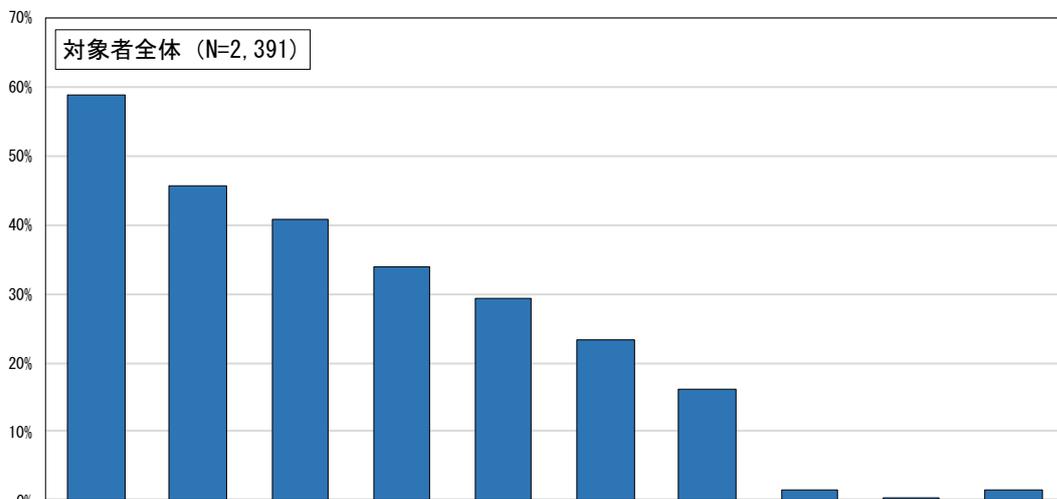
【性別】「広報さっぽろ」、「商業施設等のトイレ等に貼られているステッカー」は、男性が女性より6.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「広報さっぽろ」が70歳以上（72.5%）で最も高く、最も低い30歳代（19.1%）と比べると53.4ポイントの差となっている。

◇夜間・休日などに体調が悪くなった場合取る行動

問21 あなたは、自分や家族が夜間・休日などに急に体調が悪くなった場合（自力で歩ける程度）、どのような行動を取りますか。あてはまると思われるものにいくつでも○をつけてください。

夜間・休日などに体調が悪くなった場合（自力で歩ける程度）に取る行動は、「そのまま様子を見る（翌日等まで待つ）」が58.8%



		対象者数	そのまま様子を見る (翌日等まで待つ)	市販薬などを服用する	札幌市夜間急病センターを受診する	インターネットや新聞で受診できる病院を調べて受診する	救急あんしんセンターさっぽろ (#7119) へ電話で相談する	救急車を呼ぶ	かかりつけ医や近所の医療機関など知っている医師に相談する	その他	特に何もしない	無回答
		(%)										
対象者全体		2,391	58.8	45.7	40.9	34.0	29.3	23.2	16.1	1.4	0.3	1.5
性別	男性	1,001	55.2	44.1	42.0	31.9	26.3	29.5	17.9	0.6	0.2	1.4
	女性	1,368	61.8	47.1	40.4	36.0	31.5	18.6	14.5	2.0	0.3	1.3
	その他	4	75.0	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-
年代別	29歳以下	159	70.4	59.1	19.5	37.7	19.5	12.6	14.5	1.3	-	1.9
	30~39歳	242	71.5	57.9	36.8	42.6	24.0	16.9	12.8	2.1	0.4	-
	40~49歳	380	67.6	55.0	41.6	38.4	26.3	14.7	10.8	1.6	0.3	1.1
	50~59歳	417	63.3	54.2	42.7	41.7	24.9	17.0	12.0	1.9	0.2	1.2
	60~69歳	477	56.8	45.3	49.7	35.8	29.8	24.5	13.4	1.3	0.2	0.2
	70歳以上	703	46.7	29.2	40.1	22.5	37.1	35.3	24.3	1.0	0.3	2.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】夜間・休日などに体調が悪くなった場合（自力で歩ける程度）に取る行動は、「そのまま様子を見る（翌日等まで待つ）」が58.8%、「市販薬などを服用する」が45.7%、「札幌市夜間急病センターを受診する」が40.9%となっている。

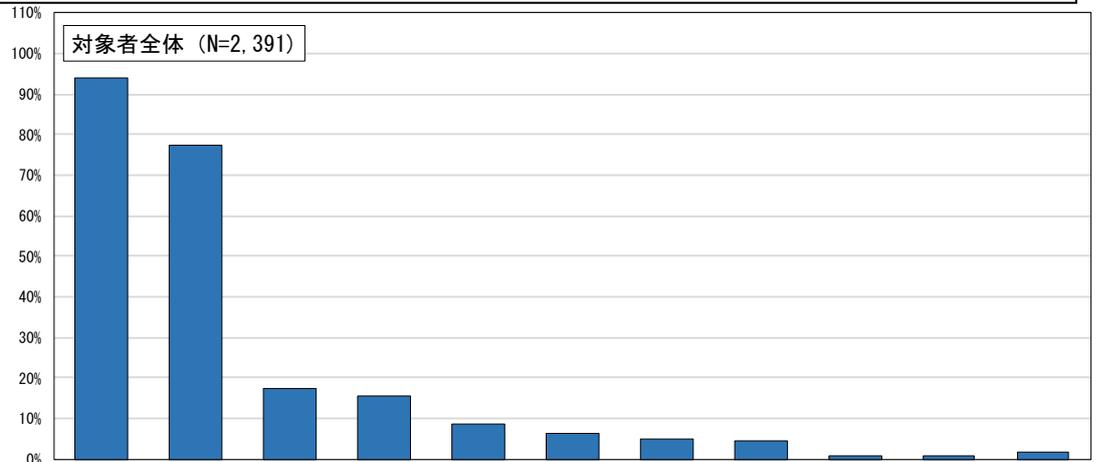
【性別】「救急車を呼ぶ」は男性が29.5%と、女性の18.6%より10.9ポイント高くなっている。また、「そのまま様子を見る（翌日等まで待つ）」、「救急あんしんセンターさっぽろ（#7119）へ電話で相談する」は、女性が男性より5.2ポイント以上高くなっている。

【年代別】「市販薬などを服用する」は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇救急車を利用する理由

問22 あなたは、次のような場合に救急車を利用しますか。利用すると思われるものについて、いくつでも○をつけてください。

救急車を利用する理由は「息ができない、胸が苦しいなど、症状が重く、命の危険を感じたとき」が93.9%



対象者数		症状が重く、命の危険を感じたとき	自力では動けない、起き上がれない状態のとき	我慢できるが、強い痛みがあるとき	夜間や休日にかかりつけ医や近所の医療機関が空いていないとき	病院へ行く交通手段等がないとき	どこの病院へ行けばいいかわからないとき	症状が重いか軽いかかわからず不安を感じているとき	早く診てもらいたいとき	その他	どんな場合であっても利用しない	無回答
(%)												
対象者全体	2,391	93.9	77.5	17.5	15.3	8.4	6.2	5.0	4.4	0.7	0.6	1.5
性別	男性	1,001	93.4	81.6	16.7	18.6	12.8	8.1	5.3	5.6	0.4	0.8
	女性	1,368	95.0	74.9	18.1	12.9	5.0	5.0	4.8	3.5	1.0	1.4
	その他	4	75.0	75.0	-	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-
年代別	29歳以下	159	96.9	74.8	5.0	7.5	6.9	0.6	-	3.1	0.6	1.3
	30～39歳	242	95.0	82.6	13.6	9.1	8.7	1.7	3.3	2.1	2.1	-
	40～49歳	380	96.1	75.0	12.6	5.0	4.2	1.3	3.4	1.6	0.5	0.5
	50～59歳	417	97.1	78.2	16.8	7.2	4.1	1.9	4.1	2.6	0.5	0.7
	60～69歳	477	96.2	81.3	23.5	17.2	10.1	6.7	5.7	5.0	0.8	0.4
	70歳以上	703	89.2	75.2	20.6	28.6	12.2	14.1	7.7	7.8	0.4	0.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】救急車を利用する理由は、「息ができない、胸が苦しいなど、症状が重く、命の危険を感じたとき」が93.9%、「自力では動けない、起き上がれない状態のとき」が77.5%、「我慢できるが、強い痛みがあるとき」が17.5%となっている。

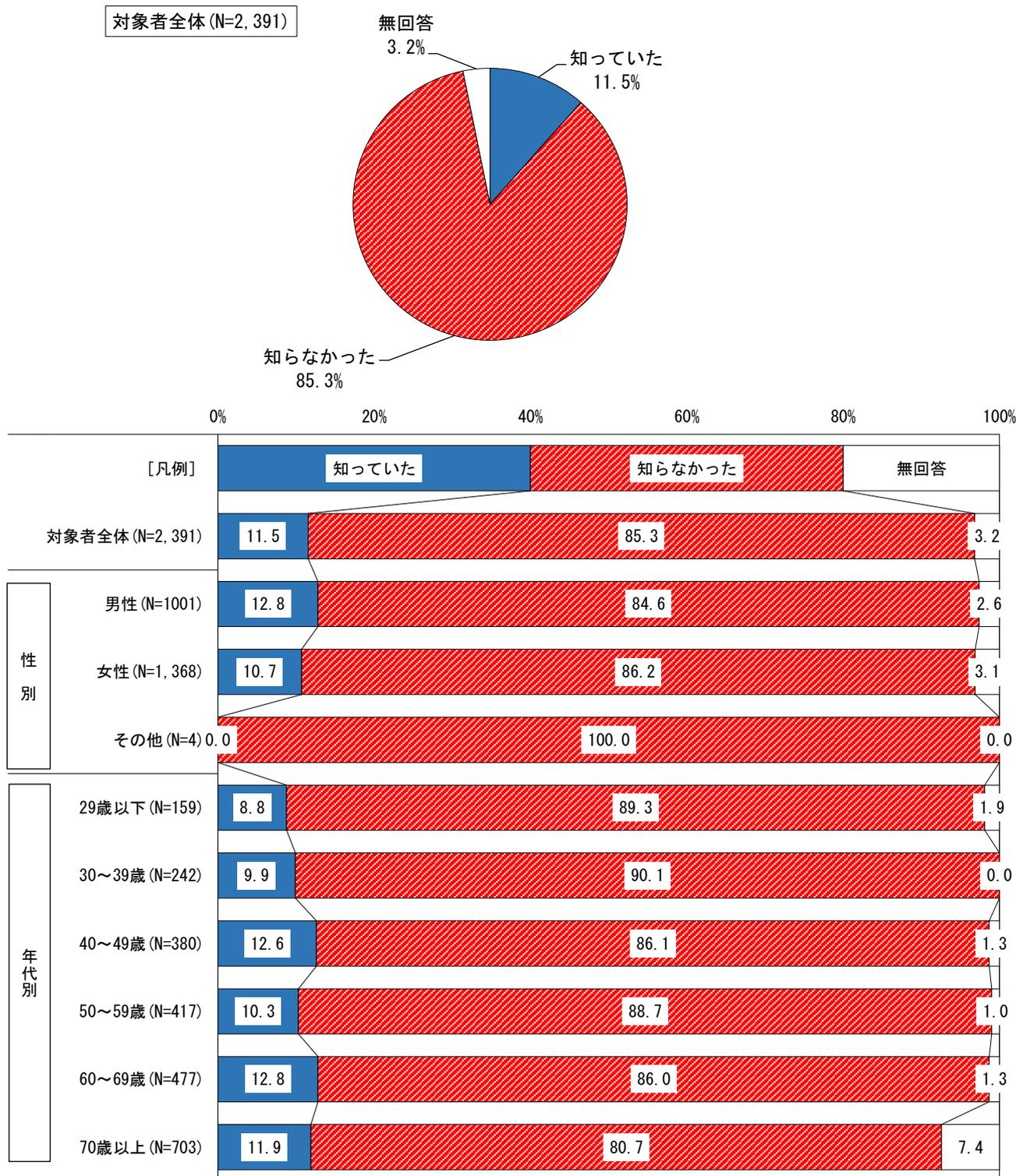
【性別】「自力では動けない、起き上がれない状態のとき」、「夜間や休日にかかりつけ医や近所の医療機関が空いていないとき」、「病院へ行く交通手段等がないとき」は、男性が女性より5.7ポイント以上高くなっている。

【年代別】「夜間や休日にかかりつけ医や近所の医療機関が空いていないとき」が70歳以上(28.6%)で最も高く、最も低い40歳代(5.0%)と比べると23.6ポイントの差となっている。

◇災害発生時に受診可能な医療機関をホームページで発信していることの認知度

問23 あなたは、札幌市が災害発生時に、その時点で受診可能な医療機関をホームページ等で発信していることを知っていましたか。

災害発生時に受診可能な医療機関をホームページで発信していることを「知っていた」人は11.5%



【全 体】災害発生時に受診可能な医療機関をホームページで発信していることの認知度は、「知っていた」が11.5%、「知らなかった」が85.3%となっている。

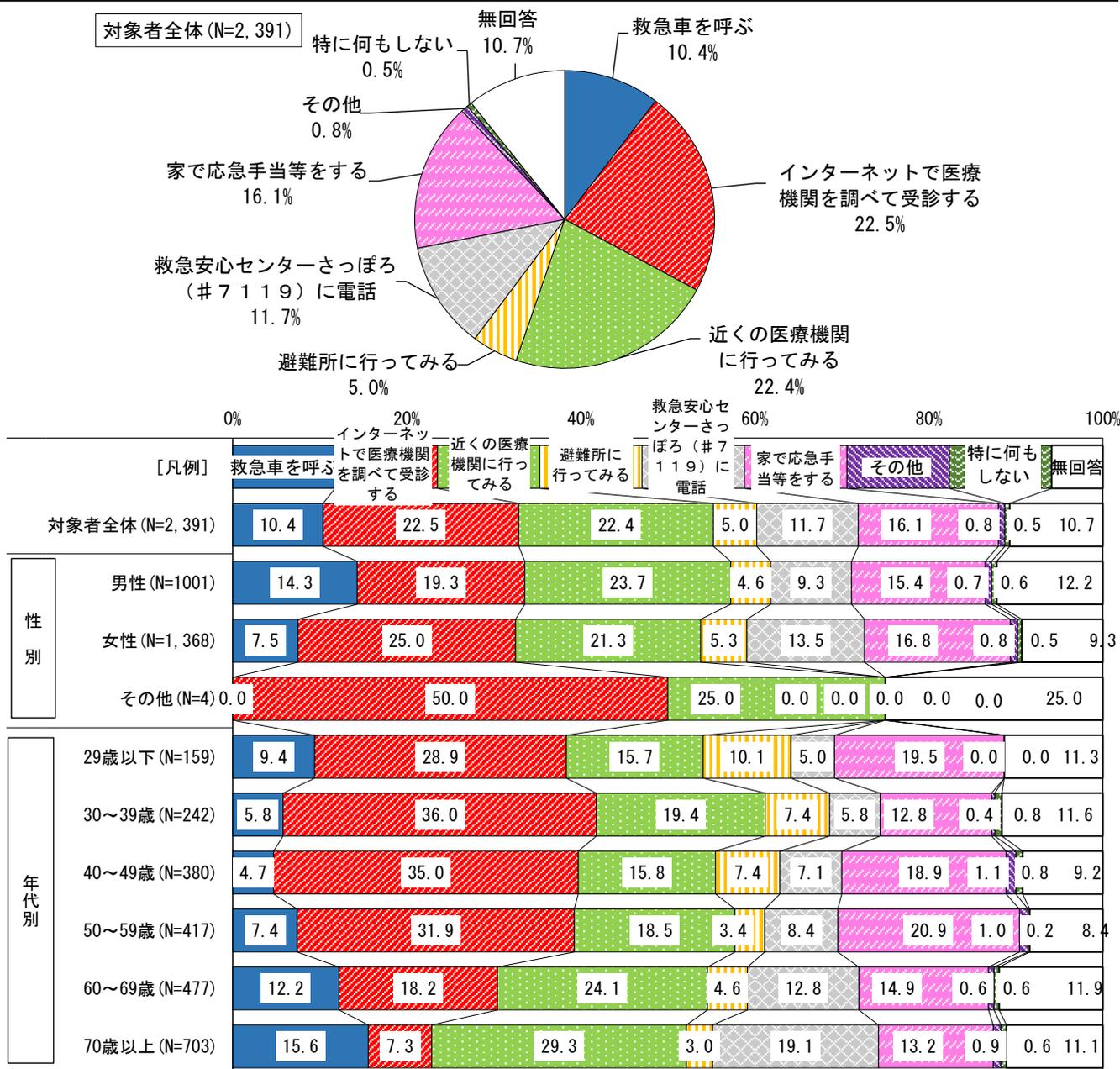
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「知っていた」が60歳代(12.8%)で最も高く、次いで40歳代(12.6%)、70歳以上(11.9%)となっている。

◇災害発生時にけがをした場合にする行動

問24 あなたは、災害発生時に、けが（骨折や打撲、出血があるが自力で歩ける程度）をした場合、どのような行動を取りますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

災害発生時にけがをした場合にする行動は、「インターネットで医療機関を調べて受診する」が22.5%



【全体】災害発生時にけがをした場合にする行動は、「救急車を呼ぶ」が10.4%、「インターネットで医療機関を調べて受診する」が22.5%、「近くの医療機関に行ってみる」が22.4%、「避難所に行ってみる」が5.0%、「救急安心センターさっぽろ（#7119）に電話」が11.7%、「家で応急手当等をする」が16.1%となっている。

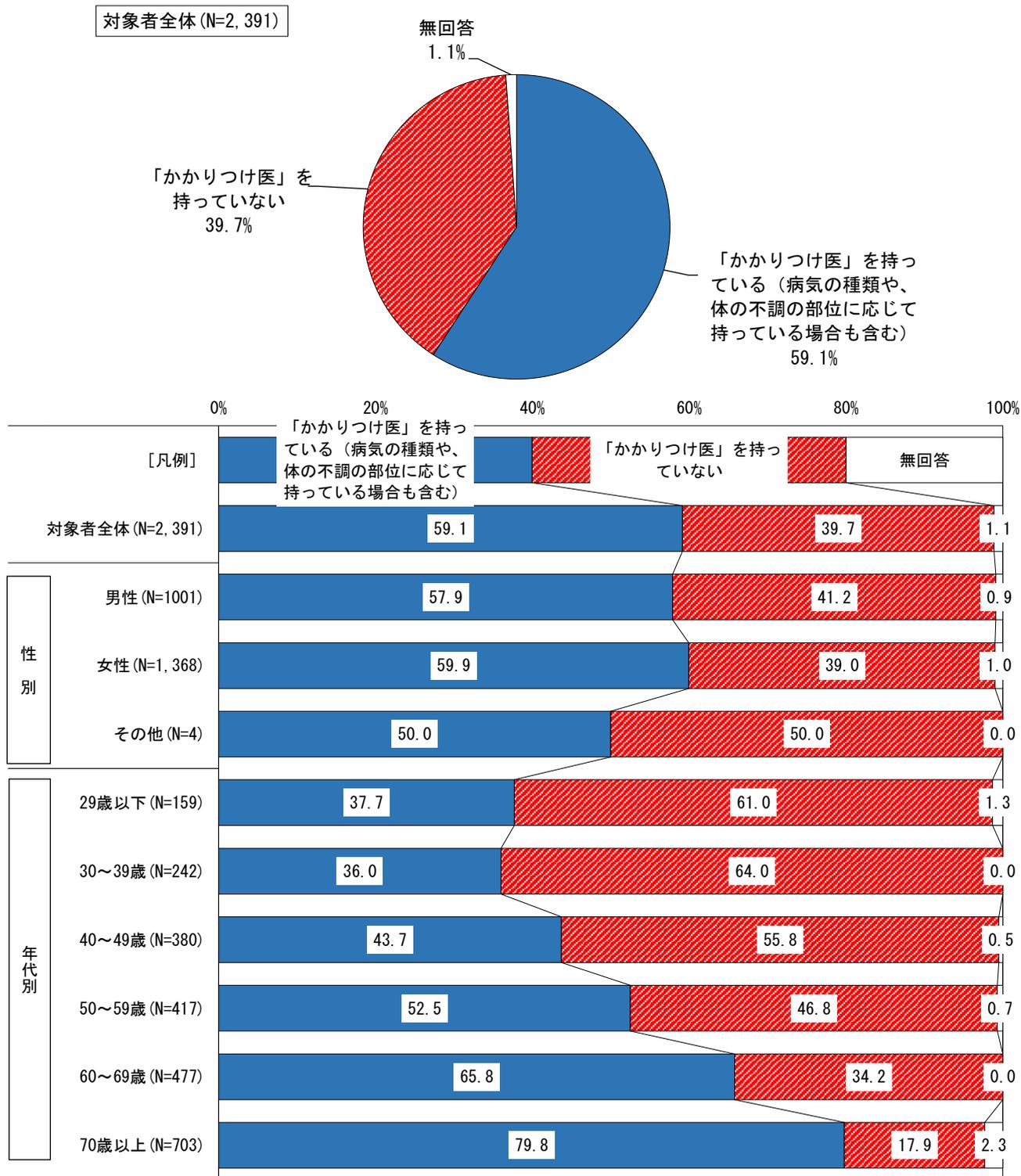
【性別】「救急車を呼ぶ」は男性が14.3%と、女性の7.5%より6.8ポイント高くなっている。また、「インターネットで医療機関を調べて受診する」は女性が25.0%と、男性の19.3%より5.7ポイント高くなっている。

【年代別】59歳以下では「インターネットで医療機関を調べて受診する」が、60歳以上では「近くの医療機関に行ってみる」が最も高くなっている。

◇「かかりつけ医」の有無

問25 あなたは、「かかりつけ医（歯科医を除く）」を持っていますか。

「かかりつけ医を持っている」人は 59.1%



【全体】「かかりつけ医（歯科医を除く）」の有無は、「かかりつけ医」を持っている（病気の種類や、体の不調の部位に応じて持っている場合も含む）が 59.1%、「かかりつけ医」を持っていないが 39.7%となっている。

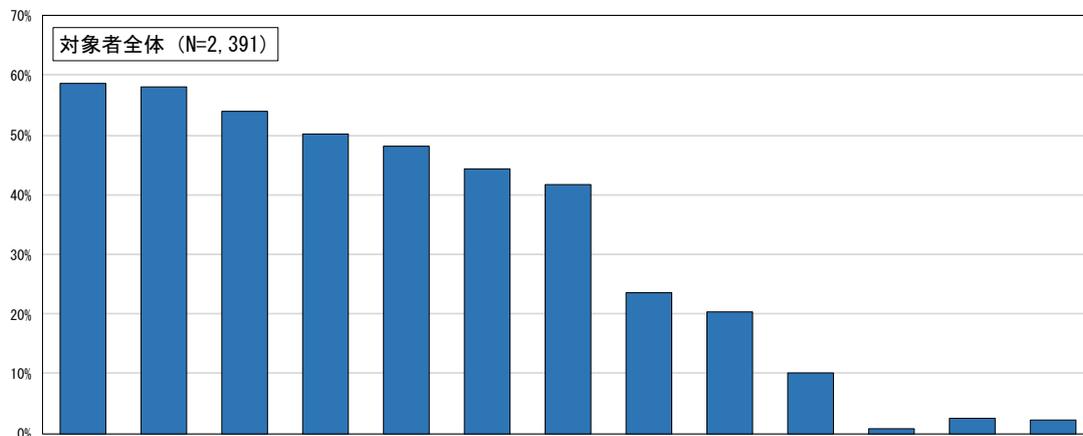
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「かかりつけ医」を持っているが 70 歳代 (79.8%) で最も高く、最も低い 30 歳代 (36.0%) と比べると 43.8 ポイントの差となっている。

◇「かかりつけ医」に期待すること

問26 あなたが、「かかりつけ医」に期待することは何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「かかりつけ医」に期待することは「病気や治療についてよく説明してくれる」と回答した人が58.6%



	対象者数	説明してくれる	体の不調を感じたときに診てくれる	自分の症状を把握している	自宅や職場から近く通院しやすい	健康相談に乗ってくれる	大学病院や市立病院など適切な病院を紹介してくれる	患者の話をよく聞いてくれる	設備がそろっている	待ち時間が短い	自力で通院できないときに、往診してくれる	その他	特になし	無回答
対象者全体	2,391	58.6	58.0	54.1	50.1	48.1	44.4	41.7	23.7	20.5	10.2	0.8	2.6	2.3
性別														
男性	1,001	52.6	53.0	52.1	45.4	49.6	42.7	34.5	22.3	18.1	9.3	0.6	3.4	2.9
女性	1,368	63.2	61.6	55.7	53.5	47.2	45.9	47.0	24.8	21.9	10.8	1.0	2.0	1.6
その他	4	75.0	100.0	75.0	25.0	50.0	75.0	50.0	25.0	25.0	-	-	-	-
年代別														
29歳以下	159	55.3	64.2	53.5	52.8	50.9	28.3	44.0	27.7	21.4	8.2	2.5	3.8	1.3
30～39歳	242	63.2	68.6	60.3	59.1	52.1	47.5	47.5	30.2	22.3	7.9	-	3.7	0.4
40～49歳	380	59.5	60.0	58.2	52.9	40.0	43.9	41.3	22.9	22.1	7.4	0.8	1.8	2.4
50～59歳	417	62.6	61.2	54.0	53.0	46.0	45.1	42.9	25.2	24.0	11.0	1.7	2.6	1.0
60～69歳	477	60.8	58.7	55.8	50.9	50.5	48.4	41.9	22.6	20.1	13.2	0.8	2.3	1.0
70歳以上	703	53.9	49.8	49.2	42.7	50.2	44.5	38.5	20.8	16.5	10.4	0.3	2.4	4.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】「かかりつけ医」に期待することは、「病気や治療についてよく説明してくれる」が58.6%、「体の不調を感じたときに診てくれる」が58.0%、「自分の症状を把握している」が54.1%となっている。

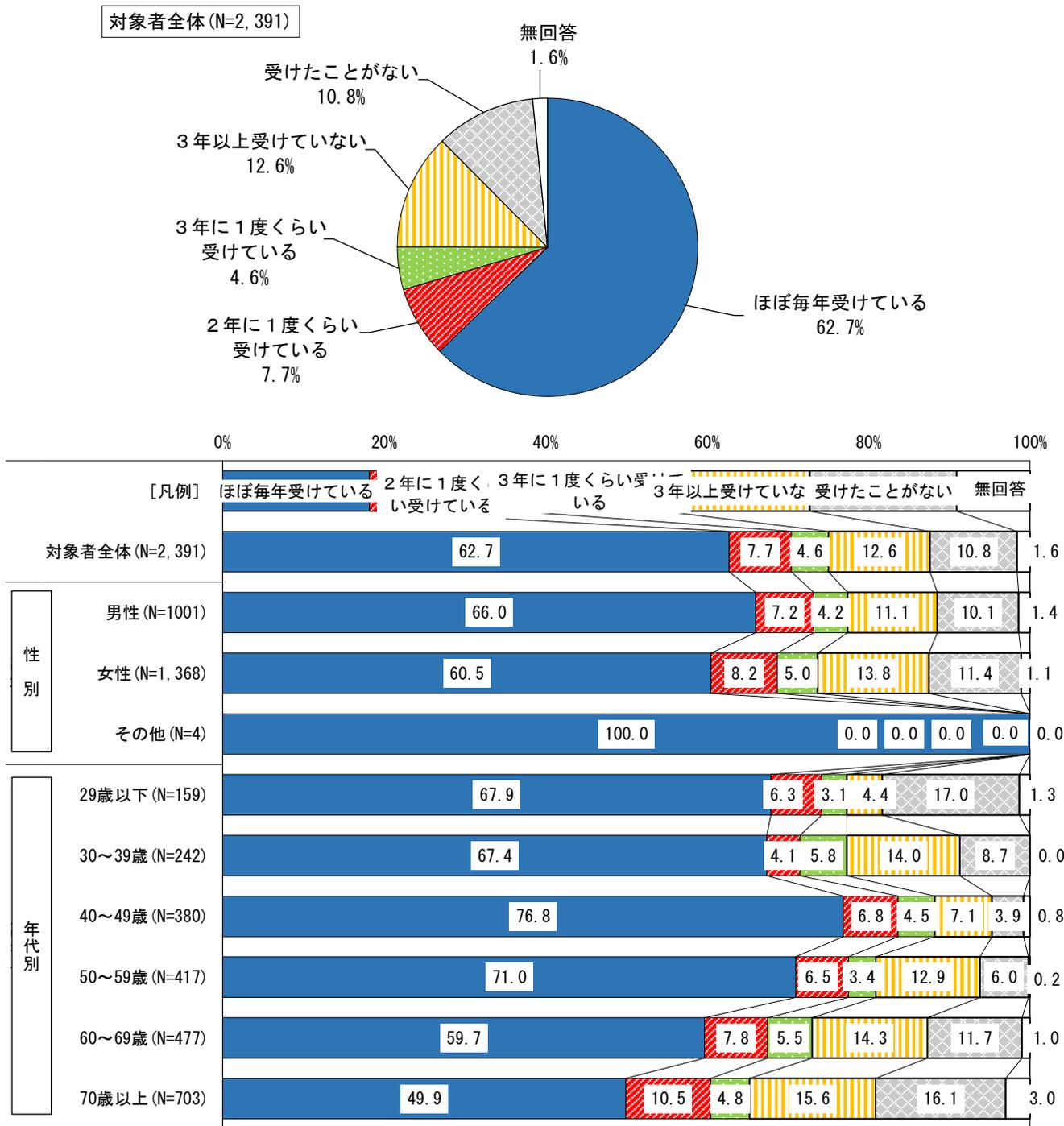
【性別】「病気や治療についてよく説明してくれる」、「体の不調を感じたときに診てくれる」、「自宅や職場から近く通院しやすい」、「患者の話をよく聞いてくれる」は、女性が男性より8.1ポイント以上高くなっている。

【年代別】「体の不調を感じたときに診てくれる」が30歳代(68.6%)で最も高く、次いで29歳以下(64.2%)、50歳代(61.2%)となっている。

◇「健康診断等」の受診状況

問27 あなたは、何年ごとに「健康診断等」を受けていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「健康診断等」を「ほぼ毎年受けている」人は62.7%



【全体】「健康診断等」の受診状況は、「ほぼ毎年受けている」が62.7%、「2年に1度くらい受けている」が7.7%、「3年に1度くらい受けている」が4.6%となっている。一方、「3年以上受けていない」が12.6%、「受けたことがない」が10.8%となっている。

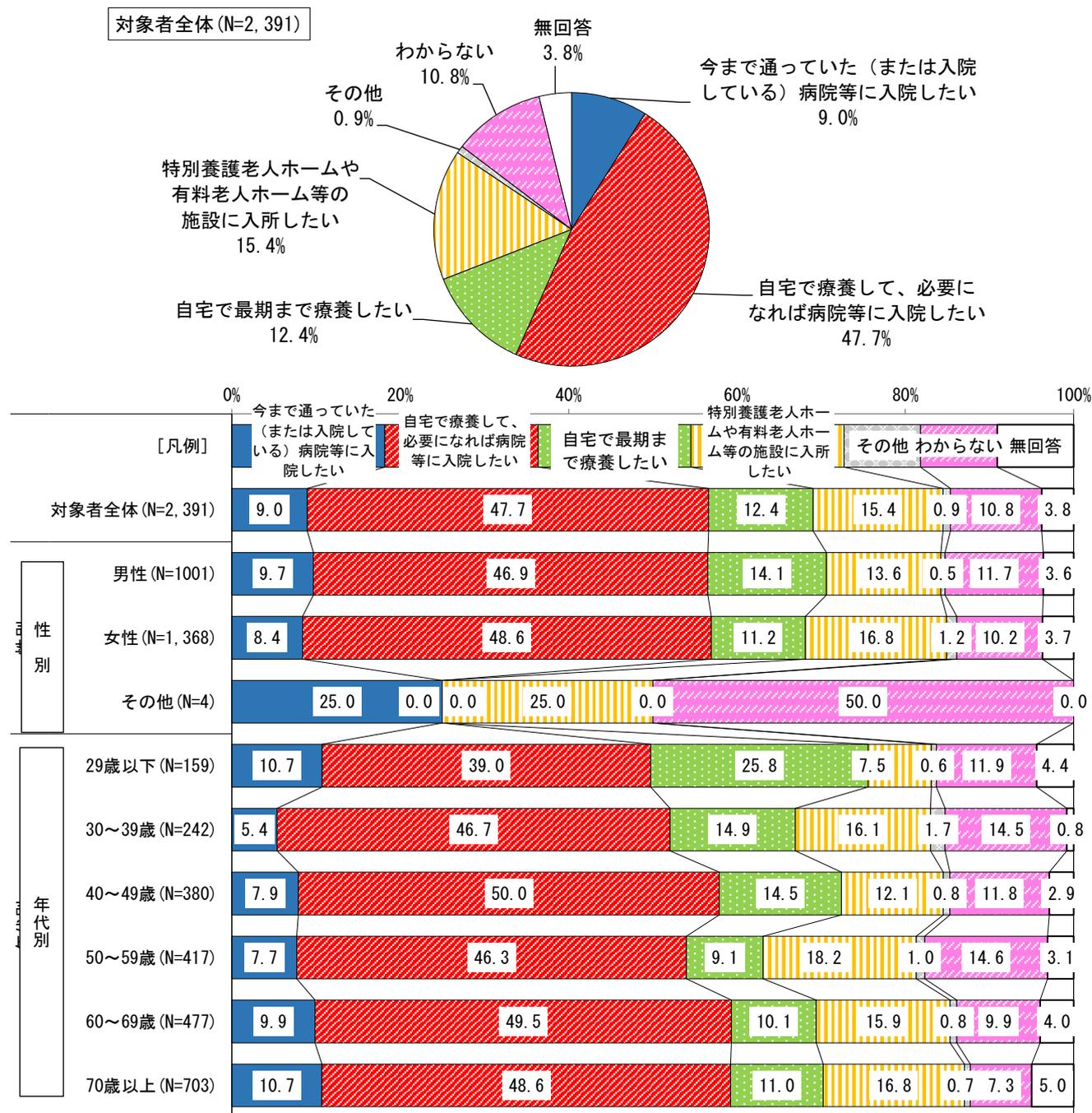
【性別】「ほぼ毎年受けている」は男性が66.0%と、女性の60.5%より5.5ポイント高くなっている。

【年代別】「ほぼ毎年受けている」が40歳代(76.8%)で最も高く、最も低い70歳以上(49.9%)と比べると26.9ポイントの差となっている。

◇人生最期のときの過ごし方

問28 あなたは、高齢や病気などが理由で通院することが困難となった場合に、人生の最期のときをどのように過ごしたいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

人生の最期のときの過ごし方は「自宅で療養して、必要になれば病院等に入院したい」と回答した人が47.7%



【全体】人生最期のときの過ごし方は、「今まで通っていた（または入院している）病院等に入院したい」が9.0%、「自宅で療養して、必要になれば病院等に入院したい」が47.7%、「自宅で最期まで療養したい」が12.4%、「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所したい」が15.4%となっている。

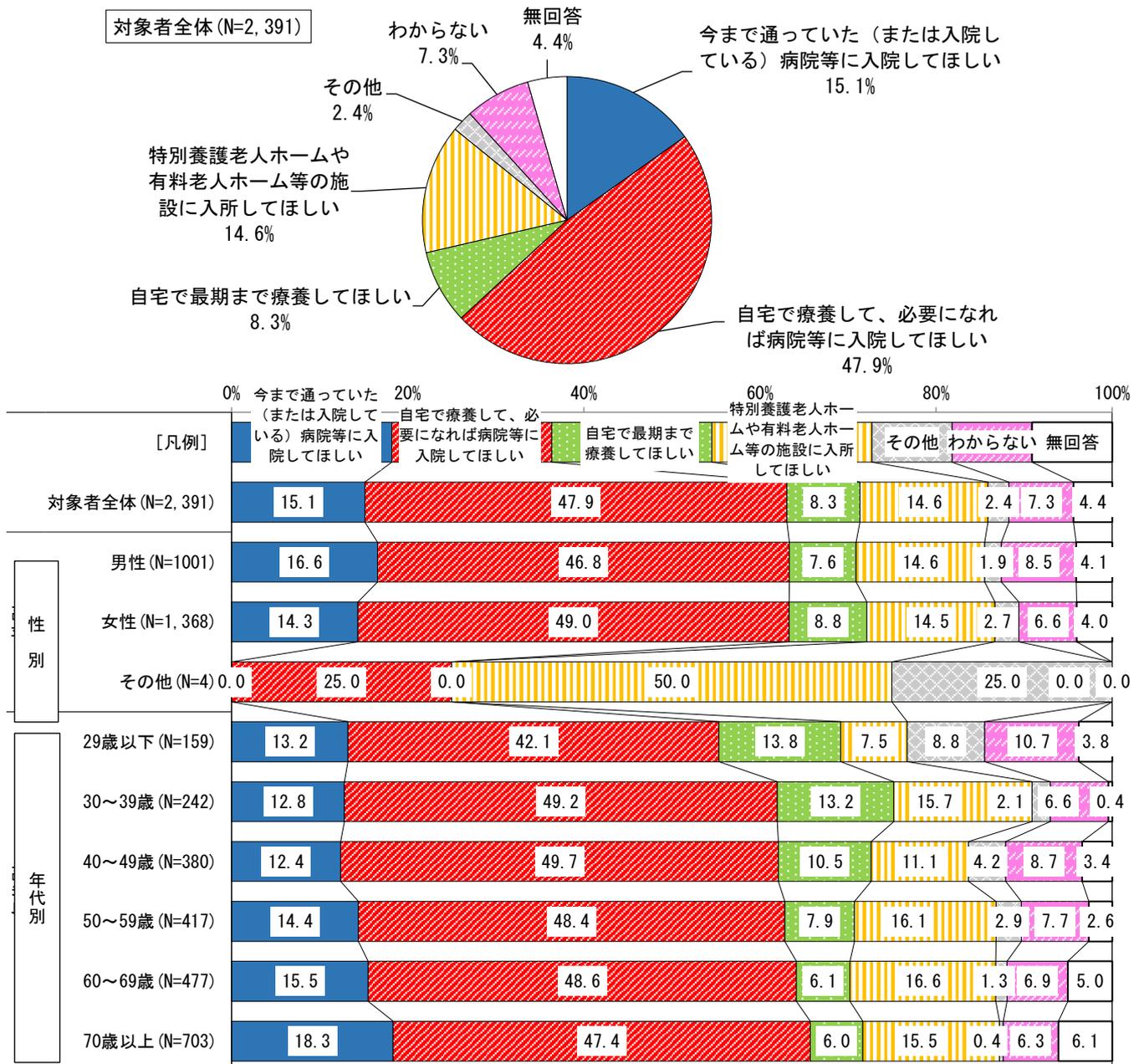
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「自宅で療養して、必要になれば病院等に入院したい」が40歳代（50.0%）で最も高く、次いで60歳代（49.5%）、70歳以上（48.6%）となっている。

◇同居している身近な人に人生の最期のときをどのように過ごしてほしいか

問29 あなたは、あなたと同居している身近な人が、高齢や病気などが理由で通院することが困難となった場合に、人生の最期のときをどのように過ごしてほしいと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。なお、同居している方がいない場合は、いることを想定して回答してください。

同居している身近な人に人生の最期のときをどのように過ごしてほしいかは「自宅で療養して、必要になれば病院等に入院してほしい」と回答した人が47.9%



【全体】身近な人に人生の最期のときをどのように過ごしてほしいかは、「今まで通っていた（または入院している）病院等に入院してほしい」が15.1%、「自宅で療養して、必要になれば病院等に入院してほしい」が47.9%、「自宅で最期まで療養してほしい」が8.3%、「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所してほしい」が14.6%となっている。

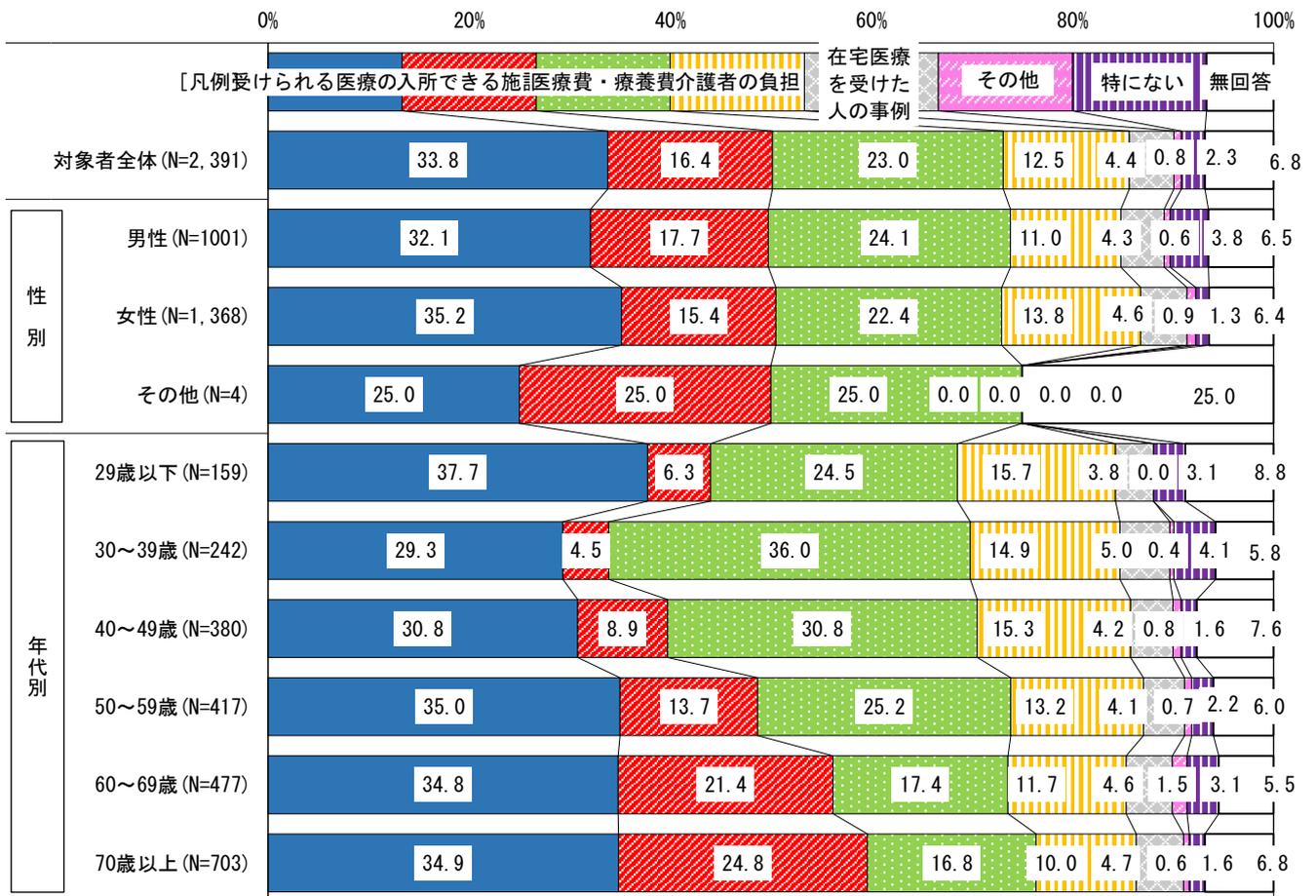
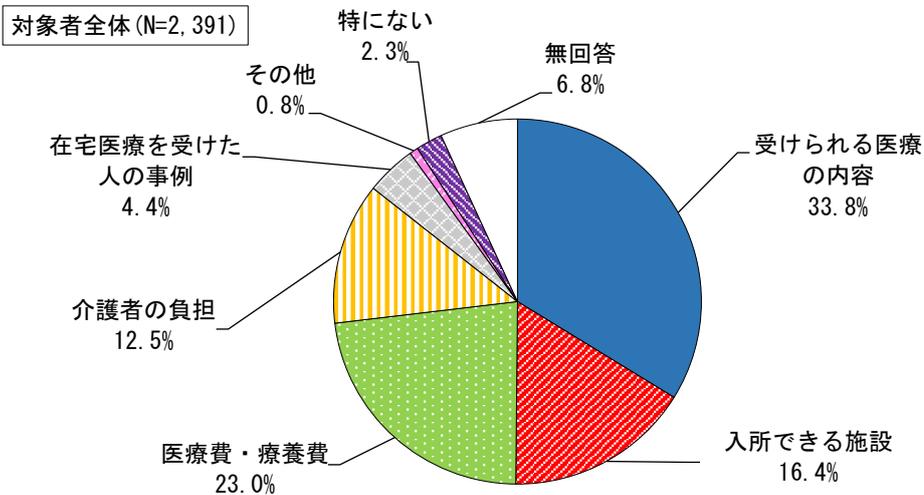
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「自宅で最期まで療養してほしい」が30歳代（13.2%）で最も高く、最も低い70歳以上（6.0%）と比べると7.2ポイントの差となっている。

◇在宅医療を利用する際に知りたい情報

問30 あなたは、高齢や病気などが理由で通院することが困難となった際に、仮に在宅医療を利用するとした場合、特にどのような情報を知りたいですか。あてはまるものに1つだけ ○をつけてください。

在宅医療を利用する際に知りたい情報は「受けられる医療の内容」と回答した人が33.8%



【全 体】在宅医療を利用する際に知りたい情報は、「受けられる医療の内容」が33.8%、「医療費・療養費」が23.0%、「入所できる施設」が16.4%となっている。

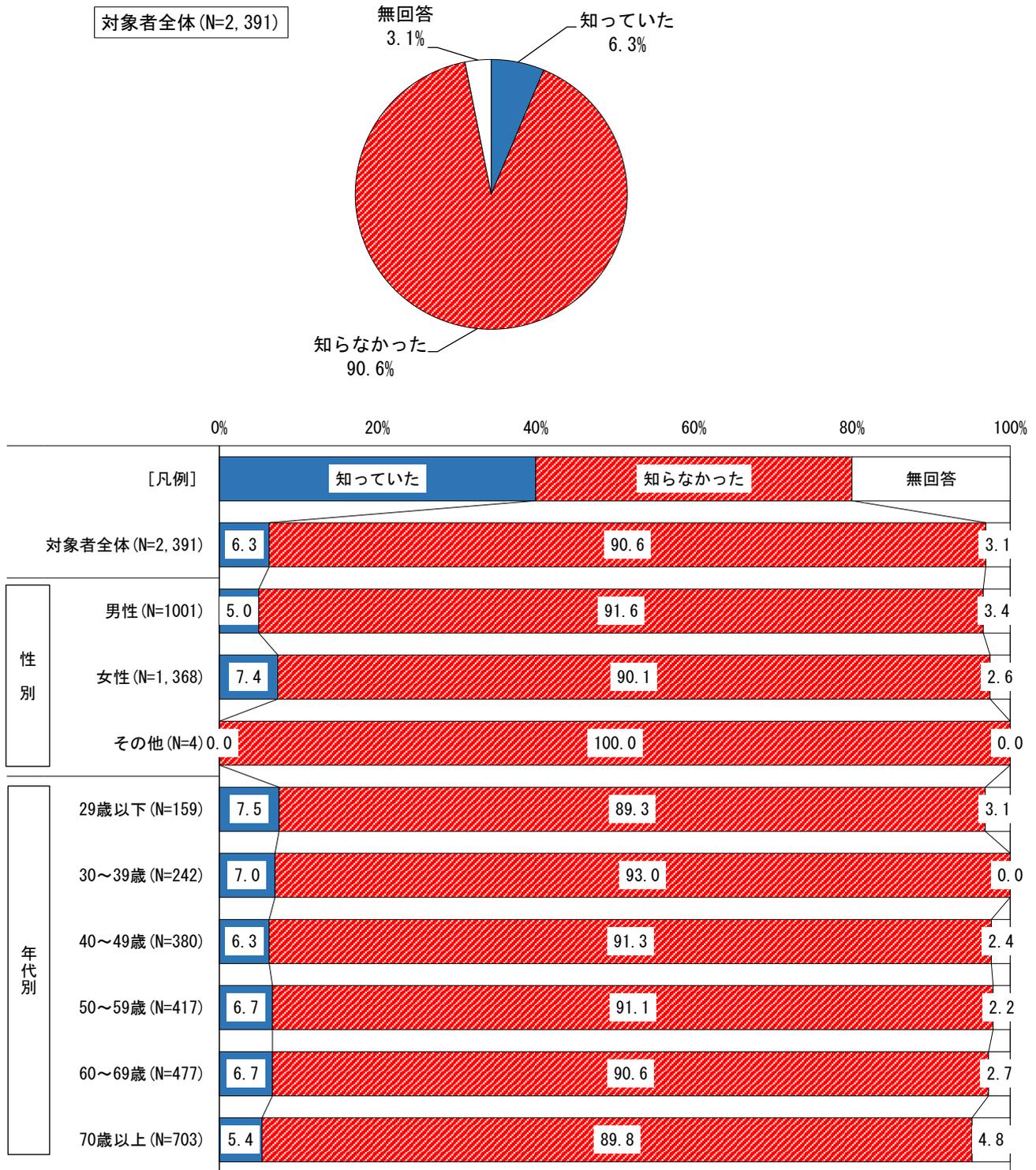
【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「受けられる医療の内容」が29歳以下(37.7%)で最も高く、次いで50歳代(35.0%)、70歳以上(34.9%)となっている。

◇「ACP」や「人生会議」の認知度

問31 あなたは、「ACP」や「人生会議」という言葉を知っていましたか。

「ACP」や「人生会議」という言葉を「知っていた」人は6.3%



【全体】「ACP」や「人生会議」の認知度は、「知っていた」が6.3%、「知らなかった」が90.6%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

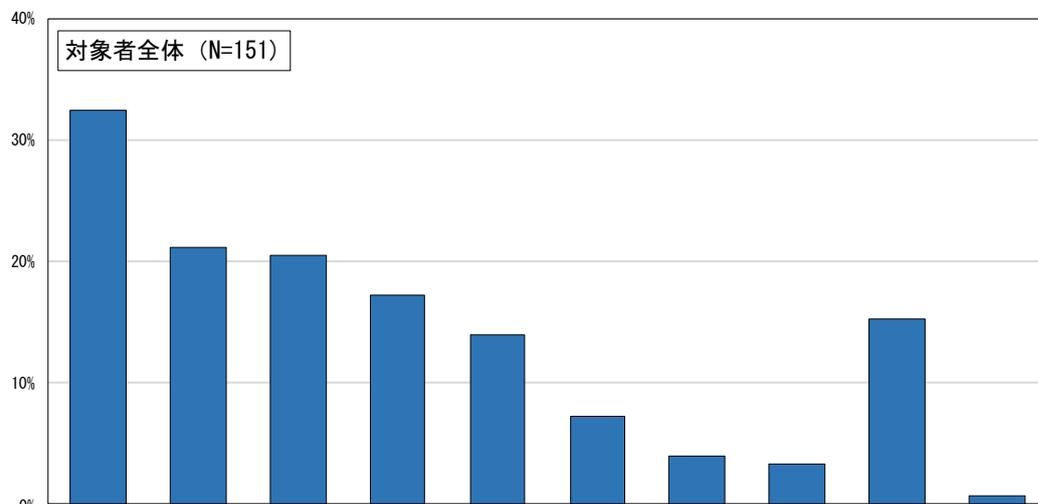
【年代別】「知っていた」が29歳以下(7.5%)で最も高く、次いで30歳代(7.0%)、50歳代、60歳代(6.7%)となっている。

◇「ACP」や「人生会議」を知ったきっかけ

《問31で「1 知っていた」と答えた方にお聞きします。》

問31—1 あなたは、「ACP」や「人生会議」をどのような方法で知りましたか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

「ACP」や「人生会議」を知ったきっかけは「テレビ・ラジオ」が32.5%



		対象者数	テレビ・ラジオ	新聞	医療機関で教えてもらった	研修会・講演会等	札幌市が発行している冊子	札幌市公式以外のインターネット	札幌市以外が発行している冊子	札幌市の公式ホームページ	その他	無回答
		(%)										
対象者全体		151	32.5	21.2	20.5	17.2	13.9	7.3	4.0	3.3	15.2	0.7
性別	男性	50	32.0	20.0	24.0	20.0	24.0	8.0	8.0	8.0	6.0	-
	女性	101	32.7	21.8	18.8	15.8	8.9	6.9	2.0	1.0	19.8	1.0
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	12	8.3	8.3	8.3	16.7	-	8.3	-	-	50.0	-
	30～39歳	17	11.8	5.9	23.5	29.4	-	17.6	-	-	23.5	-
	40～49歳	24	33.3	-	25.0	25.0	8.3	12.5	8.3	-	20.8	-
	50～59歳	28	39.3	17.9	10.7	10.7	14.3	7.1	3.6	-	17.9	-
	60～69歳	32	37.5	28.1	18.8	15.6	21.9	3.1	6.3	9.4	-	-
	70歳以上	38	39.5	42.1	28.9	13.2	21.1	2.6	2.6	5.3	7.9	2.6

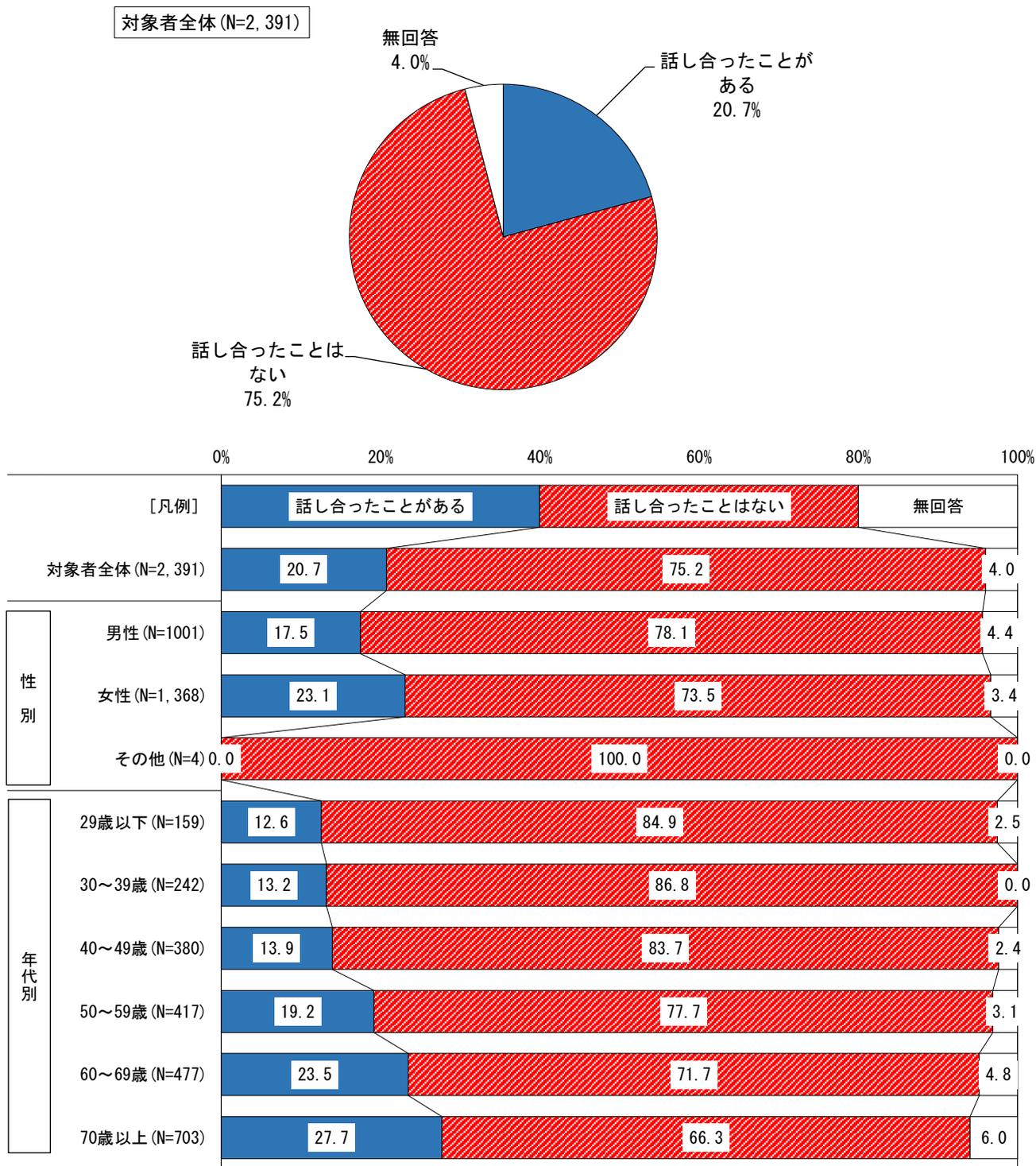
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】「ACP」や「人生会議」を知ったきっかけは、「テレビ・ラジオ」が32.5%、「新聞」が21.2%、「医療機関で教えてもらった」が20.5%となっている。

◇人生の最期に希望する医療やケアの話し合いの有無

問32 あなたは、人生の最期のときに望む医療やケアについて、家族や医療関係者と話し合ったことはありますか。

人生の最期に希望する医療やケアの話し合いの有無は「話し合ったことがある」人が20.7%



【全体】人生の最期に希望する医療やケアの話し合いの有無は、「話し合ったことがある」が20.7%、「話し合ったことはない」が75.2%となっている。

【性別】「話し合ったことがある」は女性が23.1%と、男性の17.5%より5.6ポイント高くなっている。

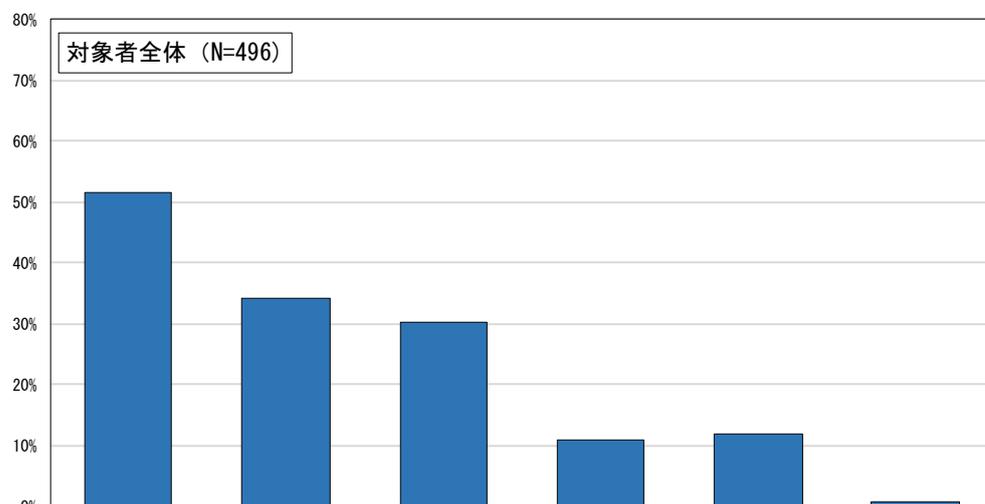
【年代別】「話し合ったことがある」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇人生最期の医療やケアについて話し合う場面

《問32で「1 話し合ったことがある」と答えた方にお聞きします。》

問32—1 あなたは、人生の最期のときの医療やケアについて、どのような時に家族や医療関係者と話し合っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

人生の最期のときの医療やケアについての話し合いは「体調や病状に変化があったとき」と回答した人が51.4%



		対象者数	体調や病状に変化があったとき (%)	病気やけがで入院したとき (%)	定期的に話し合っている (%)	人間関係に変化があったとき (%)	その他 (%)	無回答 (%)
対象者全体		496	51.4	34.1	30.2	10.7	11.9	0.6
性別	男性	175	57.7	35.4	24.0	9.1	10.3	0.6
	女性	316	47.5	33.5	33.9	11.4	13.0	0.6
	その他	0	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	20	30.0	30.0	45.0	15.0	20.0	-
	30～39歳	32	43.8	37.5	28.1	18.8	6.3	3.1
	40～49歳	53	45.3	35.8	35.8	17.0	13.2	-
	50～59歳	80	42.5	25.0	45.0	12.5	13.8	1.3
	60～69歳	112	54.5	37.5	29.5	9.8	10.7	-
	70歳以上	195	57.9	35.4	22.1	7.2	11.8	0.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】人生最期の医療やケアについて話し合う場面は、「体調や病状に変化があったとき」が51.4%、「病気やけがで入院したとき」が34.1%、「定期的に話し合っている」が30.2%となっている。

【性別】「体調や病状に変化があったとき」は男性が57.7%と、女性の47.5%より10.2ポイント高くなっている。また、「定期的に話し合っている」は女性が33.9%と、男性の24.0%より9.9ポイント高くなっている。

【年代別】「体調や病状に変化があったとき」は、70歳以上(57.9%)で最も高く、最も低い29歳以下(30.0%)と比べると27.9ポイントの差となっている。

時系列調査の推移、
市政に対する評価と要望の順位一覧表

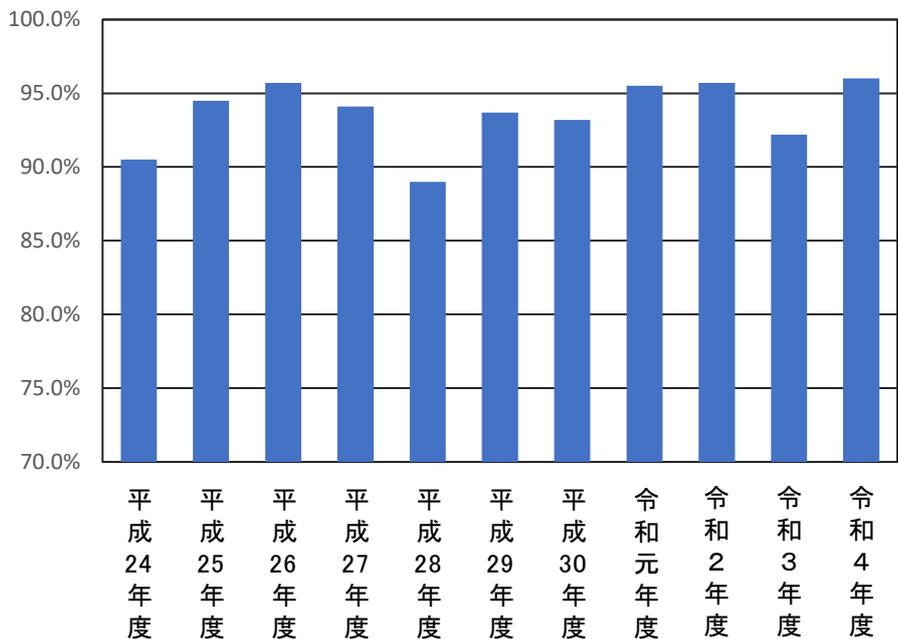
3 調査実施の概要

(1) 郷土意識に係る時系列調査

札幌の街に対する愛着度の年度別一覧表

問1 あなたは、札幌の街が好きですか。

年度	「好き」と回答した割合(*1)
平成24年度	90.5%
平成25年度	94.5%
平成26年度	95.7%
平成27年度	94.1%
平成28年度	89.0%
平成29年度	93.7%
平成30年度	93.2%
令和元年度	95.5%
令和2年度	95.7%
令和3年度	92.2%
令和4年度	96.0%

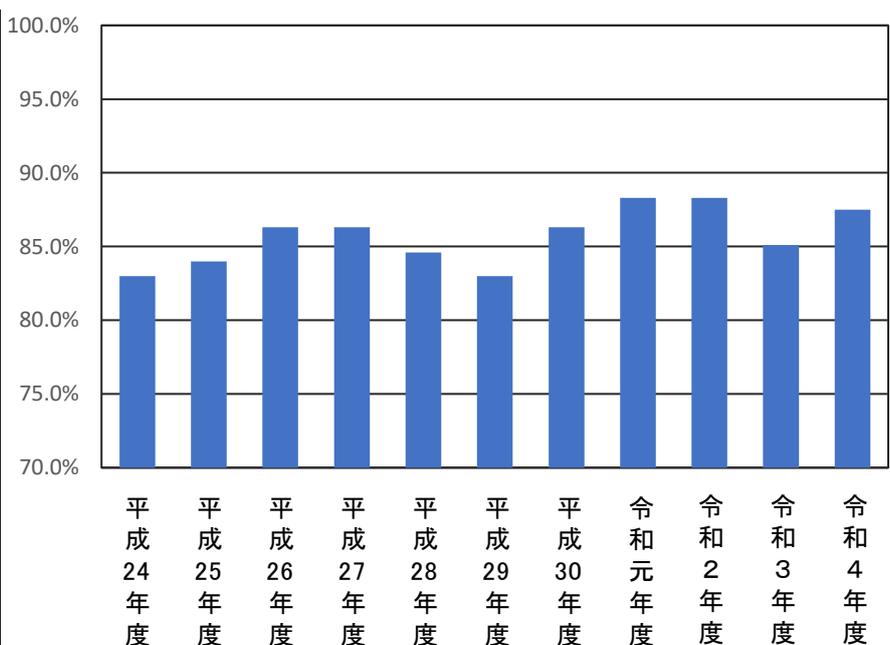


*1) 数値は、「好き」、「どちらかといえば好き」の合計である。

札幌の街に対する定住意向の年度別一覧表

問2 あなたは、現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思いますか。

年度	「好き」と回答した割合(*1)
平成24年度	83.0%
平成25年度	84.0%
平成26年度	86.3%
平成27年度	86.3%
平成28年度	84.6%
平成29年度	83.0%
平成30年度	86.3%
令和元年度	88.3%
令和2年度	88.3%
令和3年度	85.1%
令和4年度	87.5%



*2) 数値は、「現在住んでいる地域に、これからも住み続けたいと思う」、「札幌市内には住み続けたいが、現在住んでいる地域には、住み続けたいと思わない」の合計である。

(2)市の施策・事業に係る時系列調査

市政に対する評価の年度別順位一覧表

No.	施策・事業	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位												
1	ごみ・資源回収	47.1%	1	43.8%	1	50.4%	1	69.0%	1	73.7%	1	76.8%	1	74.6%	1	76.1%	1	76.2%	1	77.0%	1	75.4%	1
2	みどりの事業	16.5%	3	18.7%	3	19.1%	2	53.0%	2	51.8%	3	46.5%	3	49.8%	2	48.7%	3	50.8%	3	49.6%	3	46.1%	2
3	公共交通の便利(*2)	13.4%	4	11.2%	4	14.5%	4	48.1%	3	52.5%	2	47.4%	2	46.5%	3	49.1%	2	53.2%	2	50.0%	2	45.6%	3
4	住宅・まちづくり	20.5%	2	19.0%	2	17.7%	3	33.6%	8	46.6%	4	45.2%	4	42.8%	5	45.7%	4	46.5%	5	44.3%	5	41.9%	4
5	文化芸術の振興	6.4%	7	8.8%	5	9.6%	5	34.4%	7	37.9%	7	37.4%	7	37.4%	7	39.6%	8	40.9%	8	36.5%	8	38.1%	5
6	健康づくり・医療・衛生(*4)	7.2%	6	6.2%	7	4.6%	10	35.6%	5	39.1%	6	39.3%	6	38.0%	6	44.0%	6	43.6%	6	40.8%	6	37.2%	6
7	道路の整備・維持管理(*3)	4.5%	9	6.1%	8	7.0%	7	33.4%	9	33.5%	9	40.0%	5	44.9%	4	45.3%	5	41.6%	7	39.3%	7	36.1%	7
8	防災対策	2.8%	16	4.0%	12	3.1%	13	29.6%	12	28.7%	15	30.1%	15	22.2%	18	34.5%	10	37.7%	9	35.7%	9	33.8%	8
9	スポーツ・レクリエーション	3.5%	11	5.2%	10	3.8%	11	29.2%	13	30.8%	13	34.3%	11	31.0%	11	31.3%	15	33.0%	15	31.4%	15	32.7%	9
10	河川・湖沼などの整備	2.8%	13	3.9%	13	3.4%	12	32.6%	11	32.7%	11	36.0%	9	35.6%	8	39.0%	9	34.9%	10	34.5%	10	32.6%	10
11	交通安全対策	5.5%	8	5.8%	8	5.0%	9	26.0%	15	29.9%	13	30.6%	13	28.4%	13	34.1%	10	33.4%	13	32.7%	13	32.3%	11
12	環境問題(*5)	2.8%	15	3.3%	15	2.5%	14	33.0%	10	32.7%	11	32.0%	12	29.9%	12	32.6%	13	34.9%	11	33.7%	11	31.7%	12
13	安全・安心なまちづくり	2.1%	21	3.5%	14	2.4%	15	34.4%	6	33.8%	8	35.0%	10	31.4%	10	32.9%	12	33.9%	12	33.2%	12	31.0%	13
14	高齢者福祉	4.1%	10	5.0%	11	5.1%	8	27.5%	14	31.6%	12	31.2%	13	29.5%	13	32.2%	14	33.0%	14	31.9%	14	29.9%	14
15	除雪	8.8%	5	7.6%	6	8.6%	6	47.6%	4	39.3%	5	36.5%	8	34.5%	9	41.6%	7	46.7%	4	48.0%	4	28.7%	15
16	子どもの教育	2.4%	20	1.9%	22	1.7%	21	24.9%	16	25.1%	16	25.7%	17	23.1%	17	28.1%	17	27.3%	16	27.0%	16	25.6%	16
17	障がい者福祉	2.4%	19	2.8%	15	2.4%	16	23.0%	17	24.4%	16	27.5%	15	23.5%	15	28.8%	15	25.9%	17	26.5%	17	25.4%	17
18	母子・父子・児童福祉(*6)	2.8%	14	2.5%	19	2.1%	18	20.4%	21	22.4%	18	24.3%	17	20.8%	19	27.6%	18	25.7%	18	23.9%	18	24.3%	18
19	産業・経済・雇用推進(*1)	2.9%	12	2.7%	17	1.3%	22	22.4%	18	23.6%	18	22.6%	21	18.6%	22	24.2%	21	21.4%	21	20.7%	21	20.5%	19
20	生涯学習	2.6%	18	2.6%	18	2.0%	19	19.2%	22	18.5%	22	20.6%	22	19.2%	21	21.3%	22	21.5%	20	21.0%	20	19.9%	20
21	国際化推進(*7)	2.0%	22	2.3%	20	1.9%	20	22.1%	19	20.5%	20	23.4%	19	23.8%	14	24.5%	19	21.2%	22	19.3%	22	19.5%	21
22	市民への情報提供・相談	2.6%	17	2.2%	21	2.3%	17	21.2%	20	21.2%	20	24.2%	19	21.9%	19	25.5%	19	22.9%	19	23.4%	19	17.4%	22

*1) 平成22年度まで「産業や経済の振興」

*2) 平成23年度まで「交通の便利」

*3) 平成23年度まで「道路の整備」

*4) 平成23年度まで「健康づくり」

*5) 平成24年度から令和3年度まで「環境問題」

*6) 平成25年度まで「母子・児童福祉」

*7) 平成25年度まで「国際交流」

*8) 平成27年度から回答方法を、3つまで選択から5段階評価に変更

市政に関する要望の年度別順位一覧表

No.	施策・事業	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		%	順位	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位												
1	除雪	31.5%	1	40.6%	1	38.7%	1	74.6%	1	81.0%	1	79.7%	1	82.0%	1	76.9%	1	74.2%	1	73.5%	1	82.3%	1
2	安全・安心なまちづくり	21.8%	2	15.9%	3	19.3%	3	65.5%	2	72.5%	2	75.3%	2	75.2%	3	71.4%	2	67.3%	2	64.1%	2	67.3%	2
3	道路の整備・維持管理(*3)	12.7%	7	13.6%	5	13.0%	6	56.4%	7	65.0%	5	70.6%	3	70.4%	4	63.9%	4	63.1%	4	60.4%	4	64.2%	3
4	防災対策	16.4%	5	13.6%	6	13.4%	5	57.8%	6	66.8%	4	70.4%	4	78.8%	2	70.4%	3	64.4%	3	61.8%	3	63.3%	4
5	公共交通の便利(*2)	21.5%	3	19.4%	2	20.2%	2	61.2%	3	64.0%	7	67.4%	7	67.7%	6	63.0%	6	60.9%	5	59.9%	5	62.9%	5
6	産業・経済・雇用推進(*1)	5.5%	12	9.1%	8	6.9%	10	54.8%	8	62.7%	8	67.4%	6	67.5%	7	62.7%	7	59.6%	7	56.9%	7	61.4%	6
7	高齢者福祉	5.5%	13	5.3%	13	4.7%	15	57.9%	5	65.0%	6	68.9%	5	67.3%	8	62.6%	8	60.4%	6	58.6%	6	60.7%	7
8	交通安全対策	7.0%	10	7.1%	10	5.9%	11	53.2%	11	59.1%	9	62.4%	11	66.0%	9	59.6%	9	59.1%	8	56.9%	8	60.0%	8
9	健康づくり・医療・衛生(*4)	18.2%	4	13.6%	6	14.2%	4	61.1%	4	67.5%	3	67.0%	8	68.7%	5	63.1%	5	57.9%	9	56.7%	9	57.3%	9
10	障がい者福祉	6.3%	11	6.4%	12	5.4%	12	54.2%	9	58.5%	10	62.7%	9	60.8%	13	58.8%	10	55.1%	10	54.0%	10	54.5%	10
11	ごみ・資源回収	12.8%	6	10.8%	7	10.3%	7	53.1%	12	58.2%	11	61.9%	12	62.1%	12	56.4%	12	52.5%	12	49.8%	12	53.4%	11
12	住宅・まちづくり	4.3%	15	4.4%	15	4.7%	15	46.5%	14	52.0%	15	53.2%	17	53.5%	16	49.5%	16	49.0%	15	49.1%	15	53.1%	12
13	母子・父子・児童福祉(*6)	9.4%	8	8.4%	9	7.7%	8	53.4%	10	54.3%	14	58.7%	14	59.7%	14	55.4%	14	52.8%	11	50.2%	11	53.1%	12
14	子どもの教育	7.1%	9	6.6%	11	7.0%	9	47.4%	13	55.3%	13	62.5%	10	62.6%	11	56.1%	13	52.3%	13	49.6%	13	51.0%	14
15	市民への情報提供・相談	4.8%	14	4.1%	16	5.1%	13	46.3%	15	56.8%	12	60.8%	13	63.5%	10	57.1%	11	50.6%	14	49.3%	14	49.1%	15
16	環境保全(公害)(*5)	2.2%	18	4.5%	14	2.0%	17	41.4%	16	49.9%	17	55.2%	15	54.7%	15	52.7%	15	46.5%	17	45.7%	17	47.1%	16
17	みどりの事業	3.1%	16	3.4%	17	2.7%	16	40.6%	17	50.9%	16	54.5%	16	51.4%	17	47.6%	18	46.9%	16	46.2%	16	46.8%	17
18	河川・湖沼などの整備	0.8%	22	1.2%	22	1.0%	22	36.6%	18	44.7%	18	47.3%	18	47.9%	18	47.7%	17	42.5%	18	41.1%	18	40.3%	18
19	文化芸術の振興	1.8%	20	1.6%	21	1.7%	19	32.7%	20	36.3%	20	41.6%	20	44.0%	19	39.5%	20	38.7%	19	37.0%	19	37.9%	19
20	生涯学習	2.3%	17	1.9%	18	1.4%	21	36.0%	19	39.2%	19	46.7%	19	42.2%	20	40.1%	19	38.3%	20	35.6%	20	36.1%	20
21	スポーツ・レクリエーション	1.9%	19	1.7%	20	2.0%	18	30.9%	22	36.2%	21	41.6%	21	40.1%	21	38.4%	21	36.8%	21	32.8%	21	32.8%	21
22	国際化推進(*7)	1.5%	21	1.9%	19	1.5%	20	31.1%	21	33.0%	22	39.7%	22	38.4%	22	35.0%	22	30.4%	22	30.1%	22	30.2%	22

*1) 平成22年度まで「産業や経済の振興」

*2) 平成23年度まで「交通の便利」

*3) 平成23年度まで「道路の整備」

*4) 平成23年度まで「健康づくり」

*5) 平成24年度から令和3年度まで「環境問題」

*6) 平成25年度まで「母子・児童福祉」

*7) 平成25年度まで「国際交流」

*8) 平成27年度から回答方法を、3つまで選択から5段階評価に変更

市政に対する評価の区別順位一覧表

No.	施策・事業	全区		中央区		北区		東区		白石区		厚別区		豊平区		清田区		南区		西区		手稲区	
		%	順位																				
1	ごみ・資源回収	75.4%	1	76.2%	1	76.6%	1	79.2%	1	69.4%	1	74.9%	1	71.9%	1	82.0%	1	78.6%	1	72.0%	1	78.2%	1
2	みどりの事業	46.1%	2	49.3%	4	48.8%	2	47.3%	3	43.4%	3	47.3%	3	45.2%	3	41.7%	2	45.8%	2	44.4%	3	46.1%	2
3	公共交通の便利	45.6%	3	54.1%	2	43.0%	4	48.0%	2	45.7%	2	51.5%	2	46.3%	2	30.2%	9	39.9%	3	48.1%	2	41.2%	4
4	住宅・まちづくり	41.9%	4	52.4%	3	44.7%	3	44.3%	4	38.5%	4	44.3%	4	37.4%	5	38.1%	3	38.1%	8	35.8%	5	40.6%	5
5	文化芸術の振興	38.1%	5	49.3%	4	40.4%	6	35.9%	7	33.6%	7	38.9%	7	37.8%	4	33.8%	7	37.5%	9	29.1%	12	43.0%	3
6	健康づくり・医療・衛生	37.2%	6	41.5%	6	41.2%	5	37.6%	5	36.2%	5	33.5%	11	30.7%	9	37.4%	4	39.9%	3	34.3%	6	38.8%	6
7	道路の整備・維持管理	36.1%	7	38.1%	11	36.5%	8	37.6%	5	34.3%	6	40.1%	5	30.4%	10	37.4%	4	39.3%	5	36.2%	4	33.3%	9
8	防災対策	33.8%	8	39.1%	7	32.7%	10	33.2%	9	29.8%	11	38.9%	7	33.3%	7	33.8%	7	38.7%	6	29.9%	10	30.3%	15
9	スポーツ・レクリエーション	32.7%	9	38.1%	11	36.8%	7	32.6%	10	32.5%	9	31.1%	13	34.4%	6	25.9%	14	33.9%	12	23.5%	17	32.1%	11
10	河川・湖沼などの整備	32.6%	10	38.8%	8	32.7%	10	26.5%	16	33.2%	8	34.1%	10	32.2%	8	21.6%	17	38.7%	6	31.3%	8	36.4%	7
11	交通安全対策	32.3%	11	37.1%	13	33.0%	9	28.9%	12	30.9%	10	40.1%	5	25.9%	13	30.2%	9	37.5%	9	31.0%	9	33.3%	9
12	環境保全（公害）	31.7%	12	38.8%	8	29.8%	14	34.2%	8	26.4%	13	31.7%	12	28.5%	12	30.2%	9	36.3%	11	28.0%	14	34.5%	8
13	安全・安心なまちづくり	31.0%	13	38.8%	8	31.9%	13	28.5%	13	26.8%	12	34.7%	9	24.8%	14	35.3%	6	33.3%	14	29.5%	11	30.9%	13
14	高齢者福祉	29.9%	14	35.7%	14	32.2%	12	31.2%	11	26.4%	13	31.1%	13	23.3%	15	30.2%	9	30.4%	15	28.4%	13	31.5%	12
15	除雪	28.7%	15	33.3%	15	29.8%	14	26.8%	15	21.5%	17	28.1%	15	30.0%	11	25.2%	15	33.9%	12	32.5%	7	24.2%	19
16	子どもの教育	25.6%	16	29.9%	16	27.5%	17	24.8%	17	23.0%	15	26.3%	16	18.5%	18	28.8%	13	29.2%	16	24.6%	16	26.1%	17
17	障がい者福祉	25.4%	17	29.6%	17	26.6%	18	27.5%	14	23.0%	15	21.0%	19	20.4%	17	20.1%	18	26.2%	17	26.1%	15	30.9%	13
18	母子・父子・児童福祉	24.3%	18	28.9%	18	29.5%	16	24.2%	18	20.8%	18	21.6%	18	17.8%	20	22.3%	16	21.4%	19	23.5%	17	30.3%	15
19	産業・経済・雇用推進	20.5%	19	23.5%	20	18.4%	22	23.5%	20	19.6%	20	21.0%	19	22.2%	16	16.5%	21	20.8%	21	17.5%	21	20.6%	22
20	生涯学習	19.9%	20	22.1%	22	20.2%	21	20.1%	21	20.4%	19	15.0%	22	16.3%	22	18.7%	19	22.0%	18	18.7%	20	26.1%	17
21	国際化推進	19.5%	21	23.1%	21	23.1%	19	19.5%	22	16.6%	21	19.2%	21	16.7%	21	16.5%	21	19.6%	22	16.0%	22	24.2%	19
22	市民への情報提供・相談	17.4%	22	26.5%	19	22.8%	20	24.2%	18	15.1%	22	22.2%	17	18.1%	19	18.0%	20	21.4%	19	19.8%	19	21.8%	21

市政に関する要望の区別順位一覧表

No.	施策・事業	全区		中央区		北区		東区		白石区		厚別区		豊平区		清田区		南区		西区		手稲区	
		%	順位																				
1	除雪	82.3%	1	79.9%	1	83.6%	1	83.6%	1	85.3%	1	77.8%	1	82.6%	1	84.2%	1	79.2%	1	82.1%	1	83.6%	1
2	安全・安心なまちづくり	67.3%	2	66.0%	2	68.1%	2	72.8%	2	69.1%	2	58.7%	5	70.4%	2	64.0%	4	64.3%	5	63.8%	2	71.5%	2
3	道路の整備・維持管理	64.2%	3	63.6%	3	65.8%	3	62.1%	6	65.7%	3	61.7%	2	63.7%	6	66.9%	3	64.3%	5	62.3%	3	67.9%	3
4	防災対策	63.3%	4	63.6%	3	64.9%	4	65.4%	3	65.7%	3	58.7%	5	64.4%	5	60.4%	6	64.3%	5	59.3%	4	63.0%	6
5	公共交通の便利	62.9%	5	62.6%	5	63.5%	6	63.1%	5	58.5%	8	61.7%	2	64.8%	4	69.8%	2	69.0%	2	58.2%	5	64.8%	4
6	産業・経済・雇用推進	61.4%	6	61.2%	6	62.9%	7	59.1%	8	61.9%	5	58.1%	7	65.6%	3	61.9%	5	64.9%	4	57.8%	7	61.8%	7
7	高齢者福祉	60.7%	7	56.1%	9	64.0%	5	62.1%	6	59.2%	7	59.3%	4	63.3%	7	54.7%	10	66.7%	3	57.8%	7	63.6%	5
8	交通安全対策	60.0%	8	58.8%	7	60.8%	8	64.4%	4	60.0%	6	53.9%	10	63.3%	7	56.8%	7	61.9%	8	57.8%	7	58.8%	8
9	健康づくり・医療・衛生	57.3%	9	58.8%	7	59.1%	9	58.4%	9	54.3%	10	55.1%	8	57.8%	9	56.8%	7	56.0%	10	58.2%	5	57.0%	9
10	障がい者福祉	54.5%	10	55.1%	10	55.8%	11	56.0%	10	55.1%	9	51.5%	11	54.8%	13	46.0%	15	56.0%	10	55.6%	11	54.5%	10
11	ごみ・資源回収	53.4%	11	49.3%	15	55.8%	11	54.7%	11	54.0%	11	47.9%	15	55.2%	11	48.9%	12	57.1%	9	54.9%	12	53.3%	11
12	住宅・まちづくり	53.1%	12	52.4%	11	54.1%	13	54.0%	12	50.9%	12	51.5%	11	55.2%	11	56.8%	7	56.0%	10	49.6%	15	52.7%	12
13	母子・父子・児童福祉	53.1%	12	52.4%	11	57.0%	10	51.7%	14	45.3%	15	54.5%	9	55.6%	10	48.9%	12	55.4%	13	57.1%	10	52.1%	13
14	子どもの教育	51.0%	14	51.0%	14	53.8%	14	54.0%	12	47.2%	13	50.3%	13	50.0%	14	53.2%	11	48.2%	16	52.2%	13	47.3%	17
15	市民への情報提供・相談	49.1%	15	51.7%	13	48.8%	15	50.0%	15	46.8%	14	47.9%	15	48.9%	16	42.4%	17	50.0%	15	51.9%	14	50.3%	14
16	環境保全（公害）	47.1%	16	46.6%	17	46.2%	17	46.6%	17	45.3%	15	47.9%	15	49.6%	15	44.6%	16	51.8%	14	45.9%	16	47.9%	16
17	みどりの事業	46.8%	17	48.3%	16	48.2%	16	48.0%	16	44.9%	17	49.1%	14	45.9%	17	48.2%	14	44.6%	17	44.8%	17	46.1%	18
18	河川・湖沼などの整備	40.3%	18	40.5%	19	40.4%	19	40.3%	18	38.1%	19	38.9%	18	42.2%	18	33.1%	19	42.9%	18	39.2%	18	48.5%	15
19	文化芸術の振興	37.9%	19	41.8%	18	41.8%	18	35.9%	20	40.0%	18	33.5%	20	38.1%	19	33.1%	19	39.9%	19	33.2%	20	38.8%	19
20	生涯学習	36.1%	20	34.0%	21	39.8%	20	37.9%	19	33.2%	21	38.3%	19	33.7%	20	38.8%	18	34.5%	20	35.4%	19	35.8%	20
21	スポーツ・レクリエーション	32.8%	21	33.0%	22	35.4%	21	33.6%	21	34.0%	20	30.5%	21	33.7%	20	30.9%	21	32.1%	22	29.5%	21	33.9%	21
22	国際化推進	30.2%	22	36.1%	20	31.0%	22	30.2%	22	27.5%	22	26.3%	22	32.2%	22	30.2%	22	33.9%	21	28.0%	22	25.5%	22

